htc U11

User Guide 取扱説明書 詳細版
Android 9 対応版

ごあいさつ

このたびは、HTC U11 HTV33（以下、「HTV33」または「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
『取扱説明書 詳細版 Android 9 対応版』（本書）および『設定ガイド Android 9 対応版』はAndroid 9へのOSアップデート後の内容について記載しています。
OSアップデートをしていない場合、本製品に付属する『クイックスタートガイド』、『設定ガイド』およびauホームページからダウンロードできる『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
（https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/）

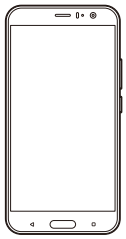
- 本書では『クイックスタートガイド』および『設定ガイド』、auホームページからダウンロードできる『取扱説明書 詳細版』『取扱説明書 詳細版 Android 9 対応版』（本書）および『設定ガイド Android 9 対応版』を総称して『取扱説明書』と表記します。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

■ 本体

- HTV33



■ 付属品

- USB-Cハイレゾイヤホン（試供品）
- SIM取り出しピン（試供品）



- クリアケース（試供品）
- USB-C to 3.5mmデジタルジャックアダプタ（試供品）
- クイックスタートガイド（Android 9非対応版）
- 設定ガイド（Android 9非対応版）

memo

◎本体保護のため、付属のクリアケース（試供品）をご利用ください。
◎ACアダプタ、USB Type-Cケーブル、microSDメモリカードは同梱されていません。
◎指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
◎電池は本製品に内蔵されています。
◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『設定ガイド』『クイックスタートガイド』

『取扱説明書』（付属品）／『設定ガイド』（付属品）では、OSバージョンアップ前の主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリ』やauホームページより『取扱説明書（詳細版）Android 9 対応版』（本書）および『設定ガイド Android 9 対応版』をご参照ください。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

■『取扱説明書アプリ』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリ』を利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。



1 ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[取扱説明書]→画面の指示に従って最新の『取扱説明書アプリ』をダウンロードおよびインストール

インストールブロックのメッセージが表示された場合は、[設定]→[この提供元のアプリを許可]の[OFF]をタップして[ON]にする→◁と操作してからインストールしてください。

2 ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[取扱説明書]

■『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』および『取扱説明書 詳細版 Android 9 対応版』（本書）は、auホームページでご確認できます。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/



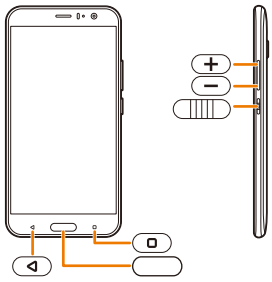
■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website.
『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページに掲載しています。
Download URL:
https://www.au.com/english/support/manual/

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面で[📞（電話）]→「141」を入力→[ダイヤル]	ホーム画面で[📞（電話）]をタップし、続けて[1][4][1]の順にタップして、最後に[ダイヤル]をタップします。
▯を約2秒以上長押しする	▯を約2秒以上押し続けます。
[ON]／[OFF] または[オン]／[オフ]	スライダースイッチをタップして[ON]（●）または[OFF]（○）にします。

※タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く触れて選択する操作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラストおよび画面は、実際の製品および画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面上部のアイコン類などを省略しています。

実際の画面　　本書の表記例



memo

◎本書では、「au Nano IC Card 04」の名称を「au ICカード」と表記しています。
◎本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎本書では「アプリケーション」のことを「アプリ」と省略しています。
◎本書はau ICカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
◎本書では、本体カラー「プリリアント ブラック」の表示を例に説明しています。
◎本書で明記していない場合は、縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
◎本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
◎本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ……1
同梱品一覧……1
取扱説明書について……1
本書の表記方法について……1

目次……2

注意事項……5
注意事項……6
本製品のご利用について……6
安全上のご注意（必ずお守りください）……6
材質一覧……8
取り扱い上のご注意……9
防水／防塵性能に関するご注意……11
Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について……13
各種暗証番号／PINコードについて……13
データ通信料についてのご注意……13
アプリについて……14
アプリの権限を設定する……14
マナーも携帯する……14

ご利用の準備……15
ご利用の準備……16
各部の名称と機能……16
au ICカードについて……16
au ICカードを取り付ける／取り外す……16
充電する……17
電源を入れる／切る……17
画面をロックする／画面ロックを解除する……18
初期設定を行う……18
エッジセンスについて……19
イヤホンを使用する……19

基本操作／文字入力……21
基本操作……22
タッチパネルの使いかた……22
ホーム画面を利用する……22
アプリを起動する……24
最近使用したアプリを利用する……24
本製品の状態を知る……24
マナーモードを設定する……25
メニューを表示する……26
画面を記録する……26
文字入力……26
文字を入力する……26

電話／連絡先……29
電話……30
電話をかける……30
電話を受ける……31
自分の電話番号を確認する……31
連絡先……31
連絡先画面の見かた……31
連絡先を登録する……32
連絡先を編集する……32
グループを設定する……32
連絡先を確認する……32

メール／インターネット……33
メールを送受信する……34
メールについて……34
Eメール……34
Eメールの表示モードを切り替える……34
Eメールを送信する……36
Eメールを受信する……38
新着メールを問い合わせて受信する……39
Eメールを検索する……39
Eメールをフォルダモードで確認する……39
Eメールを会話モードで確認する……42
Eメールを設定する……42
バックアップしたEメールを復元する……44
Eメールアドレスの変更やその他の設定をする……44
迷惑メールフィルターを設定する……44
SMS……45
SMSを送信する……45
SMSを受信する……46
SMSを返信／転送する……46
SMSを保護／保護解除する……46
SMSの電話番号を連絡先に登録する……46
SMSの受信をブロックする……46
SMSを検索する……46
SMSを削除する……46
SMSを設定する……47
PCメール……47
PCメールのアカウントを設定する……47
PCメールを送信する……47
PCメールを受信する……47
PCメールに返信／転送する……48
PCメールを削除する……48
メールアカウントごとに受信設定を行う……48
Gmail……48
Gmailを送信する……48
Gmailを受信する……48
Gmailに返信／転送する……48
インターネット……48
インターネットに接続する……48
ブラウザを利用する……48

アプリ……51
アプリ一覧……52
カメラ……53
カメラをご利用になる前に……53
カメラを起動する……53
静止画／動画を撮影する……54
カメラを切り替える……54
撮影機能を設定する……54
カメラの設定をする……55
フォト……55
静止画／動画を再生する……55
静止画を編集する……55
音楽……55
Play Musicを利用する……55
NFC／おサイフケータイ®……56
おサイフケータイ®について……56
NFCを利用する……57
NFC／FeliCaに対応したサービスを利用する……57
タップ&ペイを利用する……57
My au……57
故障紛失サポート……58
あんしんフィルター for au……58
フィルタリングを設定する……58
管理者情報を登録する……58
管理者ページを利用する……58
Androidアプリ……59
Google Playを利用する……59
提供元不明のアプリをインストールする……59
アプリを管理する……59
Facebook……59
Twitter……59
YouTube……59
カレンダー……59
予定を登録する……59
通知を確認する……59
表示する単位を切り替える……59
予定を削除する……60
天気……60
ボイスレコーダー……60
ドライブ……60
フォルダまたはファイルを作成する……60
ファイルをアップロードする……60
フォルダまたはファイルを操作する……60

ファイル管理……61
ファイル管理……62
本製品の保存領域について……62
microSDメモリカードを利用する……62
USBケーブルでパソコンと接続する……62
ストレージを管理する……63
ファイルを利用する……63

データ通信……65
Wi-Fi®接続……66
無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する……66
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する……66
Wi-Fi®の詳細設定をする……66
au Wi-Fi接続ツールを利用する……66
テザリング機能……66
Wi-Fi®テザリング……66
USBテザリング……67
Bluetooth®テザリング……67
Bluetooth®機能……67
Bluetooth®対応機器と接続する……67
Bluetooth®機能でデータを送受信する……67

機能設定……69
機能設定……70
設定メニューを表示する……70
auサービスの設定をする……70
機内モードを設定する……70
モバイルネットワークの設定をする……70
ワイヤレスとネットワークの設定をする……71
個人設定をする……71
指紋スキャナの設定をする……71
アカウントと同期の設定をする……71
位置情報の設定をする……72
セキュリティの設定をする……72
ユーザー補助の設定をする……73
バックアップとリセットの設定をする……73
エッジセンスの設定をする……74
ディスプレイ／ジェスチャ／ボタンの設定をする……74
USB-Cハイレゾイヤホンの設定をする……74
サウンドと通知の設定をする……75
通話の設定をする……75
ストレージの設定をする……75
電池の設定をする……76
言語とキーボードの設定をする……76
日時の設定をする……76
印刷の設定をする……76
バージョン情報の設定をする……76

auのネットワークサービス 77
auのネットワークサービス 78
auのネットワークサービスについて 78
着信お知らせサービスを利用する（標準サービス） 78
着信転送サービスを利用する（標準サービス） 78
発信番号表示サービスを利用する（標準サービス） 79
番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス） 79
お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス） 79
三者通話サービスを利用する（オプションサービス） 81
割込通話サービスを利用する（オプションサービス） 81
迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス） 82
通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス） 82

海外利用 83
海外利用 84
au世界サービスについて 84
海外利用に関する設定を行う 84
渡航先で電話をかける 84
渡航先で電話を受ける 84
お問い合わせ方法 84
海外でのご利用上のご注意 85

付録／索引 87
付録 88
ソフトウェアを更新する 88
故障とお考えになる前に 88
アフターサービス 89
auスマートサポート 89
遠隔操作サポート 89
位置検索サポート 89
SIMロック解除 90
周辺機器 90
主な仕様 90
携帯電話機の比吸収率（SAR）について 90
FCC Notice 91
FCC RF exposure information 91
Body-worn operation 91
DECLARATION OF CONFORMITY 91
輸出管理規制 91
知的財産権について 92
索引 94

注意事項

注意事項 6
本製品のご利用について 6
安全上のご注意(必ずお守りください) 6
材質一覧 8
取り扱い上のご注意 9
防水／防塵性能に関するご注意 11
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について 13
各種暗証番号／PINコードについて 13
データ通信料についてのご注意 13
アプリについて 14
アプリの権限を設定する 14
マナーも携帯する 14

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、本書の「注意事項」(▶P.5)をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、「故障紛失サポート」アプリ(▶P.58)の「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

■ クイック診断
ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[故障紛失サポート]→[クイック診断してみる]

■ トラブル診断
ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[故障紛失サポート]→[便利な機能]→[トラブル診断を試す]
以下のauホームページからもご確認いただけます。
https://www.au.com/trouble-check/

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE／WiMAX 2+／UMTS／GSM方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、取扱説明書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
輸入元:HTC NIPPON株式会社
製造元:HTC Corporation

memo

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止
高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

禁止
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

禁止
本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止
本製品の背面カバーを取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

水ぬれ禁止
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

水ぬれ禁止 **外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

指示 **オプション品は、auが指定したものを使用してください。**
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 **落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**
火災、やけどなどの原因となります。

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。**
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

指示 **ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。**
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下等に注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

指示 **使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。**
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 **破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。**
落下して、けがなどの原因となります。

禁止 **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

禁止 **子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。**
けがなどの原因となります。

禁止 **乳幼児の手の届く場所に置かないでください。**
au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイやSIM取り出しピン(試供品)などの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示 **本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。**
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 **火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 **ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。**
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止 **自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。**
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止 **点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。**
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止 **本製品内のau Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
また、au ICカードやmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。**
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。**
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示 **病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。**
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

指示 **心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。**
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。**
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示 **ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。**
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示 **ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。**
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 **ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止 **一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止 **内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止 **au ICカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しピン(試供品)の先端にご注意ください。**
SIM取り出しピン(試供品)の先端に触れると、けがなどの原因となります。

指示 **自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示 **本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.8「材質一覧」

指示 **本製品の受話口(レシーバー)およびスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。**
付着物により、けがなどの原因となります。

指示 **ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。**
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 **指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。**
感電などの原因となります。

禁止 **コンセントにつないだ状態で接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。**
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止 **本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

ぬれ手禁止 **濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや接続端子、電源プラグに触れないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **指定の電源、電圧で使用してください。**
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ(別売):AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ(別売):AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指示 **電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、電源プラグを持って抜いてください。**
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。**
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。**
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。**
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。**
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 **コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。**
やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示 **au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。**
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ イヤホンについて

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 **自転車や自動車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生に使用しないでください。**
安全性を損ない事故の原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示 **ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。**
音量が大きすぎたり長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
適度な音量であっても長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示 **音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。**
始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

指示 **皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。**
各箇所の材質について▶P.8「材質一覧」

■ SIM取り出しピン(試供品)について

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 **SIM取り出しピン(試供品)の先端部は、とがっています。本人や他の人に向けて使用しないでください。**
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示 **皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。**
各箇所の材質について▶P.8「材質一覧」

指示 **乳幼児の手の届く場所に置かないでください。**
誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指示 **植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。**
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材料	表面処理
背面カバー	ガラス	OPVD+塗装処理+AFコート処理
カメラレンズ	ガラス	AFコート処理+ARコート処理
カメラレンズ飾り	アルミニウム	アルマイト処理
フラッシュレンズ	ポリカーボネート樹脂	−
ディスプレイ	ガラス／Corning® Gorilla® Glass 5	AFコート処理
保護シート(ディスプレイ)	ポリカーボネート	−
ベゼル	アルミニウム	アルマイト処理
au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイ	アルミニウム	アルマイト処理
	ポリカーボネート樹脂	−
音量キー	アルミニウム	アルマイト処理
電源キー	アルミニウム	アルマイト処理
ホームキー／指紋スキャナ	エポキシ樹脂	UV塗装

■ USB-Cハイレゾイヤホン(試供品)

使用箇所	使用材料	表面処理
ハウジングカバー	アルミニウム	−
	ABS樹脂	−
ケーブル／イヤーピース	熱可塑性エラストマー	−
接続プラグ(金属部)	ステンレススチール	−
スイッチ	ABS樹脂	−

■ SIM取り出しピン(試供品)

使用箇所	使用材料	表面処理
SIM取り出しピン本体	ステンレススチール	−

■ クリアケース（試供品）

使用箇所	使用材料	表面処理
クリアケース本体	ポリカーボネート	−

■ USB-C to 3.5mmデジタルジャックアダプタ（試供品）

使用箇所	使用材料	表面処理
ハウジングカバー	熱可塑性エラストマー	−
イヤホンマイク端子（金属部）／USB接続プラグ（金属部）	ステンレススチール	ニッケルメッキ

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能（IPX7相当）を発揮するために、au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器やオプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでのau Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの取り付け／取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。）
  - HTV33本体
  - au ICカード（HTV33本体装着状態）
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク㊣」がau電話本体内で確認できるようになっております。
確認方法
ホーム画面で[▦]→[設定]→[バージョン情報]→[認証]
本製品本体を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 近接光センサーを指でふさいだり、近接光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接光センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品内のau Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

（本製品の内蔵電池は、リチウムポリマー電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

Li-ion 00

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムポリマー電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器（別売）のコードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、電源プラグやコネクタとコードの接続部を無理に曲げたりしないでください。アダプタやコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ au ICカード／トレイについて

- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカード／トレイにシールなどを貼らないでください。
- カードに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

防水／防塵性能に関するご注意

本製品はau Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイが完全に取り付けられた状態で保護等級（JIS C 0920）のIPX7相当※1の防水性能およびIP6X相当※2の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。
正しくお使いいただくために、「防水／防塵性能に関するご注意」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
※2 IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■ ご使用にあたっての注意事項

- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイをしっかり取り付けた状態にしてください。完全に取り付けていることで防水／防塵性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態でのau Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの取り付け／取り外しは絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください 。
  かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。


砂／泥

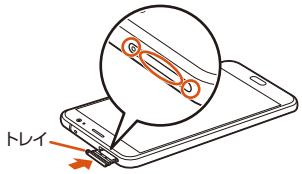
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- 風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー、セカンドマイク、サードマイク、フォースマイクに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。

■ au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイについて

- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイはしっかりと取り付けた状態にしてください。本体とトレイの接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイを取り付け／取り外しする際は手袋などをしたまま操作しないでください。本体とトレイの接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。トレイを取り付ける際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイに劣化・破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。

■ au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの取り付けかた

矢印の方向へau Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本製品とトレイにすき間がないことを確認してください。



■ 水以外が付着した場合

- 万一、水以外（海水・洗剤・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイが外れないように押さえながら手で洗ってください。

■ 水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

■ ゴムパッキンについて

- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイ周囲のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイを取り付ける際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。
- 水以外の液体（アルコールなど）が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付いたりするおそれがあり、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 防水／防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず1年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

■ 衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー、セカンドマイク、サードマイク、フォースマイク、外部接続端子などをとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、水や粉塵が侵入する原因となります。

■ 充電のときは

指定の充電用機器（別売）は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから充電してください。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）は、水のかからない状態で使用し、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

■ 水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、必ず次の部分の水抜きをしてください。

- 受話口（レシーバー）
- 送話口（マイク）
- スピーカー
- セカンドマイク
- サードマイク
- フォースマイク
- 外部接続端子
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイ
- ホームキー／指紋スキャナ
- 音量キー
- 電源キー

そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。
① 本体に付着した水分を乾いた布などでよく拭き取ってください。



② 外部接続端子が上になるように本製品をしっかり持ち、矢印の方向に振ってください。

※本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。



③ 乾いたタオル・布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して乾燥させてください。

※乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内の無線規格およびFCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。



- **Bluetooth®機能:2.4FH1**
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

■■■ 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。



- **無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4**
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

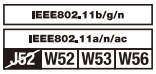
■■■ 全体域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52(5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)
- W53(5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch)
- W56(5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)



各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	なし

■ ロックNo.(NFC／おサイフケータイロック)

使用例	[NFC/おサイフケータイロック]を設定する場合
初期値	1234

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[詳細設定]→[SIMカードロック]→[SIMカードロック]をONにすると、PINコードの入力が必要になります。また、[au IC PINを変更]をタップすると、お客様の必要に応じてPINコードを4～8桁のお好きな番号に変更できます。
  入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

※無線LAN(Wi-Fi®)の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリについて

- アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、他のアプリや携帯電話全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、取扱説明書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセスを許可するかどうかの確認画面が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、[許可しない]または[許可]をタップしてください。

例：ボイスレコーダーを初めて起動した場合

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[ボイスレコーダー]

確認画面が表示されます。

2 [許可しない]／[許可]

memo

◎ [許可しない]をタップすると、アプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
◎ アクセス権限の設定を変更するには、ホーム画面で[▦]→[設定]→[アプリ]→対象のアプリをタップ→[許可]→アクセスを許可する機能を[ON]／[OFF]と操作します。
◎ アプリや機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
◎ 取扱説明書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切！

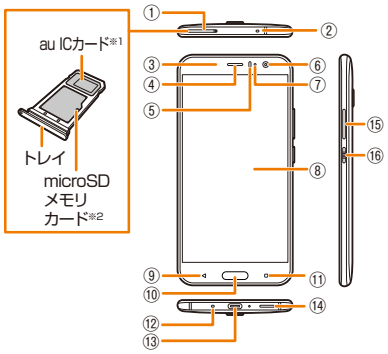
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品を「機内モード」に切り替える、または本製品の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

ご利用の準備 16
各部の名称と機能 16
au ICカードについて 16
au ICカードを取り付ける／取り外す 16
充電する 17
電源を入れる／切る 17
画面をロックする／画面ロックを解除する 18
初期設定を行う 18
エッジセンスについて 19
イヤホンを使用する 19

ご利用の準備

各部の名称と機能



※1 au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードについて」(▶P.16)をご参照ください。
※2 microSDメモリカードの取り扱いについては、「microSDメモリカードを利用する」(▶P.62)をご参照ください。

① **au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイ**:au ICカードおよびmicroSDメモリカードを取り付けます。

② **セカンドマイク**:通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制するためのマイクです。

③ **通知ランプ**:充電状態を確認したり、未確認の通知があることをお知らせします(▶P.24)。

④ **受話口(レシーバー)**:通話中の相手の声や楽曲の再生音などがここから聞こえます。

⑤ **近接光センサー**:通話中に顔などの接近を検知し、タッチパネルの誤操作を防止します。また、周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調節します。

⑥ **正面カメラ**:自分を撮影するときなどに使用します。

⑦ **サードマイク**:スピーカーフォン使用時に、こちらの声を相手の方に伝えます。

⑧ **ディスプレイ(タッチパネル)**:指で直接触れて操作します。メニューや項目の選択、画面のスクロールやズームなどの操作ができます(▶P.22)。
- ディスプレイには保護シート(試供品)が貼られています。市販の保護シートをご利用になる場合は、保護シートをはがしてください。

⑨ **戻るキー**:1つ前の画面に戻ります。

⑩ **ホームキー／指紋スキャナ**:ホーム画面に戻ります。指紋が登録され、指紋スキャナの画面復帰がオンに設定されている場合は、指紋をスキャンしてロックを解除します。

⑪ **最近使用したアプリ**:最近起動したアプリの履歴を表示したり、画面を分割して2つのアプリを同時に操作したりできます(▶P.24)。

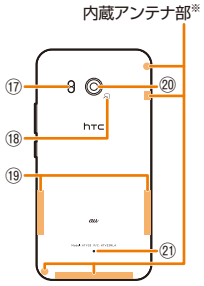
⑫ **送話口(マイク)**:通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。

⑬ **外部接続端子**:指定の充電用機器(別売)やイヤホンなどを接続します。

⑭ **スピーカー**:スピーカーフォンの音声や楽曲の再生音、着信音などを聞くことができます。

⑮ **音量キー**:メディアの再生音量を調節します。
- ＋(上):音量大キー
- －(下):音量小キー

⑯ **電源キー**:約2秒以上長押しして電源を入れます。電源が入っているときは、押すたびに画面を点灯／消灯します。
- 電源が入っているときに約2秒以上長押しすると、携帯電話オプション画面が表示されます。電源を切ったり機内モードを設定できます。



※アンテナは、本体に内蔵されています。通話／通信品質が悪くなりますので、次の点にご注意ください。
通話時など内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。

⑰ **フラッシュライト**:ライトとして使用します。カメラ撮影時にも使用できます。

⑱ **マーク**:おサイフケータイ®やNFC機能利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざします。

⑲ **エッジセンス部(感圧センサー)**:本製品が握られたことを検知するセンサーです。エッジセンスについては、「エッジセンスについて」(▶P.19)をご参照ください。

⑳ **メインカメラ**:静止画や動画を撮影するためのカメラです。

㉑ **フォースマイク**:通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制するためのマイクです。

memo

◎電池は本製品に内蔵されています。お客様による取り外しはできません。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。



memo

◎au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au ICカードおよびトレイを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎取り外したau ICカードおよびトレイはなくさないようにご注意ください。
◎変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに[ ]が表示されます。
- 電話をかける※／受ける
- SMSの送受信
- Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認
- SIMカードロックの設定

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

au ICカードを取り付ける／取り外す

au ICカードを取り付ける

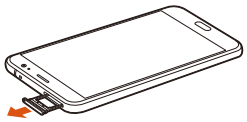
au ICカードの取り付けは、本製品の電源を切ってから行います。

1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの穴に、SIM取り出しピン(試供品)をまっすぐ差し込む

トレイが少し出ます。

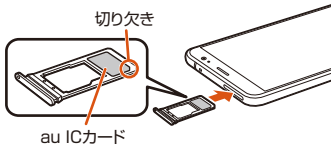


2 トレイを矢印の方向にまっすぐ引き出す

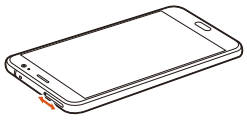


3 au ICカードのIC(金属)部分を下に向けてトレイに置き、トレイを矢印の方向にまっすぐ差し込む

切り欠きの位置にご注意ください。
au ICカードをトレイに確実にはめこんでいないと、トレイの挿入時にau ICカードがトレイから外れる可能性があります。



4 矢印の方向になぞり、トレイが浮いていることのないように確実に押し込む

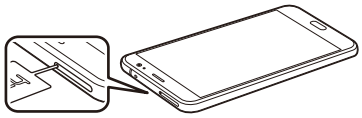


au ICカードを取り外す

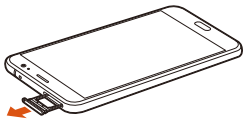
au ICカードの取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。

1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの穴に、SIM取り出しピン（試供品）をまっすぐ差し込む

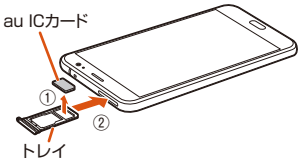
トレイが少し出ます。



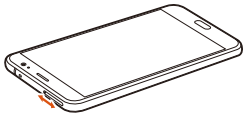
2 トレイを矢印の方向にまっすぐ引き出す



3 トレイからau ICカードを取り出し（①）、トレイを矢印の方向にまっすぐ差し込む（②）



4 矢印の方向になぞり、トレイが浮いていることのないように確実に押し込む



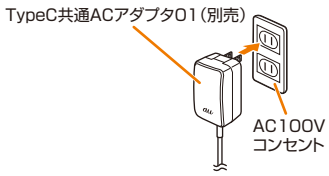
充電する

お買い上げ時、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

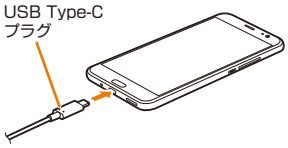
ACアダプタを使って充電する

TypeC共通ACアダプタ01（別売）を使って充電する方法を説明します。

1 TypeC共通ACアダプタ01（別売）の電源プラグをコンセントに差し込む



2 TypeC共通ACアダプタ01（別売）のUSB Type-Cプラグを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む



充電中は通知ランプが赤色に点灯し、充電中アイコン（）がステータスバーに表示されます。充電が完了すると、通知ランプが緑色に点灯し、フル充電アイコン（）が表示されます。

3 充電が完了したら、TypeC共通ACアダプタ01（別売）のUSB Type-Cプラグを本製品からまっすぐ引き抜く

4 TypeC共通ACアダプタ01（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 （電源キー）を約2秒以上長押ししてバイブレータが振動したら離す

しばらくすると、ロック画面が表示されます（▶P.18）。

memo

◎初期状態で電源を入れたときは、初期設定ウィザードが起動します（▶P.18）。
◎auかんたん設定が起動したときの操作については、「auかんたん設定を行う」（▶P.18）をご参照ください。

電源を切る

1 （電源キー）を約2秒以上長押しする

携帯電話オプション画面が表示されます。



《携帯電話オプション画面》

2 ［電源を切る］

memo

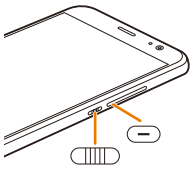
◎携帯電話オプション画面で［再起動］をタップすると、すべてのアプリを終了して本製品を再起動することができます。
再起動すると、保存していないデータは消去されますのでご注意ください。

強制再起動（リセット）について

本製品の電池は内蔵されており、取り外せません。強制的に再起動（リセット）するには、次の手順に従って操作してください。

1 （音量－キー）を押した状態で（電源キー）を押し、約12秒以上長押しする

しばらくすると（戻るキー）と（ホームキー）が点滅します。点滅が終了し画面の表示が消えたら、（音量－キー）と（電源キー）を離してください。バイブレータが起動し、しばらくして「htc」画面が表示されて再起動します。



memo

◎強制的に再起動（リセット）すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

画面をロックする／画面ロックを解除する

画面をロックして、本製品を保護します。

画面をロックする

1 画面表示中に(電源)を押す

画面が消灯し、画面ロックがかかります。

画面ロックを解除する

1 画面消灯中に(電源)を押す

ロック画面が表示されます。

2 画面を上にフリック（スワイプ）



《ロック画面》

アプリからの通知や発着信履歴が表示されます。

2回タップすると通知一覧が表示されます。通知によっては、タップしてその通知に関連する情報を表示したり、左右にフリック（スワイプ）して通知を消去したりできます。

[🔓]を上にフリック（スワイプ）すると、画面ロックが解除できます。

アプリのアイコンを上にフリック（スワイプ）すると、それぞれのアプリが起動します。

memo

◎画面ロックの解除方法にパターン、暗証番号、パスワードを設定して、セキュリティをさらに強化することもできます(▶P.72)。この場合、ロック画面には🔒が表示されます。
◎指紋認証を画面ロックの解除方法に設定することもできます(▶P.71)。

■ スリープモードについて

一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約したりキーやタッチパネルの誤動作を防止したりするために自動的に画面が消灯します。

memo

◎画面が消灯するまでの時間を変更できます(▶P.74)。

初期設定を行う

初期状態で本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。
初期設定について詳しくは、auホームページからダウンロードできる『設定ガイド Android 9 対応版』をご参照ください。

1 [利用開始]

- 言語を変更する場合は、[日本語]をタップし、言語を選択してください。

2 インターネットの接続方法を選択→[次へ]

接続するWi-Fi®ネットワークを設定します。
詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」(▶P.66)をご参照ください。

- モバイルデータを使用するかどうかの確認画面が表示された場合は、[OK]をタップします。

3 内容を確認→[次へ]

- HTCに本製品の使用状況を報告しない場合は[使用量設定を変更。]をタップし、チェックを外して[保存]をタップします。
- 使用条件に関する確認画面が表示された場合は、[同意する]をタップします。

4 Googleアカウントを設定する(▶P.18)

Googleアカウントを設定した場合は、Googleドライブにバックアップを保存しているかどうか確認し、保存されている場合はバックアップを引き継ぎます。保存されていない場合は「バックアップが見つかりませんでした」が表示されるので、[次へ]をタップします。Googleサービスの設定画面が表示されます。

5 Googleサービスを設定→[同意する]

6 [今回はスキップ]→[使用しない]

- HTCアカウントを作成する場合は、[アカウントの作成]をタップし、画面の指示に従って設定します。

7 [後から設定]

- エッジセンス部を握って操作できるように設定する場合は、[今すぐセットアップ]をタップして設定します(▶P.74)。

8 [今回はスキップ]→[常に省略]

- ロック画面の解除に指紋認証を利用する場合は、[指紋の設定]をタップして指紋を登録します(▶P.71)。

9 壁紙の設定の説明を確認→[次へ]

壁紙を設定する場合は[壁紙の設定]→壁紙を選択→[適用]→壁紙を設定する画面を選択→[次へ]と操作します。

10 本製品の名前を入力→現在地や使用量データを共有するかどうかを選択→[次へ]

※1 操作4で設定したGoogleアカウント名(@より左側)があらかじめ入力されています。
※2 Googleアカウントを設定していない場合は「HTV33」が入力されています。

11 [次へ]→auかんたん設定を行う(▶P.18)

Googleアカウントを設定する

本製品にGoogleアカウントを設定すると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリを初めて起動したときなどに表示されます。
Googleアカウントの設定について詳しくは、auホームページからダウンロードできる『設定ガイド Android 9 対応版』をご参照ください。

1 Googleアカウントの追加画面でメールアドレスを入力／[アカウントを作成]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合はメールアドレスを入力して[次へ]をタップし、パスワードを入力して[次へ]をタップしてから、画面の指示に従って設定を行ってください。
Googleアカウントをお持ちでない場合は[アカウントを作成]→[自分用]／[子供用]と操作し、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

■ Googleパスワードを再取得する

1 ホーム画面で[(Chrome)]→アドレスバーをタップ→「https://www.google.co.jp」を入力→[→]

2 [ログイン]→画面の指示に従って操作

auかんたん設定を行う

auの便利な機能やサービスを利用するための設定を簡単な操作で進められます。

1 ホーム画面で[⋮⋮⋮]→[設定]→[au設定メニュー]→[auかんたん設定]

2 auかんたん設定についての説明を確認→[次へ]

3 au IDを設定する

「au IDを設定する」(▶P.19)の操作2以降を行って、au IDを設定してください。

4 [アップデートする]／[アップデートしない]→[次へ]

- au Marketの利用に関する確認画面が表示された場合は、内容を確認し[次へ]をタップしてください。

5 初期設定の利用規約を確認→[同意する]を選択→[次へ]→[同意する]

- セキュリティに関する確認画面が表示された場合は、[同意する]をタップしてください。

6 データお預かりアプリを利用するかどうかを選択→[次へ]

7 auベーシックホーム画面を利用するかどうかを選択→[次へ]

8 歩きスマホ注意アプリを利用するかどうかを選択→[次へ]

9 Lookout for auアプリを利用するかどうかを選択→[次へ]

10 [この端末管理アプリを有効にする]

11 本製品に戻すデータにチェックを付ける→[次へ]

- 戻すデータがない場合は、データを戻す画面は表示されません。

12 インストールするおすすめアプリにチェックを付ける→[次へ]

13 auかんたん設定完了画面で[終了する]

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「au かんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[au ID 設定]

2 [au IDの設定・保存]→画面の指示に従って操作し、au IDを設定

- au IDをすでにお持ちの場合は、お持ちのau IDを設定します。
  au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)の初期設定を行う

Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)のご利用には、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

初期設定を行うと自動的にEメールアドレスが決まります。

※Wi-Fi®通信では初期設定ができません。

1 ホーム画面で[✉(Eメール)]

初めて起動したときは、Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)の初期設定が始まります。

2 Eメールアドレスを確認→[閉じる]

- Eメールの機能説明画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作します。

3 Eメールの利用状況収集に同意するかどうかを選択→[同意する]→[完了]

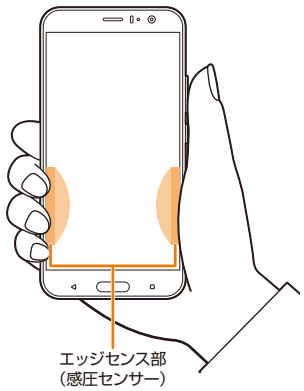
memo

◎初期設定時に決まったEメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」(▶P.44)の「Eメールアドレスの変更」をご参照ください。
◎Eメールの送受信は無線LAN(Wi-Fi®)通信で利用できますが、初期設定は4G(LTE／WiMAX 2+)データ通信にて行ってください。

エッジセンスについて

本製品にはエッジセンス機能が搭載されています。本製品を握って側面のエッジセンス部(感圧センサー)に圧力をかけることで、静止画や動画を撮影したり、Googleアプリを起動したりできます。

エッジセンス機能を利用するには初期設定が必要です。詳しくは、「エッジセンスの設定をする」(▶P.74)をご参照ください。



memo

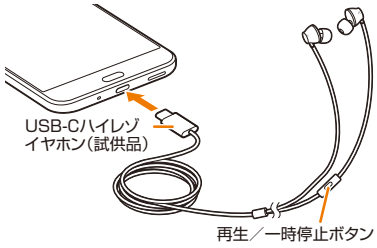
◎本製品を握っていなくても、エッジセンス部に圧力がかかって作動する場合があります。

イヤホンを使用する

付属のUSB-Cハイレゾイヤホン(試供品)を接続します。

1 イヤホンのプラグを本製品の外部接続端子に差し込む

本製品に初めてイヤホンを接続した場合は、オーディオプロフィールのカスタマイズ画面が表示されます。



2 イヤホンを耳に差し込む

3 [開始]→[今すぐスキャンを開始します]→[完了]→[適用]

耳の構造がスキャンされ、イヤホンの音声が最適化されます。

- 詳しくは、「USB-Cハイレゾイヤホンの設定をする」(▶P.74)をご参照ください。

memo

◎オーディオプロフィールのカスタマイズは必ずイヤホンを耳に差し込んでから実行してください。イヤホンを耳に差し込まずにカスタマイズすると、音質が悪くなる場合があります。
◎市販のイヤホンでは音声の最適化はできません。
◎3.5φのプラグのイヤホン(市販品)を使用する場合は、USB-C to 3.5mmデジタルジャックアダプタ(試供品)で本製品とイヤホンを接続してください。
◎USB-C to 3.5mmデジタルジャックアダプタ(試供品)は、高品質のサウンドを提供するため電力を必要とします。本製品の電池の消費を抑えるため、ご使用にならないときは外してください。

基本操作／文字入力

基本操作 **22**
タッチパネルの使いかた 22
ホーム画面を利用する 22
アプリを起動する 24
最近使用したアプリを利用する 24
本製品の状態を知る 24
マナーモードを設定する 25
メニューを表示する 26
画面を記録する 26
文字入力 **26**
文字を入力する 26

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

memo

◎タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
◎以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面にのせたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作
- 水中での操作

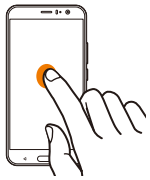
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。



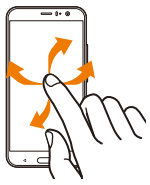
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向になぞります。



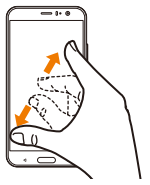
■ フリック(スワイプ)

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。
- 最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。



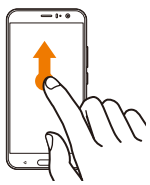
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。



■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



スリープモードでジェスチャを使う

スリープモード中でもダブルタップやフリック(スワイプ)することで、次の操作ができます。
- 初期状態は、[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→[Motion Launch のジェスチャ]の[ダブルタップで復帰とスリープを切り替え]、[上にスワイプしてロック解除]、[下に2回スワイプするとカメラが起動します]がオンに設定されています。

■ スリープモードを解除する

ダブルタップすると、スリープモードを解除します。

■ ロックを解除する

上にフリック(スワイプ)すると、ロックを解除します。

■ 拡張ホーム画面を表示する

左にフリック(スワイプ)すると、拡張ホーム画面を表示します。

■ BlinkFeed画面を表示する

右にフリック(スワイプ)すると、BlinkFeed画面を表示します。

■ カメラを起動する

下に2回フリック(スワイプ)すると、カメラを起動します。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、アプリを使用するためのスタートポイントです。この画面は、BlinkFeed画面と拡張ホーム画面で構成され、左右にフリックすると切り替えることができます。

BlinkFeed画面	ニュース提供元を設定しておくと、ニューストピックを閲覧できます。また、FacebookなどのSNSを登録しておくと、それぞれのサービスを利用できます。
拡張ホーム画面	最大9つのホーム画面(パネル)を表示でき、表示順は並べ替えることができます。 アプリ、ショートカットを起動したり、ウィジェットを表示したりします。 また、アプリ、ショートカット、ウィジェットを追加して自由に配置できます。



《BlinkFeed 画面》　《拡張ホーム画面》

① **ステータスバー**:通知アイコンとステータスアイコンが表示されます。ステータスバーを下にスライドすると、通知パネルを開くことができます(▶P.25)。
② **トピックタイトルエリア**:タイトルをタップすると、各種ニューストピック(ハイライト)を閲覧できます。
③ **ドック**:アイコンをタップすると、アプリや機能を起動できます。ドックに表示するアプリは変更することができます(▶P.22)。
- :電話をかけることができます(▶P.30)。
- :Webページを閲覧できます。
- :Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。
- :静止画や動画を撮影できます。

④ **カスタマイズエリア**:アプリのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。
⑤ **アプリ**:アプリを表示します。本製品でお使いになれる主なアプリについては、「アプリ一覧」(▶P.52)をご参照ください。

■ ドックに表示するアプリを変更する

お好みのアプリのショートカットを最大4つまでドックに表示できます。

1 ホーム画面でドックから外すアプリのアイコンをロングタッチ→画面上部の[削除]の上にドラッグ

2 [▦]→ドックへ入れるアプリのアイコンをロングタッチ

3 移動する位置(ドック内)へドラッグして指を離す

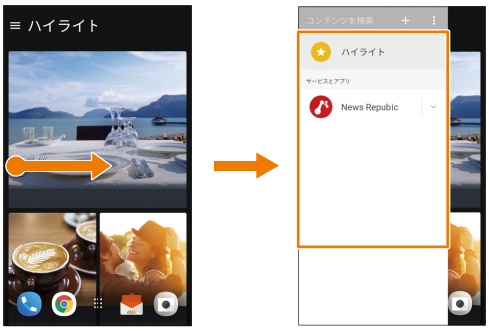
memo

◎他のアプリをドックへドラッグして重ねると、ドック内にフォルダが作成されます。

BlinkFeedを利用する

ニュースおよび各種サービスの表示設定を行います。

1 BlinkFeed画面で右にフリック



提供元の表示切り替えメニューが表示されます。
- 画面左上の≡をタップしても提供元の表示切り替えメニューを表示できます。

2 項目をタップ

ハイライト	BlinkFeed画面に戻ります。
最近	最近表示したトピックやサービスを表示します。
サービスとアプリ	設定したニュース分類項目を表示します。

※表示される項目は条件によって異なります。

■ 表示するコンテンツを設定する

1 提供元の表示切り替えメニューで[⊞]

コンテンツの追加画面が表示されます。

2 [News Republic]およびSNSにチェックを付ける

SNSの種類によってはログインが必要です。

3 ◁

memo

◎提供元の表示切り替えメニューで、[News Republic]の[∨]→提供元をタップと操作すると、提供元の情報一覧が読み込まれます。表示したい情報をタップして読んだり、[☆]をタップして記事を保存できます。◁をタップすると、BlinkFeed画面に戻ります。

■ 情報を更新する

BlinkFeed画面に表示するトピックを最新情報に更新します。

1 BlinkFeed画面で画面中央から下にスライド

[離すと更新します]が表示されるまでスライドします。



2 画面から指を離す

情報が更新されます。

拡張ホーム画面について

ホーム画面は、アイコンやウィジェットなどを追加するために、最大9つの拡張ホーム画面を用意しています。

■ 拡張ホーム画面に切り替える

1 ホーム画面でピンチイン

画面上部に拡張ホーム画面が一覧表示されます。

2 表示する拡張ホーム画面を2回タップ

memo

◎ホーム画面を左右にフリックしても、拡張ホーム画面に切り替えられます。

■ 拡張ホーム画面をホーム画面に設定する

よく使うアイコンやウィジェットなどを配置した画面をホーム画面に設定できます。

1 ホーム画面でピンチイン

画面上部に拡張ホーム画面が一覧表示されます。

2 設定する拡張ホーム画面をロングタッチ→[ホームに設定]の上にドラッグ

memo

◎カスタマイズエリアの何もない場所をロングタッチ→[ページの編集]→画面を左右にフリックして、設定する拡張ホーム画面を表示→[ホームに設定]→◁と操作してもホーム画面に設定できます。

■ 拡張ホーム画面を並べ替える

1 ホーム画面でピンチイン

画面上部に拡張ホーム画面が一覧表示されます。

2 移動する拡張ホーム画面をロングタッチ→移動する位置にドラッグ

拡張ホーム画面をカスタマイズする

■ ウィジェットやアイコンを追加する

1 ホーム画面でピンチイン

拡張ホーム画面一覧の下にカスタマイズ画面が表示されます。

2 [ウィジェット☑]／[アプリ☑]／[ショートカット☑]

ウィジェット:時計、音楽など、大切な情報やさまざまなコンテンツを確認できます。
アプリ:よく使うアプリのショートカットをホーム画面に追加できます。
ショートカット:各種設定、お気に入りの連絡先、Musicプレイリストなどのショートカットを作成できます。

3 ホーム画面に追加するウィジェットやアイコンを選択

選択したウィジェットやアイコンによっては、続けて項目やデザインを選択します。

memo

◎カスタマイズエリアの何もない場所をロングタッチ→[アプリとウィジェットを追加]と操作してもカスタマイズ画面を表示できます。

■ ウィジェットやアイコンを移動する

1 移動するアイテムをロングタッチ→新しい位置にドラッグ

■ フォルダを作成する

1 フォルダに入れるアイテムをロングタッチ→同じフォルダに入れるアイテムの上にドラッグ

memo

◎フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ→[名称未設定フォルダ]→フォルダ名を入力します。
◎フォルダをタップ→[⊞]→追加するアプリにチェックを付ける→[完了]と操作すると、フォルダにアプリを追加できます。

■ ウィジェットやアイコンを削除する

1 削除するアイテムをロングタッチ→[削除]の上にドラッグ

ホームランチャーを切り替える

■ auベーシックホームに切り替える

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[個人設定]→[ホーム画面のランチャーを変更]→[auベーシックホーム]

ホームランチャーがauベーシックホームに切り替わります。
- バッジ(アイコンへのお知らせ通知)の表示方法についての画面が表示されたら、内容をご確認のうえ、[設定メニューへ]→通知へのアクセス画面でauベーシックホームの[OFF]をタップして[ON]にする→[許可]と操作してください。

memo

◎auベーシックホームへの切り替え時にauベーシックホームのバッジ表示を許可しなかった場合は、ホーム画面で[▦]→[設定]→[アプリ]→[⋮]→[アプリの構成]→[特別なアプリアクセス]→[通知アクセス]をタップして、auベーシックホームの[OFF]をタップして[ON]にする→[許可]と操作してください。

■ らくらくモードに切り替える

電話やメール、カメラなど基本的な機能が大きなアイコンと文字で表示され、初心者でも使いやすいモードに切り替えることができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[個人設定]→[ホーム画面のランチャーを変更]

2 [らくらくモード]



- ホーム画面を左にフリックしてアプリを追加したり、右にフリックして連絡先を検索／設定できます。

memo

◎拡張ホーム画面に戻すには、ホーム画面を左にフリック→[簡単設定]→[⚙]→[個人設定]→[ホーム画面のランチャーを変更]→[SENSE HOME]と操作します。

縦／横画面表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→[画面の自動回転]の[OFF]をタップして[ON]にする

memo

◎本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
◎アプリによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

アプリを起動する

1 ホーム画面で[▦]

2 利用するアプリのアイコンをタップ

上下にスライドすると、前後のページを表示できます。

memo

◎利用するアプリのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
◎アプリによっては、アプリ一覧でアイコンをロングタッチすると、モードや機能を選択して起動できます。

最近使用したアプリを利用する

最近使用したアプリの履歴を表示する

1 ▢をタップ

最近使用したアプリの履歴が表示されます。
- 上下にスライドすると、履歴がスクロールします。
- アプリをタップすると、アプリが起動します。
- [×]をタップすると、履歴からアプリが削除されます。
- [すべてを消去します]をタップすると、すべての履歴が削除されます。

直前に使用していたアプリを起動する

1 ▢を2回タップ

画面を分割する

画面を上下に分割して、2つのアプリを同時に操作できます。

1 アプリの起動中に▢を約2秒以上長押しする

画面が上下に分割されます。上側の画面には起動中のアプリが表示され、下側の画面には最近使用したアプリの履歴が表示されます。

2 履歴からアプリをタップ



アプリが起動し、下側の画面に表示されます。
- ▢をタップすると、最近使用したアプリの履歴が再度表示されます。
- 中央のバーを上下にドラッグすると、1画面表示に戻ります。

memo

◎▢をタップし、分割表示したいアプリをロングタッチしてから[ここにドラッグして分割画面を使用する]にドラッグしても、画面を上下に分割できます。
◎分割表示に対応していないアプリもあります。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。



■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	発信中、通話中、着信中
	新着Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)あり
	サーバーに新着Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)あり
	新着SMSあり
	SMSの配信レポートあり
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
	ソフトウェア更新あり
	アプリのアップデートあり
	インストール完了
	USB接続中
	文字入力中
	ボイスレコーダー録音中
	カレンダーの予定の通知あり
	カレンダーのリマインダーの通知あり
	Wi-Fi®ネットワークあり
	Wi-Fi®テザリング機能オン
	Bluetooth®対応機器からのデータ着信あり
	データ受信／ダウンロード
	データ送信／アップロード
	microSDメモリカードのマウント中／取り出し中
	本体メモリの空き容量低下

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	電池レベル
	充電中
	電波状態
	圏外
	機内モード
	au ICカード未挿入
	データ通信(LTE／WiMAX 2+)状態 ※[LTE]/[WiMAX 2+]の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。 回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。
	無線LAN(Wi-Fi®)の電波状態
	着信音バイブ
	サイレントモード
	Bluetooth®対応機器と接続中
	マイク付きイヤホン接続中
	マイクなしイヤホン接続中
	NFCリーダー／ライター機能を有効に設定中
	データセーバー機能オン

通知ランプについて

本製品の充電状態や、未確認の不在着信、新着メールなどの情報は、通知ランプの点灯／点滅で確認できます。

通知ランプ	状態
点灯(緑)	電池充電完了
点灯(赤)	電池充電中
点滅(赤)	電池残量少(要充電)
点滅(緑)	未確認の通知あり

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されたときは、ステータスバーを下にスライドすると通知パネルを開くことができます。



① **設定切り替え**:各機能のアイコンをタップするたびに設定が切り替わります。
② **クイック設定パネル**:クイック設定パネルが表示されます(▶P.25)。
③ **お知らせエリア**:本製品の状態や通知の内容を確認できます。通知をタップすると対応するアプリを起動できます。
- 通知を左右にフリックすると削除できます。通知によっては削除できない場合もあります。
- 通知をロングタッチするか、通知を左右にフリック→[⚙]をタップすると、アプリの通知を設定できます。
- 通知を左右にフリック→[🕒]をタップすると、スヌーズする時間を設定できます。

④ **通知を管理する**:アプリの通知画面が表示されます。通知が表示されたアプリの一覧を表示し、通知のオン/オフを設定できます。
⑤ **設定**:設定メニューが表示されます(▶P.70)。
⑥ **すべてを消去します**:すべての通知を消去します。

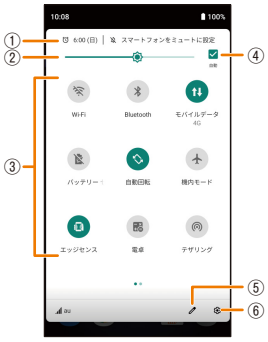
◁をタップすると通知パネルを閉じることができます。

memo

◎「設定切り替え」に表示されるアイコンはクイック設定パネルのアイコン一覧に表示されている最初の6項目です。表示するアイコンを変更したい場合は、クイック設定パネルでアイコンの位置を変更してください。

■ クイック設定パネルを開く

ステータスバーを2本の指で下にスライドするか、ステータスバーを下に2回スライドすると、クイック設定パネルを開くことができます。



① アラームやマナーモード設定状況などの情報を表示します。
② 画面の明るさをスライダで調節します。
③ **設定切り替え**:各機能のアイコンをタップするたびに設定が切り替わります。また、以下の操作ができます。
- 左右にフリックすると、アイコンの表示が切り替わります。
- アイコンをロングタッチすると、各機能の設定メニューが表示されます。

④ 周囲に合わせて明るさを調節するかどうかを設定します。
⑤ **編集**:クイック設定パネルの編集画面が表示されます。アイコンを非表示にするには、アイコンをロングタッチしてから[ここにドラッグして削除]の上にドラッグします。アイコンを表示するには、[タイルを追加するには押し続けながらドラッグ]に表示されているアイコンを表示させたい位置にドラッグします。アイコンを並べ替えるには、アイコンをロングタッチして配置したい位置にドラッグします。
⑥ **設定**:設定メニューが表示されます(▶P.70)。

◁をタップするとクイック設定パネルを閉じることができます。

マナーモードを設定する

公共の場所で周囲に迷惑がかからないように設定します。
設定できるモードは次の通りです。

マナーモード(着信音バイブ)	着信音は鳴らず、着信時はバイブレータが振動してお知らせします。アラーム音、メディア音は設定されている音量で鳴ります。
マナーモード(着信音ミュート)	着信音もバイブレータも鳴動しません。アラーム音、メディア音は設定されている音量で鳴ります。
サイレントモード	着信および通知の動作や例外、スケジュールなどをより詳細に設定できます(▶P.25)。

memo

◎マナーモードの設定対象は着信音です。メディア音とアラーム音は、「サウンドと通知」(▶P.75)で設定します。サイレントモードを利用すると、連動してミュートするように設定できます。
◎マナーモード設定中でも、シャッター音、動画撮影時の撮影開始/終了音、通話中に[通話を終了]をタップしたときの音は消音されません。

マナーモード(着信音バイブ)を利用する

1 (−)または(+)を押す

音量調節バーが表示されます。

2 [🔔]

📳に変わり、マナーモード(着信音バイブ)が設定されます。
- マナーモード(着信音バイブ)を解除するには、音量調節バーを表示→[📳]を2回タップします。アイコンが🔔に変わり、マナーモードが解除されます。
- ホーム画面で▦→[設定]→[サウンドと通知]→[モード設定]→[マナー]をタップしても、マナーモード(着信音バイブ)が設定されます。[通常]をタップすると、マナーモードが解除されます。

マナーモード(着信音ミュート)を利用する

1 (−)または(+)を押す

音量調節バーが表示されます。

2 [🔔]→[📳]

🔕に変わり、マナーモード(着信音ミュート)が設定されます。
- マナーモード(着信音ミュート)を解除するには、音量調節バーを表示→[🔕]をタップします。アイコンが🔔に変わり、マナーモードが解除されます。
- ホーム画面で▦→[設定]→[サウンドと通知]→[モード設定]→[サイレント]をタップしても、マナーモード(着信音ミュート)が設定されます。[通常]をタップすると、マナーモードが解除されます。

サイレントモードを設定する

着信および通知の鳴動を詳細に設定できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンドと通知]→[サイレントモード]

2 必要な項目を設定

着信音とバイブレーション	サイレントモード設定中に、音や振動を許可する機能を設定します。
通知	サイレントモード設定中の通知動作を設定します。
通話	サイレントモード設定中の着信拒否/許可を設定します。
メッセージ、予定、リマインダー	サイレントモード設定中に、メッセージの通知音や振動を許可する条件を設定します。また、予定、リマインダーの通知があったときに通知音を許可するかどうかを設定します。
期間	サイレントモード設定を解除するまでの期間を設定します。
自動的にON	サイレントモード設定をオンにするルールを設定します。 ※サイレントモード設定中でも、Eメール(@au.com/@ezweb.ne.jp)(▶P.34)の着信音が鳴動するように設定されている場合は、Eメール受信時に着信音が鳴る場合があります。
今すぐONにする/今すぐOFFにする	設定したサイレントモード設定を手動でオン/オフにします。

メニューを表示する

画面に表示される[⋮]をタップします。

※画面によって表示は異なります。



メニューが表示されます。

画面を記録する

表示中の画面を撮影(スクリーンショット)して、加工したり共有したりします。また、操作によって変化する画面を動画として録画(スクリーンレコード)します。スクリーンショットはpng(スクロールスクリーンショットはjpg)、スクリーンレコードはmp4で本体ストレージに保存されます。「フォト」アプリで確認できます。

スクリーンショットを撮影する

1 (電源)と(音量−)を同時に長押し

2 必要に応じて画像を操作

スクロール:ウェブページやメッセージスレッドなど縦に長い画面を1つのスクリーンショットとして撮影します。
一部:必要な部分をトリミングします。
編集:文字を打ち込んだり線を書き込んだりします。
共有する:メールに添付したり、Bluetoothなどで転送したりします。

3 [保存]

画像が保存されます。

memo

◎アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

画面を録画する

1 記録開始する画面表示中にステータスバーを下に2回スライド

2 クイック設定パネルで[画面レコーダー]

画面キャプチャツールが起動し、録画が開始されます。

- 録画開始時は画面レコーダー操作ボタンと録画時間が表示されますが、しばらくたつと録画時間表示のみに変わります。録画時間表示をタップすると、操作ボタンが再表示されます。

3 画面上で操作を行う

4 録画時間表示をタップ→[■]をタップ

動画が保存されます。

文字入力

文字を入力する

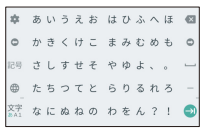
文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、テキストや数字の入力が必要なアプリを起動したときや、文字入力エリアをタップしたときに表示されます。

キーボードを切り替える

1 [⌨]→[テンキーボード]／[QWERTYキーボード]／[50音キーボード]


《テンキーキーボード》

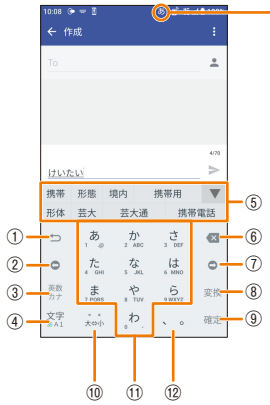

《QWERTY キーボード》


《50 音キーボード》

memo

◎ひらがな漢字入力モード時は、50音キーボード縦書き(右)／50音キーボード縦書き(左)も選択できます。

■ テンキーキーボードの見かた



① **戻るボタン**:文字入力ボタンに割り当てられている文字を逆の順に表示したり、変換を確定した文字を元に戻します(Undo)。
② **カーソル移動ボタン(左)**:カーソルを左に移動します。連文節変換時は変換する文字の範囲を1文字分短くします。
③ **英数カナ／記号ボタン**:入力中にタップすると、英数カナ変換を行います。入力前にタップすると、絵文字／記号／顔文字リストを表示します。
④ **文字ボタン**:入力モードを切り替えます(ひらがな漢字→半角英字→半角数字→ひらがな漢字→…)。
タッチしたまま右にスライドすると、ひらがな漢字／半角英字／半角数字／音声入力の切り替えができます。
⑤ **変換候補エリア**:文字を入力すると変換候補が表示されます。
⑥ **バックスペースボタン**:カーソルの左側の文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
⑦ **カーソル移動ボタン(右)**:カーソルを右に移動します。連文節変換時は変換する文字の範囲を1文字分長くします。
⑧ **スペースボタン**:スペースの入力、または連文節変換を行います。
⑨ **Enter(確定)ボタン**:改行を入力したり、入力中の読み(または変換中の漢字)を確定します。また、入力を確定後、検索などを実行するときにも使用します。
⑩ 入力中の文字に「゛」(濁点)・「゜」(半濁点)を付加したり、大文字・小文字の切り替えを行います。[🌐]をロングタッチすると、キーボードタイプの切り替えができます。
⑪ **文字入力ボタン**:文字を入力します。
⑫ 「、」(読点)や「。」(句点)、記号やスペースを入力します。

memo

◎キーボードが必要ないときは、(戻る)をタップして閉じることができます。キーボードを再表示するには、文字入力エリアをタップします。

キーボードをカスタマイズする

■ フローティングモードについて

キーボードには、通常モードとフローティングモードがあります。フローティングモードに切り替えると、キーボードの表示位置や透過度、サイズを設定できます。

1 [ ]をタップ



① **透過ボタン**:タップして表示されるスライダを左右にドラッグすると、キーボードの透過度を変更できます。
透過度を上げるにはスライダを右に、下げるには左にドラッグします。
② **位置移動ボタン**:ロングタッチして移動する位置へドラッグし、指を離すと、キーボードの表示位置を移動できます。
③ **通常モードボタン**:フローティングモードから通常モードに戻ります。
④ **サイズ変更ボタン**:ロングタッチしてドラッグすると、キーボードのサイズを変更できます。

memo

◎通常モードでもキーボードの位置やサイズを変更できます。

テンキーキーボードで入力する

例:「携帯」と入力する場合

1 文字入力エリアをタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 入力モードが[ひらがな漢字]以外のときは、[ ]をタップして入力モードを[ひらがな漢字]にします。



《テンキーキーボード(ひらがな漢字)》

2 文字入力ボタンをタップして「けいたい」と入力

か(4回) あ(2回) た(1回) あ(2回)
け い た い

変換候補エリアに変換候補が表示されます。
- 変換候補エリアに変換候補を表示しきれない場合は、変換候補エリア右の[▼]/[▲]をタップして変換候補エリアの最大化/最小化をすることができます。
- [英数カナ]をタップすると、入力した文字に応じた英数字およびカタカナなどの変換候補が表示されます。
- [変換]をタップすると、入力した文字の変換候補が表示されます。
- カーソル移動ボタン([ ]/[ ])をタップして変換する文字の範囲を変更することもできます。

3 変換候補エリアの[携帯]をタップ

■ フリック入力について

例:「携帯」と入力する場合

1 「テンキーキーボードで入力する」の操作1を行う(▶P.27)

2 文字入力ボタンをタップまたはフリックして「けいたい」と入力

か(右にフリック) あ(左にフリック)
け い

た(1回タップ) あ(左にフリック)
た い

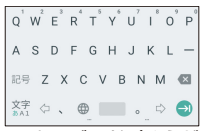
3 変換候補エリアの[携帯]をタップ

QWERTYキーボードで入力する

例:「携帯」と入力する場合

1 文字入力エリアをタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 入力モードが[ひらがな漢字]以外のときは、[ ]をタップして入力モードを[ひらがな漢字]にします。



《QWERTY キーボード(ひらがな漢字)》

2 文字入力ボタンをタップして「けいたい」と入力

[k] [e] [i] [t] [a] [i]
け い た い

3 変換候補エリアの[携帯]をタップ

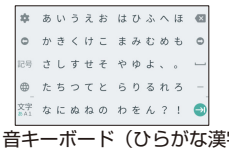
50音キーボードで入力する

ここでは、[50音キーボード横書き]の画面を例に説明します。

例:「携帯」と入力する場合

1 文字入力エリアをタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 入力モードが[ひらがな漢字]以外のときは、[ ]をタップして入力モードを[ひらがな漢字]にします。



《50 音キーボード(ひらがな漢字)》

2 文字入力ボタンをタップして「けいたい」と入力

[け] [い] [た] [い]
け い た い

3 変換候補エリアの[携帯]をタップ

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの読みと表記を、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 [ ]→[日本語]/[英語・その他]

2 読みと単語を入力→[OK]

電話／連絡先

電話 **30**
電話をかける 30
電話を受ける 31
自分の電話番号を確認する 31
連絡先 **31**
連絡先画面の見かた 31
連絡先を登録する 32
連絡先を編集する 32
グループを設定する 32
連絡先を確認する 32

電話

電話をかける

電話画面で電話番号を直接入力して電話をかけます。

1 ホーム画面で[(電話)]

電話画面が表示されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [ダイヤル]→通話→[通話を終了]

通話中に音量キーを押すと、通話音量(相手の声の大きさ)を調節できます。

■ 電話画面の見かた



《電話画面》

① **タブ**:通話履歴画面／電話画面／お気に入り画面／連絡先画面／グループ画面を切り替えます。
② **連絡先に保存**:連絡先に登録されていない電話番号を入力すると表示されます。タップすると、連絡先に電話番号を登録できます。
③ **電話番号入力欄**:電話番号を入力できます。ロングタッチすると、電話番号のコピーや貼り付けなどができます。
④ **ダイヤルボタン**
⑤ **キーパッド表示切替ボタン**
⑥ **メニュー**
⑦ **削除ボタン**:タップすると、番号が1桁ずつ消去されます。ロングタッチすると、入力した番号がすべて消去されます。
⑧ **音声入力ボタン**:電話番号や連絡先を音声で入力できます。
⑨ **ダイヤル**:入力した電話番号に電話をかけます。

memo

◎発信中／通話中に顔などによって近接光センサーをおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
◎送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎通話中に(ホーム)または(戻る)をタップすると、通話したままホーム画面に戻ります。通話中の画面を再表示するには、ホーム画面で[(電話)]をタップするか、ステータスバーを下にスライド→お知らせエリアの通話中通知をタップします。通話中通知の[電話を切る]をタップすると通話を終了します。通話中アイコン()が表示されている場合は、通話中アイコンをタップ→[全画面表示]で通話中の画面を再表示できます。

■ 通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
ミュート	タップするとマイクがオフになり、相手にこちらの声が聞こえなくなります。再度タップすると聞こえるようになります。
追加	別の相手に電話をかけます。
スピーカー	タップするとスピーカーフォンになり、スピーカーから相手の声が聞こえるようになります。再度タップすると元に戻ります。
	タップするとダイヤルボタンが表示され、プッシュ信号を送信できます。[]をタップすると元に戻ります。
⋮	通話の保留や連絡先の表示などの操作ができます。
通話を終了	通話を終了します。

memo

◎通話中に通話中の画面を非表示にすると通話中アイコン()がポップアップ表示されるので、別のアプリを操作しながらでも、通話中かどうかがわかります。また、通話中アイコンからでも[ミュート]／[スピーカー]／[通話を終了]を操作できます。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
◎着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に10分間解除されます。

スピードダイヤルで電話をかける

■ スピードダイヤルを登録する

スピードダイヤルを登録すると、電話画面で短縮番号をロングタッチして簡単に電話をかけられます。

1 ホーム画面で[(電話)]

2 []→[スピード ダイヤル]

スピードダイヤル設定画面が表示されます。

3 []→連絡先を選択

4 [未設定](番号)→電話番号を選択

5 [未設定](場所)→短縮番号(2～9)を選択→[保存]

memo

◎短縮番号1には留守番電話が登録されており、変更／削除はできません。
◎スピードダイヤル設定画面で登録済みの短縮番号をタップして電話をかけられます。
◎短縮番号を削除するには、スピードダイヤル設定画面で削除する短縮番号をロングタッチ→[削除]と操作します。

履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面で[(電話)]→通話履歴タブをタップ

通話履歴画面が表示されます。
:着信
:不在着信
:発信

2 電話をかける相手の[]をタップ→通話→[通話を終了]

memo

◎通話履歴画面で[電話帳]をタップすると、通話履歴を種類別に表示できます。
◎通話履歴をロングタッチするとオプションメニューが表示され、詳しい通話履歴の表示や通話履歴の削除、連絡先に保存などが行えます。

連絡先を利用して電話をかける

連絡先から電話をかけられます。

1 ホーム画面で[]→[連絡先]

2 電話をかける連絡先を選択→電話番号をタップ

3 通話→[通話を終了]

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面で[（電話）]

2 国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力

国際アクセスコード※1	→	国番号（アメリカ）	→	市外局番※2	→	相手の方の電話番号
010		1		212		123XXXX

※1 [0]をロングタッチすると[+]が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

3 [ダイヤル]→通話→[通話を終了]

memo

◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。
auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から **0077-7-111**（通話料無料）
受付時間 毎日9:00～20:00

電話を受ける

1 着信中に[応答]

画面消灯中（画面ロック中含む）の着信に応答する場合は、[応答]を上にスライドします。

- [着信のポップアップ表示]（▶P.75）にチェックを付けた場合、画面点灯中の着信時に着信画面がポップアップ表示され、[ ]をタップすると応答できます。
- 初期状態では[自動応答]（▶P.75）がONになっているため、本製品を持ち上げて受話口（レシーバー）を耳に当てると自動的に応答します。

2 通話→[通話を終了]

通話が終了し、元の画面に戻ります。

memo

◎LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、[モバイル ネットワーク]（▶P.70）を[OFF]にしてご利用ください。
着信時に着信音、バイブレータを無効にするには
◎着信音を一時的に消すには、＋または－を押します。
本製品を裏返しても着信音を消すことができます。
かかってきた電話に出なかった場合は
◎ステータスバーに[ ]が表示されます。

着信を拒否する

着信拒否の操作をすると電話が切れ、相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に[着信拒否]

画面消灯中（画面ロック中含む）の着信を拒否する場合は、[着信拒否]を上にスライドします。

- [着信のポップアップ表示]（▶P.75）にチェックを付けた場合、画面点灯中の着信時に着信画面がポップアップ表示され、[ ]をタップすると着信拒否できます。
- 初期状態では[通話拒否設定]が設定されています。着信を拒否すると、SMS送信オプション画面が表示されるので[テキストを送信]→送信するメッセージを選択してSMSを送信できます。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[バージョン情報]→[電話ID]→「電話番号」を確認

連絡先

連絡先画面の見かた

連絡先一覧画面の見かた



① **タブ**：通話履歴画面／電話画面／お気に入り画面／連絡先画面／グループ画面を切り替えます。
② **プロフィール**：自分の名前が表示されます。自分の名前を登録していない場合は、Googleアカウントの設定時に登録したGmailアドレスが表示されます。
③ **画像**：相手の画像が表示されます。画像を登録していない場合は が表示されます。
④ **追加ボタン**：新しい連絡先を追加します。
⑤ **メニューボタン**
⑥ **相手の名前**：相手の名前が表示されます。連絡先の一覧は五十音順で表示されます。
⑦ **検索ボタン**：連絡先を検索できます。

連絡先詳細画面の見かた



① **相手の名前**：相手の名前が表示されます。
② **アカウント**：連絡先が保存されているアカウントが表示されます。
③ **タブ**：詳細画面／スレッド画面を切り替えます。
④ **画像**：相手の画像が表示されます。画像を登録していない場合は が表示されます。
⑤ **電話番号**：登録されているすべての電話番号が表示されます。電話番号をタップすると、表示されている電話番号に発信します。
⑥ **メールアドレス**：登録されているすべてのメールアドレスが表示されます。メールアドレスをタップすると、表示されているメールアドレスを宛先に設定した送信メール作成画面が表示されます。
⑦ **グループ名**：登録されているグループ名が表示されます。
⑧ **編集ボタン**：連絡先を編集できます。
⑨ **メニューボタン**
⑩ **優先設定**：優先して使用する電話番号およびメールアドレスに表示されます。電話番号を優先設定するには、対象の電話番号をロングタッチ→[第一番号として設定します。]と操作します。メールアドレスを優先設定するには、対象のメールアドレスをロングタッチ→[優先アドレスとして設定]と操作します。
⑪ **SMSボタン**：登録されている電話番号を宛先に設定したSMS作成画面が表示されます。

連絡先を登録する

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手を連絡先に登録しておくと、簡単な操作で発信／メール送信できます。

1 ホーム画面で[▦]→[連絡先]

2 [＋]

- 連絡先を追加画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、[OK]をタップしてください。

3 各項目を入力→[✓]

memo

◎本製品に登録できる連絡先の件数は、システムメモリの空き容量によって異なります。
◎アカウントの設定によっては連絡先を作成する際にアカウントを選択できる場合があり、連絡先を作成するアカウントによってデータが登録される場所が異なります。主なアカウントは次の通りです。
電話: システムメモリに登録します。
Google: システムメモリとGoogleのサーバーに登録します。
◎HTC Sync Managerをインストールしたパソコンに本製品を接続すると、登録した連絡先をパソコンにバックアップし、同期することができます。
◎連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

連絡先を編集する

1 ホーム画面で[▦]→[連絡先]

2 編集する連絡先をロングタッチ→[連絡先を編集]

3 各項目を編集→[✓]

グループを設定する

連絡先をグループ分けすることができます。

1 ホーム画面で[▦]→[連絡先]→グループタブをタップ

グループ一覧画面が表示されます。

2 連絡先を追加するグループをタップ→[＋]→[既存の連絡先を追加]

- [新しい連絡先を作成]を選択した場合は、各項目を入力→[✓]と操作するとグループに追加されます。

3 グループに追加する連絡先にチェックを付ける→[保存(件数)]※

※チェックを付けた件数と合わせて表示されます。

グループを追加する

連絡先のグループ(「スポーツジム」、「学校」など)を作成できます。

1 ホーム画面で[▦]→[連絡先]→グループタブをタップ

グループ一覧画面が表示されます。

2 [⊕]→グループ名を入力→[保存]

memo

◎グループを編集／削除するには、グループ一覧画面でグループをロングタッチ→[グループを編集]／[グループを削除]と操作します。
ただし、お買い上げ時に用意されているグループは削除できません。

連絡先を確認する

1 ホーム画面で[▦]→[連絡先]→連絡先をタップ

詳細画面が表示されます。電話番号をタップして電話をかけたり、[💬]をタップしてSMSを送信したりできます。

メール／インターネット

メールを送受信する 34
メールについて 34
Eメール 34
Eメールの表示モードを切り替える 34
Eメールを送信する 36
Eメールを受信する 38
新着メールを問い合わせて受信する 39
Eメールを検索する 39
Eメールをフォルダモードで確認する 39
Eメールを会話モードで確認する 42
Eメールを設定する 42
バックアップしたEメールを復元する 44
Eメールアドレスの変更やその他の設定をする 44
迷惑メールフィルターを設定する 44
SMS 45
SMSを送信する 45
SMSを受信する 46
SMSを返信／転送する 46
SMSを保護／保護解除する 46
SMSの電話番号を連絡先に登録する 46
SMSの受信をブロックする 46
SMSを検索する 46
SMSを削除する 46
SMSを設定する 47
PCメール 47
PCメールのアカウントを設定する 47
PCメールを送信する 47
PCメールを受信する 47
PCメールに返信／転送する 48
PCメールを削除する 48
メールアカウントごとに受信設定を行う 48
Gmail 48
Gmailを送信する 48
Gmailを受信する 48
Gmailに返信／転送する 48
インターネット 48
インターネットに接続する 48
ブラウザを利用する 48

メールを送受信する

メールについて

本製品では、以下のメールが利用できます。

■ Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)

Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。
▶P.34「Eメール」

■ SMS

携帯電話同士で電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。
▶P.45「SMS」

■ PCメール

パソコンなどで利用しているメールアドレスのメールを送受信できます。
▶P.47「PCメール」

■ Gmail

Gmailは、Googleが提供するメールサービスです。本製品のGmailで送受信したメールを、パソコンなどのブラウザからも確認できます。また、ブラウザでGmailを操作すると本製品のGmailにも反映されます。
▶P.48「Gmail」

Eメール

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』および「Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)の初期設定を行う」(▶P.19)をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールの初期設定について

◎初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。
Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
◎時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
◎Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」(▶P.44)をご参照ください。
◎ホーム画面で[▦]→[設定]→[アプリ]→[Eメール]→[ストレージ]→[ストレージを消去]と操作した場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にバックアップを行ってください。
◎Eメールの文字サイズを変更可能です。
ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→[フォントサイズ]でサイズを変更してください。
◎アプリが使用する各機能に対し、アクセス権限の許可操作が必要となります。
ファイル添付、ファイル保存、バックアップ／復元、着信音設定時などにおいて、確認ダイアログ(Eメールに必要な許可のお願い)が表示される場合は、[許可]をタップしてください。

Eメールの表示モードを切り替える

指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードと、相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面で[✉(Eメール)]

2 [切替]

表示モードが切り替わります。



《フォルダモード》　《会話モード》

memo

◎本書ではフォルダモードでの操作を基準に説明しています。会話モードでは、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

フォルダモードでの画面の見かた

■ フォルダー覧画面の見かた

フォルダー覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、[フォルダ作成]をタップしてフォルダを作成すると表示されます。「フォルダ表示形式」(▶P.43)を「ツリー表示」に設定した場合は、フォルダー覧画面の表示形態がツリー形式になります。



《フォルダー覧画面》　《フォルダー覧画面》
グリッド表示　ツリー表示

① **インフォボックス**
② フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
③ **受信ボックス**
④ **送信ボックス**
⑤ **未送信ボックス**
⑥ **フォルダ**
⑦ **フォルダ作成**
⑧ **メニューボタン**
⑨ **アクションバー**

■ Eメール一覧画面の見かた



《受信メール一覧画面》



《送信メール一覧画面》



《未送信メール一覧画面》



《フォルダメール一覧画面》

① ●:未読のEメール

② 件名

③ 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
: 連絡先に登録があるアドレスと送受信した場合
: 連絡先未登録のアドレスと送受信した場合
※ や の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.43)で変更することができます。
を選択すると背景色を変更することができます。
背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.43)で戻すことができます。
Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前と画像が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

④ フラグ設定Eメール一覧表示切替ボタン
一覧画面内のすべてのEメールとフラグ設定Eメール一覧を切り替えて表示できます。

⑤ 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン

⑥ アイコン
:返信したEメール
:転送したEメール
:返信／転送したEメール
:添付データあり
:保護されたEメール
:フラグなしEメール
:フラグ付きEメール
:送信に失敗したEメール
:送信予約Eメール
:自動再送信Eメール

⑦ アクションバー

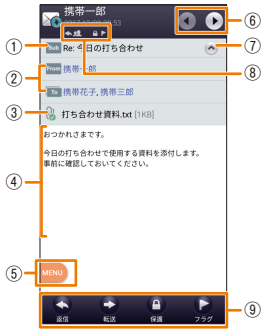
⑧ 受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

⑨ メニューボタン

memo

◎横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》



《送信メール詳細表示画面》

① Sub:件名

② 受信メール
From:差出人の名前またはEメールアドレス
To／CC:宛先の名前またはEメールアドレス
送信メール
To／CC／BCC:宛先の名前またはEメールアドレス

③ :通常添付データ
:通常添付データ(保存失敗)
:インライン添付データ

④ 本文表示エリア
本文表示エリアにて、ピンチイン、ピンチアウト操作することで、本文表示の拡大・縮小が可能です。

⑤ メニューボタン

⑥ 前のEメール／次のEメールを表示

⑦ 詳細情報の表示／非表示

⑧ アイコン
:送信に失敗したEメール
:返信したEメール
:転送したEメール
:返信／転送したEメール
:複数の宛先あり
BCC:Bccの宛先で受信したEメール
:送信予約Eメール
:自動再送信Eメール
:保護されたEメール
:フラグ付きEメール

⑨ アクションバー

会話モードでの画面の見かた

■ スレッド一覧画面の見かた

Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。



《スレッド一覧画面》

① **すべて表示／お気に入り表示切替タブ**
すべてのスレッド一覧、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。

② **スレッド**
: 連絡先に登録があるアドレスと送受信した場合
: 連絡先未登録のアドレスと送受信した場合
※ や の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.43)で変更することができます。
を選択すると背景色を変更することができます。
背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.43)で戻すことができます。

③ **(赤色):新着Eメールあり**
(青色):未読Eメールあり

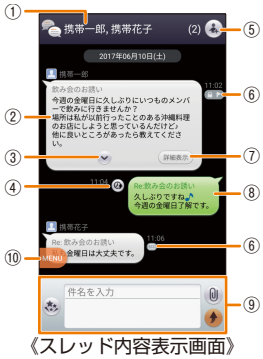
④ **インフォボックス**
インフォボックスメールを表示できます。
※新着／未読メールがある場合は、[インフォボックス]タブの右上に合計の件数が表示されます。

⑤ **(黄色):お気に入り**
(灰色):お気に入り解除

⑥ **アクションバー**

⑦ **メニューボタン**

■ スレッド内容表示画面の見かた



《スレッド内容表示画面》

① **スレッド名称(相手先)**
連絡先未登録の場合は、メールアドレスが表示されます。

② **受信したEメール**

③ **続き表示ボタン**
本文をすべて表示します。
閉じるときは[ ]をタップします。

④ **:送信予約Eメール**
:自動再送信Eメール

⑤ **宛先一覧表示ボタン**
送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。

⑥ **アイコン**
「Eメール詳細表示画面の見かた」(▶P.35)の⑧をご参照ください。

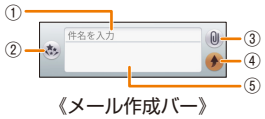
⑦ **詳細表示ボタン**
Eメール詳細表示画面を表示します。
• Eメールをロングタッチ→[詳細表示]と操作しても表示できます。
※HTML形式など、Eメールの種類により表示されます。

⑧ **送信したEメール／送信予約中のEメール**

⑨ **メール作成バー**

⑩ **メニューボタン**

■ メール作成バーの見かた



《メール作成バー》

① **件名入力欄**
[件名を非表示]に設定している場合は表示されません。

② **D絵文字ボタン**
デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。

③ **添付ボタン**
データを添付するときに使用します。

④ **送信ボタン**
メール送信を実行します。

⑤ **本文入力欄**
メールの本文を入力します。

Eメールを送信する

■ フォルダモードでEメールを送信する場合

1 ホーム画面で[(Eメール)]

2 [新規作成]
送信メール作成画面が表示されます。

3 [ ]
[アドレスを入力]をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

4 アドレスの入力方法をタップ

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用 メール送信履歴引用	受信メール履歴／送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 **Eメールアドレスにチェックを付ける→[選択]** • [MENU]→[削除]→Eメールアドレスにチェックを付ける→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け※	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 件名欄をタップ→件名を入力

6 本文入力欄をタップ→本文を入力

7 [完了]→[送信]→[送信]

■ 会話モードでEメールを送信する場合

1 スレッド一覧画面→[新規作成]
宛先入力画面が表示されます。
• 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合はスレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、操作4へ進みます。

2 [ ]
宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.36)の操作4をご参照ください。
[アドレスを入力]をタップしてアドレスを直接入力することもできます。
• 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

3 [作成]
スレッド内容表示画面が表示されます。

4 件名欄をタップ→件名を入力

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

6 [ ]→[送信]

memo

◎デコレーションアニメには対応しておりません。
◎件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ー(長音)゛(濁点)゜(半濁点)、。・「」』は入力できません。
◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。
◎送信時確認表示は非表示に設定することもできます(▶P.43)。
◎フォルダモードでは送信メール作成画面で[保存]をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
◎あらかじめ「自動再送信」(▶P.43)をオンにすると、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、[送信予約]をタップすると、日時指定送信か、本製品が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄の[ ]をタップ

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.36)の操作4へ進みます。
[宛先を追加]をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→入力済みのアドレスの[ ]をタップ→[削除]

memo

◎フォルダモードでは入力済みのアドレスの[To]をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

■フォルダモードで送信予約する場合

1 フォルダモードの送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力→[完了]

2 [送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

未送信ボックスに[ ]が付いた送信予定のEメールが保存されます。

■会話モードで送信予約する場合

1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [MENU]→[送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

スレッド内容表示画面に[ ]が付いた送信予定のEメールが表示されます。

memo

◎メールの自動送信は20件まで設定できます。
◎送信予約が設定されているメールを編集したり、指定した日時を変更したりしようとすると、いったん送信予約は解除されます。
◎電波状況などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
◎指定した日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
◎日時指定したメールが海外利用中に送信された場合、料金が高額となる場合がありますのでご注意ください。
◎電波が届かない状態で送信予約をすると、日時指定送信か圏内復帰時に自動送信するかを選択することができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面→[添付する]

会話モードではスレッド内容表示画面で[ ]をタップします。

2 添付するデータの種類をタップ

ギャラリー(静止画)	フォトの静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	フォトの動画データを添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を録画して添付します。
ストレージ	ファイル種別を選択して本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存しているデータを添付します。
その他	他のアプリを利用してデータを添付します。

memo

◎1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
1データあたり2MB以上の静止画データ(JPEG、PNG)を添付、または合計で2MB以上のデータを添付する際、静止画データ(JPEG、PNG)のサイズを縮小する場合があります。静止画データ(JPEG、PNG)のサイズをさらに縮小したい場合には、[画像サイズをケータイ用に変更]にチェックを付けてください。
受信側の端末によっては、受信できない、または、正しく表示できない場合があります。
◎フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
◎添付データを削除するには、削除する添付データの[ ]→[削除]と操作します。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[D絵文字]

会話モードではスレッド内容表示画面で[ ]をタップします。

2 [D絵文字を探す]

3 項目をタップ

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。※1
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

※1 2018年3月22日でサービスを終了いたしました。

■本体メモリの絵文字を利用する場合

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[D絵文字]

会話モードではスレッド内容表示画面で[ ]をタップします。

2 [ストレージ]

■D絵文字パレットのカテゴリを追加する場合

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[D絵文字]

会話モードではスレッド内容表示画面で[ ]をタップします。

2 [カテゴリ追加]

3 カテゴリ名称を入力→[作成]

4 作成したカテゴリに表示するデコレーション絵文字を選択→[追加]

■カテゴリ順序の入れ替えや編集を行う場合

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[D絵文字]

会話モードではスレッド内容表示画面で[ ]をタップします。

2 [カテゴリ設定]→[編集]

3 [☰]を移動したい位置までドラッグ→[完了]

・追加したカテゴリは、[削除]をタップして削除できます。カテゴリを削除してもデコレーション素材の元データは削除されません。

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面／スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→[MENU]

2 必要な項目をタップ

削除	Eメールを削除します。 ・会話モードのときのみ選択できます。
検索	▶P.39「Eメールを検索する」 ・会話モードのときのみ選択できます。
送信予約	▶P.37「送信予約をする」 ・会話モードのときのみ選択できます。
アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 [定型文][冒頭文][署名] ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください(▶P.43)。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 ・フォルダモードのときのみ選択できます。

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾することができます。

■ 本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます(デコレーションメール)。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [装飾]

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→[◀]／[▶]で終了位置を選択

[全選択]をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4 必要な項目を設定

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 [小さい][標準][大きい]
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 [左寄せ][センタリング][右寄せ][点滅表示][テロップ][スウィング]
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存している画像やフォトの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 [画像挿入][ライン挿入]

※[冒頭文][署名]編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

◎本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
◎「Eメールにデータを添付する」(▶P.37)の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
◎操作4で[MENU]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
◎会話モードでは、本文を装飾できません。

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知も「基本通知設定」(▶P.43)または「個別通知設定」(▶P.43)でOFFにすることができます。

- 端末がスリープ状態でEメールを受信すると画面が点灯します。
- ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます。

※初期状態ではOFFになっています。



《通知ポップアップ》

- ステータスバーに[✉]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ステータスバーに名前、Eメールアドレス、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ホーム画面で[✉(Eメール)]

Eメールのフォルダー覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるフォルダには[●](赤色)と件数が表示され、未読Eメールがあるフォルダには[●](青色)と件数が表示されます。

3 [受信ボックス]／フォルダをタップ

受信メール一覧画面が表示されます。

4 Eメールをタップ

Eメール詳細表示画面が表示されます。

memo

◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに[✉]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを再生する

1 Eメール詳細表示画面を表示

2 添付データをタップ→[表示]

memo

◎通常のEメール(テキストメール)では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、インライン再生されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存できます。

1 Eメール詳細表示画面→添付データをタップ

2 [ストレージへ保存]

3 [保存]

選択した画像が本体ストレージ、またはmicroSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカードの[MyFolder]に保存されます。

memo

◎添付画像を保存する保存先選択画面で[Up]をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 Eメール詳細表示画面／会話モードのスレッド内容表示画面を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3 項目をタップ

Eメール作成	選択したメールアドレスを宛先にしてEメールを作成します。 アプリ選択画面が表示された場合は、Eメールを作成するアプリを選択し、[常時]／[今回のみ]をタップします。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを連絡先に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **[新規振分けフォルダ作成]／[「×××」(×××はフォルダ名)に追加]→[保存]** • ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • [保存]をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は[再振分けする]をタップします。 ▶P.41「フォルダを作成／編集する」 • フォルダモードのときのみ選択できます。
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.44「迷惑メールフィルターを設定する」
迷惑メール報告	選択したEメールアドレスを迷惑メールとして報告します。 • フォルダモードのときのみ選択できます。

■ 件名をコピーする場合

2 件名をタップ→[コピー]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 項目をタップ

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。▶P.45「SMS」
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 項目をタップ

開く	選択したURLのページを表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面で[(Eメール)]

2 [新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

memo

◎会話モードではスレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面で[(Eメール)]

2 [MENU]→[全検索]

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

4 [検索]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダー一覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

memo

◎キーワード検索以外にも[▼]をタップし、検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定したりして検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[(Eメール)]

フォルダー一覧画面が表示されます。
• 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
• 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます(送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります)。

■受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]／フォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。
[返信]:返信のEメールを作成
[転送]:転送のEメールを作成
[保護]／[保護解除]:Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
:前のEメールを表示
:次のEメールを表示

■送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]／フォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は[送信]をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。
[再送信]:同じEメールをもう一度送信
[コピー編集]:コピーして編集
[保護]／[保護解除]:Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
:前のEメールを表示
:次のEメールを表示

■未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。
• 送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
• 日時指定した送信予約メールをロングタッチ→[送信予約情報]と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、いったん送信予約は解除されます。
• 送信予約メールをロングタッチ→[送信予約解除]→[解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。送信予約メールをタップした場合は、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。
[送信]:宛先が入力されているEメールを送信
[編集]:Eメールを編集
[コピー編集]:保護されたEメールをコピーして編集
[保護]／[保護解除]:Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
:前のEメールを表示
:次のEメールを表示

memo

◎宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたEメール、送信予約メールは削除されません。

Eメール一覧画面でできること

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→[MENU]

2 項目をタップ

削除	Eメールを削除します。 **削除するEメールにチェックを付ける→[削除]→[削除]** • [全選択]をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。
検索	▶P.39「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 **移動するEメールにチェックを付ける→[移動]→移動先のフォルダをタップ** • あらかじめフォルダを作成してください(▶P.41)。 • [全選択]をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除したりします。 **保護／解除するEメールにチェックを付ける→[保護]／[解除]** • [全選択]をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,750件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または750件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付ける／外すEメールにチェックを付ける→[つける]／[解除]** • [全選択]をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
迷惑メール報告	差出人のEメールアドレスを迷惑メールとして報告します。 **報告するEメールにチェックを付ける→[報告]** • [全選択]をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.41「フォルダを作成／編集する」

※画面により項目の表示順や選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面で操作するEメールをロングタッチ

2 項目をタップ

返信	Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に[Re:]を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に[Fw:]を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは[保護解除]をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは[フラグ解除]をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください(▶P.41)。
拒否リスト登録	差出人のEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.44「迷惑メールフィルターを設定する」
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール詳細表示画面でできること

1 受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面→[MENU]

2 項目をタップ

削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください(▶P.41)。
転送	転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に[Fw:]を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップ、または[◀]／[▶]でカーソルを移動→[選択開始]→[◀]／[▶]で選択範囲を指定→[コピー]** • Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をロングタッチ→[●]／[●]をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 • [全選択]をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
迷惑メール報告	差出人のEメールアドレスを迷惑メールとして報告します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 [ISO-2022-JP] [Shift-JIS] [UTF-8] [EUC-JP] [ASCII] • 変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。

※画面により項目の表示順や選択できる項目は異なります。

フォルダー一覧画面でできること

1 フォルダー一覧画面→[MENU]

2 項目をタップ

全検索	▶P.39「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.41「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除するフォルダにチェックを付ける→[削除]→[削除]** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。[削除しない]をタップすると、保護されたEメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
同期設定	タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。

memo

同期設定について

◎ タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した場合、本製品とタブレットを同期するため、メールの保存先が「端末(ローカル)」から「メールサーバー」に変更となります。
◎ 同期設定前に送受信したメールがある場合、該当のメールはすべて「過去メール」ボックスに保存されます。
◎ その他の変更点については、auホームページをご参照ください。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 フォルダー覧画面→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■フォルダアイコンを変更する場合

3 [ ]

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]

5 各項目を設定→[保存]

■フォルダ画像を設定する場合

3 [ ]→[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]

5 各項目を設定→[保存]

memo

◎最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダー覧画面→[MENU]→[フォルダ編集]→フォルダをタップ

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■振分け条件を設定する場合

2 [振分け条件追加]→[▼]

3 登録する振分け条件の種類をタップ

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存]** • [ ]をタップすると、[アドレス帳引用][アドレス帳グループ引用][メール受信履歴引用][メール送信履歴引用][プロフィール引用][貼り付け※]から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→[OK]→[保存]** • [ ]をタップすると、[アドレス帳引用][メール受信履歴引用][メール送信履歴引用][プロフィール引用][貼り付け※]から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→[OK]→[保存]** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

※クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 [アドレス帳登録外]／[不正なメールアドレス]にチェックを付ける→[保存]

memo

◎振分け条件を設定／編集して[保存]をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、[再振分けする]をタップします。
◎全フォルダで[メールアドレス][ドメイン][件名]を合わせて最大400件登録できます。
◎同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
◎[振分け条件設定]の一覧で、追加した条件の右横にある[ ]をタップして、条件を編集したり削除したりすることができます。
◎振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
◎一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞･･･＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、着信ランプの動作を設定できます。

1 フォルダー覧画面→[MENU]→[フォルダ編集]→[受信ボックス]／フォルダをタップ

ロックされた[受信ボックス]／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3 必要な項目を設定

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音 通知音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
	ストレージから探す	本体ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信ランプの動作を設定します。 **[OFF]／[緑点滅]→[OK]**	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 [一曲鳴動][時間設定] • [時間設定]を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	

4 [OK]→[保存]

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。あらかじめ[Eメール設定]の[プライバシー設定]でフォルダロック解除パスワードを設定してください(▶P.42)。

1 フォルダー覧画面→[MENU]→[フォルダ編集]→[受信ボックス]／フォルダをタップ

2 [フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

[フォルダロック]にチェックが付きます。
フォルダ編集画面で[フォルダロック]のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

■ フォルダを並べ替える

1 フォルダー覧画面→移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に[選択したフォルダの場所を移動できます。]が表示されます。

2 移動する位置にドラッグ

memo

◎作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにEメールをスレッドにまとめて表示できます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面で[(Eメール)]→[切替]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるスレッドには[N](赤色)、未読Eメールがあるスレッドには[●](青色)が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示されEメールが確認できます。

スレッド一覧画面でできること

1 スレッド一覧画面→[MENU]

2 項目をタップ

削除	選択したスレッドをすべて削除します。 **削除するスレッドにチェックを付ける→[削除]→[削除]** • スレッド内のEメールはすべて削除されます。 • [全選択]ですべてのスレッドを選択することもできます。 • スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。[削除しない]をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。 • 削除するスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]と操作しても削除できます。
全検索	▶P.39「Eメールを検索する」
件名を表示／件名を非表示	件名の表示／非表示を設定します。
同期設定	タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。

スレッド内容表示画面でできること

1 スレッド内容表示画面→[MENU]

2 項目をタップ

削除	Eメールを削除します。
検索	▶P.39「Eメールを検索する」

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面→操作するEメールをロングタッチ

2 項目をタップ

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは[保護解除]をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは[フラグ解除]をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	添付画像およびインライン画像を保存します。
迷惑メール報告	差出人のEメールアドレスを迷惑メールとして報告します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールを設定する

1 ホーム画面で[(Eメール)]

2 [MENU]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

3 必要な項目を設定

表示設定		▶P.43「表示に関する設定をする」
送信・作成設定		▶P.43「送信・作成に関する設定をする」
通知設定	基本通知設定	▶P.43「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.43「個別の通知に関する設定をする」
プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード(4～16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK]** • パスワードを設定すると[パスワード変更]が表示されます。 • フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効／無効を設定します。 **パスワードを入力→[OK]** • 表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 • パスワード未設定の場合は設定できません。 • シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
設定更新		Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元		▶P.44「バックアップしたEメールを復元する」
改善情報取得・auアプリサイドメニュー連携設定	改善情報送信設定	Eメールアプリや Eメールサービスの品質の維持・向上のために、Eメール送受信時の品質/電波状況、絵文字などのコンテンツ利用状況の取得・収集に関する設定を行います。 **[設定する]／[設定しない]→[完了]**
	auアプリサイドメニュー連携設定	サイドメニューから、KDDI提供のauサービス・アプリへのアクセス数集計に必要な情報の取得・収集に関する設定を行います。 また、当設定を実施することで、サイドメニュー内のお知らせ表示の状態を、KDDI提供のauアプリ間で連携することができます。 **[設定する]／[設定しない]→[完了]**
プライバシーポリシー		プライバシポリシー(個人情報保護方針)について表示します。
Eメール情報		自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。

表示に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[表示設定]

2 必要な項目を設定

アドレス帳登録名表示	連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。	
プロフィールアイコンを表示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。	
プロフィールアイコン色のリセット	プロフィールアイコンの背景色をリセットします。	
マガジンビュー	マガジンビュー対応のメールマガジンを雑誌のようにページをめくって閲覧するかどうかを設定します。 • マガジンビューを利用するには、本製品を横向きにします。	
外部画像表示アドレス	外部のWebサイトに表示された画像を常に表示するアドレスの確認、削除をします。	
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。	
背景画像設定	背景画像(縦画面) 背景画像(横画面)	背景画像を設定します。 **[設定する]→画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]**
フォルダ表示形式	フォルダモード時のフォルダの表示形式を設定します。 [グリッド表示] [ツリー表示]	

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[送信・作成設定]

2 必要な項目を設定

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→返信先のEメールアドレス(半角64文字まで)を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→差出人名称を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文(全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[MENU]→[挿入]→[冒頭文]と操作して挿入してください。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名(全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[MENU]→[挿入]→[署名]と操作して挿入してください。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 • 会話モードでご利用の場合、チェックを付けてオンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信を防ぐために、送信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	送信に失敗したEメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[基本通知設定]

2 必要な項目を設定

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音 通知音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
	ストレージから探す	本体ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
LED	Eメール受信時の着信ランプの動作を設定します。 **[OFF]／[緑点滅]→[OK]**	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 [一曲鳴動] [時間設定] • [時間設定]を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
ステータスバー通知	Eメール受信時のステータスバーの通知について設定します。 [差出人・件名] [差出人] [通知のみ] [OFF]	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
電源キー押下による着信音鳴動停止	着信音鳴動中に、(音量)を押して画面を点灯または消灯させたときに、鳴動を停止するかどうかを設定します。	

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[個別通知設定]

2 [新規設定]

3 [アドレス帳引用]／[メール受信履歴引用]／[メール送信履歴引用]→設定するアドレスを選択

[メール受信履歴引用]／[メール送信履歴引用]をタップした場合は、設定するアドレスにチェックを付ける→[選択]と操作します。

4 必要な項目を設定

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音 通知音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
	ストレージから探す	本体ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
LED	Eメール受信時の着信ランプの動作を設定します。 **[OFF]／[緑点滅]→[OK]**	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 [一曲鳴動] [時間設定] • [時間設定]を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	

バックアップしたEメールを復元する

過去にご利用の製品でバックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ(メール本文・添付ファイル)を復元することができます。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [メールデータ復元]

3 復元するメール種別を選択→[OK]

4 復元するバックアップデータにチェックを付ける→[OK]

[全選択]をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
[Up]をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。[MyFolder]をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 [追加保存]/[上書き保存]→[OK]

[上書き保存]を選択した場合は、確認画面で[OK]をタップします。

memo

◎バックアップしたメールデータを復元する際に[上書き保存]を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」/「送信ボックス」/「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールデータを復元します。
◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ(メール本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件をすべて消去し、復元します。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [まるごと復元]

3 復元するバックアップデータにチェックを付ける→[OK]

■復元前にメールデータがない場合

4 [OK]

■復元前にメールデータをバックアップする場合

4 [バックアップ]→[OK]

シークレット機能を有効にしてメールデータバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。

5 バックアップデータを作成するための文字コードを選択→[OK]

文字コードについては[ヘルプ]をタップして確認してください。

6 バックアップするフォルダにチェックを付ける→[OK]

ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
会話モードではバックアップするメール種別を選択します。

7 [OK]→[OK]→[OK]

■復元前にメールデータをバックアップしない場合

4 [まるごと復元]→[OK]→[OK]

memo

◎まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動します。

Eメールアドレスの変更やその他の設定をする

1 ホーム画面で[(Eメール)]

2 [MENU]→[アドレス変更/フィルター設定]

3 必要な項目を設定

メールアドレスの変更へ	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. [承諾する]** **3. [ご希望のメールアドレスに変更する]をタップ→Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]** ・Eメールアドレスを変更すると、ドメイン名(@より右側)は「ezweb.ne.jp」から「au.com」に変更されます。 ・初期設定のEメールアドレスからドメイン名(@より右側)のみを「ezweb.ne.jp」から「au.com」に変更するように設定できます。 ・Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 ・変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 ・入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 ・Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定/確認へ	**オススメの設定はこちら** ▶P.44「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先の設定へ	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]** ・自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 ・自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 ・[エラー！Eメールアドレスを確認してください。]と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 ・Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 ・自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返ることがありますのでご注意ください。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信/拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

■おすすめの設定にする場合

1 ホーム画面で[(Eメール)]

2 [MENU]→[アドレス変更/フィルター設定]

3 [オススメの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■詳細を設定する場合

1 ホーム画面で[(Eメール)]

2 [MENU]→[アドレス変更/フィルター設定]

3 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

4 必要な項目を設定

オススメ設定	オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」を「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」にチェックを入れることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のauメールアドレス」またはその一部(@au.com／@ezweb.ne.jp)などを設定する場合は、「必ず受信」のチェックを外してください。 **アドレス帳受信設定へ:** 「auアドレス帳」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。
	その他の詳細設定をする	**迷惑メールおまかせ規制:** メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制:** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを入れて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 **HTMLメール規制:** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制:** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制:** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
全ての設定を一括解除する		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除します。

※[ヘルプ]をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
※最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
ウィルスメール規制>受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯／PHS以外のメール拒否設定>迷惑メールおまかせ規制
◎「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録してください。

SMS

「SMS」アプリはau電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。
au電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面で[▦]→[SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [⊕]

SMS作成画面が表示されます。
• 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作4へ進みます。

3 画面上部のボックスに相手の電話番号を入力

[👤]→連絡先などから相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。
• 海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。
[0][1][0]+国番号+相手先電話番号
※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
※連絡先などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [テキストを追加]→本文を入力

本文は、全角670／半角1530文字まで入力できます。
※国内・海外他事業者宛には全角70／半角160文字まで送信できます。
• [記号]をタップすると絵文字を入力できます。

5 [▶]

送信したメッセージをタップ→[メッセージの詳細を表示]と操作すると送信結果を確認できます。
[保留]:メッセージが未送信／送信中の場合は、スレッド一覧／スレッド内容表示画面に[🕓]が表示されます。メッセージがSMSセンターに蓄積済みの場合は、スレッド一覧／スレッド内容表示画面に[📩]が表示されます。
[失敗]:スレッド一覧／スレッド内容表示画面に[⚠]が表示されます。

memo

◎メッセージ作成中に◁をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	300件 ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。
◎発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。
◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに[⚠]が表示される場合があります。
◎国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに[ ]が表示され、メール受信音が鳴ります。

- 通知パネルを開いて[返信]をタップすると、通知パネル上でSMSを送信できます。

2 ホーム画面で[ ]→[SMS]

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

◎SMSの受信は、無料です。
◎受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎スレッド内容表示画面で[ ]→[ダイヤル]をタップすると相手先に電話をかけることができます。
◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
◎受信したSMSがダイアログ表示される場合があります。「閉じる」をタップするとメッセージを破棄します。
◎本体ストレージの空き容量が不足した場合、SMSを正しく受信できません。
◎データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

■本文中の電話番号を利用する場合

1 スレッド内容表示画面を表示

2 本文中の電話番号をタップ

3 [ダイヤル]

選択した電話番号に電話をかけます。

■本文中のEメールアドレスを利用する場合

1 スレッド内容表示画面を表示

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 [メールを送信する]

4 Eメールを作成

■本文中のURLを利用する場合

1 スレッド内容表示画面を表示

2 本文中のURLをタップ

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

SMSを返信／転送する

■返信する場合

1 ホーム画面で[ ]→[SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

3 [テキストを追加]→本文を入力

4 [ ]

■転送する場合

1 ホーム画面で[ ]→[SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

3 転送するメッセージをタップ

オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 画面上部のボックスに相手の電話番号を入力

[ ]→連絡先などから相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

6 本文を入力

7 [ ]

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをタップ

3 [メッセージをロック]／[メッセージのロック解除]

保護したメッセージには[ ]が表示されます。

SMSの電話番号を連絡先に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 [ ]→[連絡先を保存]→[新しい連絡先を作成]

連絡先の登録画面が表示されます。

- 既存の連絡先に保存する場合は、[既存の連絡先に保存]→連絡先をタップします。
- スレッド一覧画面で登録する相手先の[ ]→[新しい連絡先を作成]／[既存の連絡先に保存]と操作しても連絡先の登録画面が表示されます。

3 各項目を入力→[ ]

SMSの受信をブロックする

指定した電話番号からのSMSをブロックして、受信しないように設定できます。

ブロックする電話番号を登録する

1 スレッド一覧画面→[ ]→[連絡先をブロック]

2 ブロックする電話番号または連絡先にチェックを付ける→[ブロック]

ブロックを解除する

1 スレッド一覧画面→[ ]→[ブロック連絡先リスト]

2 [ ]→[ブロックした連絡先を削除]

3 解除する電話番号または連絡先にチェックを付ける→[削除]→[OK]

- 解除する電話番号または連絡先をロングタッチ→[連絡先のブロック解除]→[OK]と操作しても解除できます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→[ ]→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。
検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

■1件削除する場合

1 ホーム画面で[ ]→[SMS]

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをタップ

4 [メッセージを削除]→[OK]

■スレッドごと削除する場合

1 ホーム画面で[ ]→[SMS]

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 [削除]→[OK]

- ロックされたメッセージがあるスレッドを削除する場合は、[ロックされたメッセージを削除]にチェックを付けます。

■複数のスレッドを削除する場合

1 ホーム画面で[ ]→[SMS]

2 [ ]→[スレッドを削除]

3 削除するスレッドにチェックを付ける

4 [削除]

■すべてのスレッドを削除する場合

1 ホーム画面で[ ]→[SMS]

2 [ ]→[スレッドを削除]

3 [ ]→[すべて選択]

4 [削除]

SMSを設定する

1 ホーム画面で[▦]→[SMS]

2 [⋮]→[設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3 必要な項目を設定

通知	着信SMS/MMS	SMS受信時の通知方法を設定します。
	SMS/MMSの送信に失敗	SMS送信失敗時の通知方法を設定します。
	発信SMS/MMS	SMS送信時の通知方法を設定します。
	SIMカードがいっぱいです	SIMカード保存領域不足時の通知方法を設定します。
	WAPプッシュメッセージ	サービスプロバイダーによる配信サービスメッセージ受信時の通知方法を設定します
	通知ドットの許可※1	SMS受信時のバッジ表示を許可するかどうかを設定します。
テキストメッセージ(SMS)	配信レポートを受信	配信レポートを受信するかどうかを設定します。
	サービスセンター	サービスセンターの電話番号を設定します。
全般	送信済みメッセージの履歴を表示	SMS作成画面で、画面上部のボックスに相手の電話番号を入力する際、送受信したSMSの電話番号を宛先候補として表示させるかどうかを設定します。
	メッセージのプレビュー	メッセージのプレビュー表示の行数を設定します。 [1行][2行][3行]
	古いメッセージを削除	スレッドごとに保存できる上限件数に達した場合、古いメッセージを消去するかどうかを設定します。
	テキストメッセージの制限件数	スレッドごとに保存できる上限件数を設定します。
	パスワード	セキュアボックスを開くときのパスワードを設定／変更します。 **パスワードを入力→同じパスワードを再度入力→[はい]**
	ブロックメッセージを保存	ブロックボックスへブロックしたメッセージを保存するかどうかを設定します。
	署名を使う	本文の末尾に署名を挿入するかどうかを設定します。
	署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。
	スレッドの壁紙	スレッドビューの壁紙を設定します。
	吹き出しの色を変更	受信したメッセージと送信済みメッセージの吹き出しの色を設定します。
	既定に戻す	スレッドビューの壁紙とメッセージの吹き出しの色を初期設定に戻します。
	スレッド表示の文字サイズ	スレッド表示の文字サイズを設定します。 [小][中][大][特大][極大]
プライバシーポリシー		プライバシーポリシーを確認できます。

※1「詳細設定]をタップすると表示されます。

memo

◎設定により選択できる項目は異なります。
◎操作2の後、[⋮]→[初期設定に戻す]と操作すると、初期値に戻すことができます。

PCメール

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。

PCメールのアカウントを設定する

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

1 ホーム画面で[▦]→[メール]

2 メールプロバイダを選択→メールアドレスとパスワードを入力→[次へ]

自動的にメールサーバーの設定が行われます。
[手動設定]をタップした場合や、[次へ]をタップしても自動的に設定できない場合は、手動で設定します。

3 アカウント名とあなたの名前を入力→[完了]

受信トレイが表示され、設定したアカウントのメールが受信されます。

memo

◎「あなたの名前」は、メールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名前です。
◎メールプロバイダによっては、操作が異なる場合があります。

別のPCメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で[▦]→[メール]→[⋮]→[アカウントを追加]

詳しくは、「PCメールのアカウントを設定する」(▶P.47)をご参照ください。

アカウントを削除する

1 ホーム画面で[▦]→[メール]→画面左上のアカウント名をタップ

2 削除するアカウントをタップ

3 [⋮]→[設定]→[アカウントの削除]→[OK]

PCメールを送信する

1 ホーム画面で[▦]→[メール]

別のメールアカウントでメールを作成する場合は、画面左上のアカウント名をタップ→メールを作成するアカウントをタップします。

2 [⊕]

3 [To:]→宛先を入力

[👤]をタップすると、連絡先からメールアドレスを選択できます。
CCまたはBCCを追加するには、[CC／BCCを表示]をタップしてCC欄とBCC欄に宛先を入力します。

4 [件名]→件名を入力

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

必要に応じて[📎]→添付するファイルを選択します。

6 [▶]

memo

◎メール作成中に[⋮]→[保存]と操作すると、メールを送信せずに下書きとして保存できます。
◎下書きとして保存したメールは、PCメール一覧画面で[⋮]→[フォルダ]→[下書き]→下書きメールをタップすると表示できます。

PCメールを受信する

1 ホーム画面で[▦]→[メール]

PCメール一覧画面が表示されます。
別のメールアカウントのPCメールを受信する場合は、画面左上のアカウント名をタップ→PCメールを受信するメールアカウントをタップします。

2 画面中央から下にスライド

画面左上の[離すと更新します]が表示されるまでスライドします。

3 画面から指を離す

4 受信したPCメールをタップ

memo

◎PCメールを受信すると、ステータスバーに[✉]が表示され、メール受信音が鳴ります。
メールを確認するには、ステータスバーを下にスライド→PCメールの情報をタップ→受信したPCメールをタップします。

PCメールに返信／転送する

1 **PCメール一覧画面で返信／転送するPCメールをタップ**

2 **[転送]／[全員へ返信]／[返信]**

3 **メールを作成して送信**

詳しくは、「PCメールを送信する」(▶P.47)をご参照ください。

memo

◎PCメール一覧画面で返信／転送するPCメールをロングタッチ→[返信]／[全員へ返信]／[転送]と操作しても、返信／転送できます。

PCメールを削除する

1 **PCメール一覧画面で削除するPCメールをロングタッチ→[削除]**

memo

◎PCメール一覧画面で削除するPCメールをタップ→[削除]と操作しても削除できます。
◎複数のメールを削除するには、PCメール一覧画面で削除するPCメールにチェックを付ける→[削除]と操作します。

メールアカウントごとに受信設定を行う

1 **PCメール一覧画面で画面左上のアカウント名をタップ→受信設定を行うメールアカウントをタップ**

2 **[⋮]→[設定]→[同期、送受信]→受信設定(同期設定)を行う**

Gmail

Gmailは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの送受信などができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントが必要です。Googleアカウントの設定方法については、「Googleアカウントを設定する」(▶P.18)をご参照ください。
- 利用方法の詳細については、Gmail画面で[≡]→[ヘルプとフィードバック]と操作してGmailのヘルプをご確認ください。

1 **ホーム画面で[▦]→[Google]→[Gmail]**

受信トレイ画面が表示されます。

Gmailを送信する

1 **Gmail受信トレイ画面で[✎]**

2 **[To]→宛先を入力**

3 **[件名]→件名を入力**

4 **[メールを作成]→本文を入力**

5 **[▷]**

Gmailを受信する

1 **Gmailを受信**

Gmailを受信すると、ステータスバーに[M]が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 **ステータスバーを下にスライド→Gmailの情報をタップ**

memo

◎Gmailアカウントの同期をオフに設定している場合やメールの受信に失敗した場合は、Gmail受信トレイで画面中央から下にスライドすると、新着メールを問い合わせして受信します。

Gmailに返信／転送する

1 **Gmail受信トレイ画面で返信／転送するメールを含むスレッドをタップ**

メールの作成画面が表示されます。

2 **[返信]／[全員に返信]／[転送]**

3 **件名、本文を入力→[▷]**

- 転送する場合は、[To](宛先)も入力します。
- 元のメールを引用しながら返信するときは、メールの作成画面で[●●●]をタップします。

インターネット

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

- データ通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶P.48「データ通信を利用する」)
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能(▶P.66「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」)

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で[▦]→[設定]→[モバイル ネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作してください。

memo

◎LTEフラットなどのデータ通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

■ データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額サービスのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://www.au.com/support/

ブラウザを利用する

インターネットのWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 **ホーム画面で[(Chrome)]**

■ URL表示欄を利用する

画面上部に表示されるURL表示欄にURLを入力してサイトを表示したり、キーワードを入力して検索できます。URL表示欄が表示されていない場合は、画面を下にスライドして表示します。

1 **Webページ表示中にURL表示欄をタップ→URL／キーワードを入力**

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

2 **一覧表示から項目を選択**

memo

◎URL表示欄にキーワードを入力した場合、[検索エンジンの設定]で設定した検索エンジンで検索します。
検索エンジンは、Webページ表示中に[⋮]→[設定]→[検索エンジン]→検索エンジンをタップして設定します。

■ Webページの表示位置を移動する

上下左右、斜めにスライドすると、ページの表示位置を移動できます。

■ Webページを拡大表示する

ダブルタップすると拡大表示できます。もう一度ダブルタップすると元の表示に戻ります。
ピンチイン／ピンチアウトで拡大／縮小することもできます。

memo

◎Webページによっては操作できない場合があります。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

■ ブックマークに登録する

1 登録するWebページ表示中に[⋮]→[☆]

ブックマークに登録されます。

■ ブックマークを利用する

1 Webページ表示中に[⋮]→[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 利用するブックマークをタップ

memo

◎ ブックマーク画面で削除するブックマークの[⋮]→[削除]と操作すると、ブックマークを削除できます。

■ 履歴を確認する

1 Webページ表示中に[⋮]→[履歴]

履歴画面が表示されます。

2 表示するWebページをタップ

memo

◎ 履歴画面で[閲覧履歴データを削除]→消去する項目にチェックを付ける→[データを削除]と操作すると、履歴を削除できます。

ブラウザを設定する

1 Webページ表示中に[⋮]→[設定]

2 必要な項目を設定

検索エンジン	検索エンジンを設定します。
パスワード	Webページで入力したパスワードを保存するかどうか、保存されたパスワードを使用して自動ログインするかどうかを設定します。保存されたパスワードは一覧に表示されます。
お支払い方法	支払い方法を登録しておき、Webページの入力画面でクレジット番号などの情報を自動的に入力するかどうかを設定します。
住所やその他の情報	住所や電話番号など配送先情報を登録しておき、Webページの入力画面で配送先情報を自動的に入力するかどうかを設定します。
通知	Chromeの通知を設定します。
ホームページ	ホームページを設定します。 ▶P.49「ホームページを設定する」
プライバシー	アクセスに失敗したときの候補表示やアドレスバー入力時のURL候補表示、Webページの表示速度の向上、利用状況と障害レポートの送信、閲覧行動の追跡拒否などを設定します。
ユーザー補助機能	Webページの文字サイズを設定したり、ピンチイン／ピンチアウトが禁止されているWebページで強制的にピンチイン／ピンチアウトを利用できるようにするかどうかを設定します。
サイトの設定	CookieやJavaScriptの有効／無効、ポップアップをブロックするかどうかなどを設定します。
言語	Webページのテキストを表示する言語を設定します。
ライトモード	Chromeのページ読み込みを高速化し、データ使用量を抑えるかどうかを設定します。
ダウンロード	Webページからダウンロードする場合、保存先を確認するかどうかを設定します。
Chromeについて	Chromeのバージョンやシステムなどの情報を確認できます。

ホームページを設定する

新しいブラウザウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。

1 Webページ表示中に[⋮]→[設定]→[ホームページ]

2 [このページを開く]→ホームページに設定するURLを入力→[保存]

アプリ

アプリ一覧 52

カメラ 53
- カメラをご利用になる前に 53
- カメラを起動する 53
- 静止画／動画を撮影する 54
- カメラを切り替える 54
- 撮影機能を設定する 54
- カメラの設定をする 55

フォト 55
- 静止画／動画を再生する 55
- 静止画を編集する 55

音楽 55
- Play Musicを利用する 55

NFC／おサイフケータイ® 56
- おサイフケータイ®について 56
- NFCを利用する 57
- NFC／FeliCaに対応したサービスを利用する 57
- タップ&ペイを利用する 57

My au 57

故障紛失サポート 58

あんしんフィルター for au 58
- フィルタリングを設定する 58
- 管理者情報を登録する 58
- 管理者ページを利用する 58

Androidアプリ 59
- Google Playを利用する 59
- 提供元不明のアプリをインストールする 59
- アプリを管理する 59

Facebook 59

Twitter 59

YouTube 59

カレンダー 59
- 予定を登録する 59
- 通知を確認する 59
- 表示する単位を切り替える 59
- 予定を削除する 60

天気 60

ボイスレコーダー 60

ドライブ 60
- フォルダまたはファイルを作成する 60
- ファイルをアップロードする 60
- フォルダまたはファイルを操作する 60

アプリ一覧

本製品を初期化(出荷時リセット)(▶P.73)しても、プリセットされているアプリは削除されません。

アイコン名	概要
あんしんフィルター for au※2	お子さまが「スマートフォン」「タブレット」を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリの利用を制限するフィルタリングアプリです(▶P.58)。
うたパス※1	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など3000以上のプレイリストが聴ける「聴き放題」と、楽曲を購入してダウンロードし再生できる「音楽プレイヤー」を持ったアプリです。
おサイフケータイ※3	本製品をリーダー／ライターにかざすだけで、電子マネーでのショッピングやクーポン情報の取得などができます(▶P.56)。
カメラ	静止画や動画を撮影できます(▶P.53)。
カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます(▶P.59)。
ゲームギフト※1	大人気ゲームのギフト配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報、先行プレイなど、さまざまなお得を提供するアプリです。
サービスTOP※1	ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、auのスマートフォンを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。
スプレッドシート※5	スプレッドシートの作成やExcelファイルの表示・編集ができます。
スポーツブル※1	話題のスポーツコンテンツをスマホでさくさく見られるアプリです。
スライド※5	プレゼンテーションの作成やPowerPointファイルの表示・編集ができます。
データお預かり※2	写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されているさまざまなデータをauのサーバに預けたり、microSDメモリカードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
テーマ	BlinkFeed画面および拡張ホーム画面の見た目を変更できます。
デジラアプリ※2	データ通信の残データ容量を手軽に確認できます。データ容量が少なくなった際は追加購入(チャージ)ができます。auおすすめコンテンツ(映画、コミックなど)も無料で楽しめます。
ドキュメント※5	ドキュメントの作成やWordファイルの表示・編集ができます。
ドライブ※5	写真や動画、ドキュメントなどのファイルを、最大15GBの保存容量まで無料でアップロードできます(▶P.60)。
ナビウォーク※1	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
ニュースパス※1	たくさんの新聞・雑誌・テレビ・ネットのニュース記事の中から、旬なニュースや、あなたの興味や関心にあった記事を読むことができるニュースアプリです。
ビデオパス※1	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。
ファイル※3	ブラウザからダウンロードした画像などを閲覧できます。
フォト	画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます(▶P.55)。
ブックパス※1	雑誌・コミック・小説など多くの電子書籍を楽しむことができます。
フラッシュライト※3	本製品の背面のフラッシュライトを点灯させます。
ヘルプ※3	操作しやすいように便利な機能を提供します。本製品の状態を診断したり、HTCサポートへの問い合わせ方法などをお知らせします。ソフトウェアアップデートがリリースされると、自動的に本製品に表示されます。
ボイスレコーダー※3	音声を録音できます(▶P.60)。
マップ	現在地の表示／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。
メール	PCメール(複数のアカウントを使用可)を利用できます(▶P.47)。
遠隔操作サポート※2	「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などの操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。
故障紛失サポート※2	定期的にご利用いただくことで、スマートフォンを快適にお使いいただくことができます。また、簡単操作で故障紛失サポートセンターへチャットや電話で相談、インターネットでの交換申込などをサポートするアプリです。
時計	世界時計、アラーム、ストップウォッチ、タイマーとして利用できます。
取扱説明書※2	本製品の操作方法を確認できます(▶P.1)。
世界データ定額※2	海外でのデータ通信を安心してご利用いただくための初期設定が国内で簡単にできます。
設定	設定メニューを表示します(▶P.70)。
天気※3	現在地や他の地域の天気を表示します(▶P.60)。
電卓※3	電卓を利用できます。
電話	電話をかけることができます(▶P.30)。
連絡先	電話番号やメールアドレスなどを登録して利用できます(▶P.31)。
au ID 設定※2	au IDの設定を行います(▶P.19)。
au Market※1	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。
au WALLET※1	au WALLETをより便利に使いこなすためのアプリです。au PAYの利用、au WALLETプリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au WALLETクレジットカードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。
au WALLET Market※1	au WALLET Marketは、日常生活をより豊かにする「こだわりのもの」をお店でもネットでも気軽にご購入いただける、"お買い物上手"なショッピングサービスです。
au Wi-Fi接続ツール※2	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。
auスマートパス※1	「auスマートパスプレミアム／auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。
au災害対策※2	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報(Jアラートからの配信含む)、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
Boost+※3	メモリの解放やアプリの一括アンインストールなどを行って、システムを最適化するアプリです。
Chrome※5	Webページを閲覧できます。
Duo※5	ビデオ通話ができるアプリです。
Eメール	Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます(▶P.34)。
Facebook※4	友達や家族などの親しい人々や、それを越えた新しい人々とつながり、コミュニティを築くことができます。世界で何が起きているか発見したり、自分に関連することをシェアしたり表現したりすることができる無料の『実名制』コミュニケーションアプリです(▶P.59)。
Gmail※5	Gmailの送受信ができます(▶P.48)。
Google※5	検索ワードを入力して、本製品内の連絡先やアプリを検索したり、Webページの検索ができます。
HTC Sense Companion	ユーザーの行動を学習し、時間や状況に応じて適切な情報を提供する人工知能アプリです。
Instagram※4	写真や動画を自由に編集・投稿し、ビジュアルを通して家族や友達、そして世界中の利用者と簡単につながることができるアプリです。
Keepメモ※5	メモ作成アプリです。作成したメモはオンライン上に保存されるので、いつでもどこでも確認できます。
Lookout for au※2	端末を紛失したり、盗難にあったときにKDDIオペレーターがリモートで本製品の位置検索やロックをかけることができるアプリです。
Messenger※4	友達や知り合いとリアルタイムにメッセージのやりとりやグループ チャット・ビデオチャットができる無料アプリです。Botサービスで、自分が興味のあるニュースやサービスも受信することができます。
My au※2	毎月のご請求金額や、データ通信量(ギガ)、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。
News Republic	国内外のさまざまなジャンルの最新ニュースを提供するアプリです。
Playストア	Google Playを利用できます(▶P.59)。
Play Music	3,500万曲以上の豊富なラインナップから音楽を再生できるストリーミングサービスです。
Playムービー&TV※5	Google Playの映画やテレビ番組をレンタルしたり、本製品に保存した映画やテレビ番組を再生したりできます。
Record	24時間体制で睡眠時間や消費カロリー、歩数などを管理できるフィットネスアプリです。
SATCH※3	QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画やCGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの案内に沿ってお楽しみください。

アイコン名	概要
SMS	電話番号を宛先としてメールの送受信ができます(▶P.45)。
TouchPal-HTC Sense Version	TouchPalキーボードを使用できます。
Twitter※4	Twitterは多くの人々とつながったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです(▶P.59)。
Viveport	バーチャルリアリティー関連のアプリを購入できるアプリストアです。
Wowma! for au※1	日用品・グルメ・ファッションから家電まで豊富な品ぞろえからお買い物が楽しめるKDDI公式の総合通販サイトです。
YouTube	YouTubeを利用できます(▶P.59)。

※1 [auサービス]フォルダ内に格納されています。
※2 [auサポート]フォルダ内に格納されています。
※3 [ツール]フォルダ内に格納されています。
※4 [SNS]フォルダ内に格納されています。
※5 [Google]フォルダ内に格納されています。

memo

◎表に記載のアプリ以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリがアプリ一覧に表示される場合があります。
◎一部のアプリは簡単にダウンロード／アップデート(更新)できるショートカットアプリです。利用するには、ダウンロード／インストールが必要です。

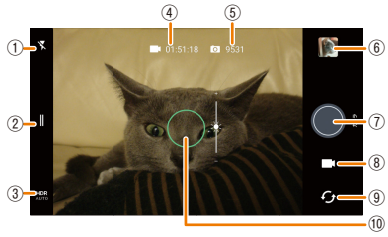
カメラ

カメラをご利用になる前に

- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に画像を撮影したり、保存したりすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。
  また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 本製品のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。
- 動画撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- フラッシュライトを目に近づけて点灯させないでください。フラッシュライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のオートフォーカスをロックする音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。動画録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 写真撮影で撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた写真などになる可能性があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 他のアプリを起動中は、カメラを使用できない場合があります。

カメラを起動する

1 ホーム画面で[(カメラ)]



① **フラッシュボタン**:タップして、フラッシュモードを切り替えます。
:自動 :強制発光 :OFF
② **メニューボタン**:撮影に関する設定を変更します。
③ **HDRボタン**:タップして、HDRモードを切り替えます。
:自動 :強制HDR :OFF
④ **動画撮影可能時間**
⑤ **静止画撮影可能枚数**
⑥ **フォトボタン**:タップして、撮影した静止画／動画を表示します。
⑦ **シャッターボタン**:タップして、静止画／動画を撮影します。右側には現在のカメラモードが表示されます。
⑧ **モード切り替えボタン**:タップして、静止画モードと動画モードを切り替えます。
⑨ **カメラ切り替えボタン**:タップして、メインカメラと正面カメラを切り替えます。
⑩ **フォーカス枠**:タップした場所にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカス枠が緑色に変わって消えます。ピント合わせ中に を上下にドラッグすると、露出を補正できます。
ロングタッチすると、AE(オート露出)／AF(オートフォーカス)をロックします。もう一度タップするとロックを解除します。

memo

◎以下の方法でもカメラを起動できます。
- (音量)を2回押す
- [Motion Launchのジェスチャ](▶P.22)の[下に2回スワイプするとカメラが起動します]にチェックが付いている場合に、画面消灯中に画面を下に2回フリック(スワイプ)する
- [エッジセンス](▶P.74)がオンで[握る動作をカスタマイズする]が[カメラアプリを実行]に設定されている場合に、エッジセンス部を握る

◎カメラを使用する前にmicroSDメモリカードを取り付けると、撮影した静止画や動画をmicroSDメモリカードに保存できます。詳しくは、「カメラの設定をする」(▶P.55)をご参照ください。
なお、microSDメモリカードを取り付けていないときは、本体ストレージに保存されます。

静止画／動画を撮影する

本製品のメインカメラ／正面カメラを使って、静止画や動画を撮影することができます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で[(カメラ)]

2 カメラを被写体に向ける→ピントを合わせる場所をタップ

3 [●]

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
- [●]をロングタッチすると連続撮影できます。

memo

◎ エッジセンス(▶P.74)がオンでアプリ内オプションの[カメラ]にチェックが付いている場合は、エッジセンス部を握っても静止画を撮影できます。
◎ 設定によってはカメラで撮影した静止画に位置情報が記録される場合があります。静止画を共有する場合はご注意ください。
位置情報の記録を希望しない場合は、次の操作でカメラの設定を変更してください。
ホーム画面で[(カメラ)]→[▮]→[設定]→[ジオタグ写真]のチェックを外す。

動画を撮影する

1 ホーム画面で[(カメラ)]→[▭]

2 カメラを被写体に向ける→ピントを合わせる場所をタップ

3 [●]

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

4 [■]

撮影終了音が鳴り、撮影が終了します。

memo

◎ エッジセンス(▶P.74)がオンでアプリ内オプションの[カメラ]にチェックが付いている場合は、エッジセンス部を握っても動画を撮影できます。

カメラを切り替える

1 ホーム画面で[(カメラ)]→[▮]

2 カメラモードを設定

カメラ	静止画を撮影します。
パノラマ	パノラマ写真を撮影します。赤い円を被写体に合わせてシャッターボタンをタップし、円の中に[<< >>]が表示されたら、本製品を水平に動かして撮影します。
プロ	RAW形式の静止画を撮影します。
ビデオ	動画を撮影します。
ハイパーラプス	低速度で動画を撮影します。
スローモーション	スローモーションの動画を撮影します。
自分撮り	自分を被写体として静止画を撮影します。撮影画面をタップするとセルフタイマーで撮影します。
自分撮りパノラマ	自分を被写体としてパノラマ写真を撮影します。本製品を縦向きに持ってシャッターボタンをタップした後、左右のどちらかに本製品を回転させ、白い枠を白く点滅している部分に合わせます。カメラが対象を認識すると緑色の枠に変わって撮影されます。カメラを反対の方向に回転させて同様の操作を行うと、パノラマ写真に合成されます。
自撮りビデオ	自分を被写体として動画を撮影します。

撮影機能を設定する

カメラ(パノラマ、ハイパーラプス、スローモーションを除く)の撮影機能を設定します。カメラモードにより選択できる項目は異なります。

1 ホーム画面で[(カメラ)]→[▮]

2 カメラ機能を設定

タイマー	セルフタイマー撮影をします。 • カメラ、プロ、自分撮り、自分撮りパノラマで選択できます。 [オフ][2s][5s][10s]
メイク	肌をきれいに撮影するかどうかを設定します。 • 自分撮りで設定できます。
解像度	静止画の解像度を設定します。 カメラ、プロ:[4:3(12MP)|4032×3024][16:9(9MP)|3840×2160][1:1(9MP)|2976×2976] 自分撮り:[4:3(16MP)|4608×3456][16:9(12MP)|3840×2160][1:1(9MP)|2976×2976] • 画面には現在設定されている解像度が表示されます。
ワイド	パノラマ写真のサイズを設定します。 • 自分撮りパノラマで設定できます。 [ワイド][ワイド最大]
フォーマット	静止画のファイル形式を設定します。 • プロで選択できます。 [JPG][RAW]
品質	動画の大きさを設定します。 ビデオ:[4K(3840×2160)][FHD(1920×1080)][HD(1280×720)][QVGA(320×240)][MMS(176×144)] 自撮りビデオ:[FHD(1920×1080)][HD(1280×720)][QVGA(320×240)][MMS(176×144)]
オーディオ	全方位マイクで周囲の音を録音するか(3D)、高音質サウンドで録音するか(Hi-Res)を設定します。 • ビデオ、自撮りビデオで設定できます。 [3D][Hi-Res]
音声フォーカス	ONにすると、動画撮影中にピンチインして被写体にズームしたとき、被写体の音声を大音量でクリアに録音できます。音量の大きさは、ズームしたときに緑のマイクレベルで表示されます。 • カメラがメインカメラ、カメラモードが「ビデオ」、オーディオの設定が「3D」のときに使用できます。
FPS	動画の滑らかさを設定します。 • ビデオで設定できます。 [30][60]

■ プロの場合

カメラモードが「プロ」の場合は、画面下部のアイコンでさらに詳細な撮影機能を設定できます。

Aシーンセレクト	撮影シーンに適した設定で撮影できます。 [AUTO][夜][スポーツ][マクロ]
WBホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調節します。 [AUTO][2300K～7500K]
±露出補正	露出を補正します。 [AUTO][-3.0～+3.0]
ISOISO	ISO感度を選択します。 • 数字が大きいほど、暗い場所でも明るく、手振れを軽減して撮影できますが、画像は粗くなります。 [AUTO][100][200][400][800]
シャッタースピード	シャッタースピードを選択します。 [AUTO][32][0.6][1/13][1/100][1/1000][1/8000]
フォーカスモード	被写体との距離に応じてフォーカスモードを選択します。[AUTO]にすると自動的にピントを合わせます。被写体に近づいて撮影するときは寄りに、遠くの被写体を撮影するときは寄りに調整します。

memo

◎ 撮影機能の設定後、[+]をタップするとカスタム設定として最大3件まで保存できます。保存したカスタム設定はシーンセレクトから呼び出すことができます。

カメラの設定をする

カメラの設定を変更します。カメラモードにより選択できる項目は異なります。

1 ホーム画面で[(カメラ)]→[]→[設定]

2 必要な項目を設定

タッチして自動露出		画面をタップしたときに自動的に露出補正を行うかどうかを設定します。
グリッド		撮影の目安になるガイドを表示するかどうかを設定します。
ジオタグ写真		静止画に詳細な撮影場所を示す位置情報を付けるかどうかを設定します。 • 位置情報を付けると、静止画の撮影場所を特定できます。静止画を共有する場合はご注意ください。 位置情報の記録を希望しない場合は、オフにしてください。
カメラオプション	笑顔自動シャッター	笑顔を検出したときに自動的に撮影するかどうかを設定します。
	オートセルフィキャプチャ	被写体の静止または笑顔を検出したときに自動的に撮影するかどうかを設定します。
	音声シャッター※	「アクション」と言ったときに自動的に動画を撮影するかどうかを設定します。
	タッチしてシャッター	画面をタップすると撮影できるようにするかどうかを設定します(全面シャッター)。
	ミラー自撮りを保存	左右反転した画像を保存するかどうかを設定します。
ボリュームボタンオプション		(+)/(−)を押したときの操作を選択します。 [音量][撮影][ズーム]
ストレージ		撮影した静止画や動画を保存するストレージを選択します。 [本体メモリ](システムメモリ) [SDカード](microSDメモリカード)
ヒントとヘルプ		カメラのヘルプとヒントを表示します。
初期設定にリセット		カメラの設定を初期状態に戻します。

※日本語言語パックのダウンロード画面が表示された場合は、[ダウンロード]をタップし、画面の指示に従って操作してください。

フォト

静止画/動画を再生する

本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存している静止画や動画を再生できます。
また、静止画を編集したり、壁紙や連絡先のアイコンとして設定することもできます。

1 ホーム画面で[]→[フォト]

[バックアップと同期]の設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。
フォトアプリが起動し、本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存している静止画や動画が表示されます。
フォルダ名や保存件数が表示されている画像をタップすると、フォルダ内に保存されている画像の一覧に切り替わります。

2 再生する静止画や動画をタップ

静止画や動画が再生されます。

memo

◎壁紙や連絡先アイコンとして設定するには、静止画の再生画面で[]→[写真を他で使う]→[壁紙]/[連絡先のアイコン]/[新しいテーマを作る]と操作します。

静止画を編集する

撮影した静止画の色や明るさを調整したり、フィルタをかけたりできます。

明るさを調整する

静止画の明るさを調整します。

1 ホーム画面で[]→[フォト]

2 編集する静止画をタップ→[]→[]

3 「明るさ」のスライダをドラッグして明るさを調節

• 右側のをタップすると、さらに詳細な項目を調節できます。

4 [保存]

色合いを調整する

静止画の色合いを調整します。

1 ホーム画面で[]→[フォト]

2 編集する静止画をタップ→[]→[]

3 「カラー」のスライダをドラッグして色合いを調節

• 右側のをタップすると、さらに詳細な項目を調節できます。

4 [保存]

ポップアート風に調整する

静止画をポップアート風に調整します。

1 ホーム画面で[]→[フォト]

2 編集する静止画をタップ→[]→[]

3 「ポップ」のスライダをドラッグしてポップアート風に調節

4 [保存]

フィルタをかける

静止画にフィルタをかけます。

1 ホーム画面で[]→[フォト]

2 編集する静止画をタップ→[]→[]

3 フィルタを選択

4 [保存]

回転させる

静止画を任意の角度に回転させます。

1 ホーム画面で[]→[フォト]

2 編集する静止画をタップ→[]→[]

3 スライダをドラッグして角度を調節

• []をタップするたびに、90度回転します。
• []をタップすると、指定したサイズで画像を切り取ることができます。
• [リセット]をタップすると、元の表示に戻ります。

4 [完了]→[保存]

音楽

Play Musicを利用する

Play Musicを利用して本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存した音楽を再生できます。

1 ホーム画面で[]→[Play Music]

許可画面やサービス利用確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

NFC／おサイフケータイ®

おサイフケータイ®について

おサイフケータイ®とは

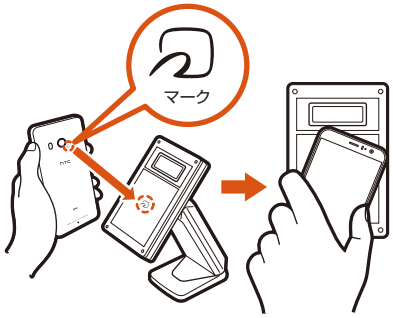
おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能、機器間通信機能（P2P）などが本製品でご利用いただけます。
おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービス提供会社のおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。
おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードへ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、auホームページをあわせてご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/osaifu/support/caution/

おサイフケータイ®のご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

リーダー／ライターとデータをやりとりする

マークをリーダー／ライターにかざすだけで、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのやりとりができます。



- マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

◎おサイフケータイ®対応のアプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用になれます。
◎NFC／おサイフケータイロックを設定している場合は、ご利用いただけません。

おサイフケータイ®を設定する

おサイフケータイ®のロックや、NFCのReader/Writer, P2P機能のオン／オフを設定します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[詳細]→[NFC/おサイフケータイ設定]

NFC／おサイフケータイ設定画面が表示されます。

2 項目をタップ

NFC/おサイフケータイ ロック	NFC／おサイフケータイの機能をロック／解除します。 • NFC／おサイフケータイ機能のロック／解除は、ロックNo.を入力→[OK]と操作します。
Reader/Writer, P2P	▶P.57「NFC機能を有効にする」
Android Beam	Android Beam（NFC P2P機能）を利用したデータ通信ができます。 • Android Beamについては、「Android Beamでデータを送受信する」（▶P.57）をご参照ください。
NFC/おサイフケータイ ロックNo.変更	NFC／おサイフケータイロックのロックNo.を変更します。 • [現在のロックNo.]、[新しいロックNo.]、[新しいロックNo.の確認]をそれぞれ入力→[OK]と操作すると変更できます。
NFC/おサイフケータイ ロックNo.初期化	NFC／おサイフケータイロックが解除できないときに、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 • PINロック解除コードを入力→[OK]→[新しいロックNo.]、[新しいロックNo.の確認]をそれぞれ入力→[OK]と操作すると再設定できます。
タップ・アンド・ペイ	▶P.57「タップ&ペイを利用する」

memo

◎「おサイフケータイ」アプリの画面で[🔓]／[🔒]をタップして、NFC／おサイフケータイ設定の画面を表示することもできます。
◎PINロック解除コードについて詳しくは、「PINコードについて」（▶P.13）をご参照ください。

NFC／おサイフケータイロックについて

◎NFC／おサイフケータイロックご利用中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。充電が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイロックを解除してください。
◎NFC／おサイフケータイロックのロックNo.とFeliCaチップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。
◎ロックNo.はau ICカードに保存され、本製品から取り外してもau ICカード内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「各種暗証番号について」（▶P.13）をご参照ください。
◎本製品を紛失してしまった場合は、「位置検索サポート」により遠隔操作でロックをかけることができます。位置検索サポートについて詳しくは、「位置検索サポート」（▶P.89）をご参照ください。
◎NFC／おサイフケータイをロックすると、ステータスバーに[🔒]が表示されます。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター機能を利用したNFCカードの読み書きができます。初期状態は、有効に設定されています。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[詳細]→[NFC/おサイフケータイ設定]→[Reader/Writer, P2P]

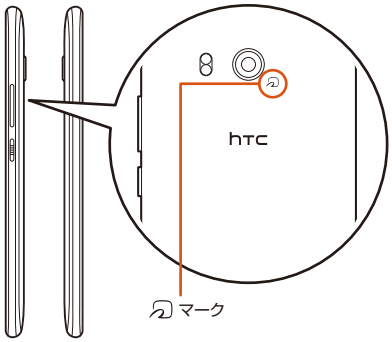
NFCのReader/Writer, P2P機能がオンになり、ステータスバーに📳が表示されます。

memo

◎[Reader/Writer, P2P]をオンにするとAndroid Beamもオンになります。Android Beamをオンにすると、NFC搭載機器との間で、ウェブページやYouTubeのURL、連絡先などを共有することができます。
◎非接触ICカード機能は、NFCのReader/Writer, P2P機能のオン／オフにかかわらず利用できます。
◎NFC／おサイフケータイロック設定中は、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにできません。

他の携帯電話とデータをやりとりする

NFC機能(Android Beam)を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。



- 2台の携帯電話を平行にしてマークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリの動作に依存します。画面に従って操作してください。
- マークを重ね合わせても、送受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- NFC機能を利用した送受信を行う場合は、あらかじめ[Reader/Writer, P2P]をオンにしてください。
- マークをゆっくりと重ね合わせると送受信に失敗することがあります。

Android Beamでデータを送受信する

NFC機能を搭載したAndroid機器との間でAndroid Beamを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した静止画や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

- データを送信／受信するにはあらかじめ[Reader/Writer, P2P]をオンにしてください。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■ データを送信する

例：電話帳(顔写真なし)を1件送信する場合

1 ホーム画面で[▦]→[連絡先]→連絡先を選択

2 受信側の端末と、本製品を向かい合わせる

「タップしてビーム」と表示されます。



3 本製品の画面をタップ

■ データを受信する

1 送信側の端末と、マークを向かい合わせる

データを受信すると、受信データに対応するアプリが起動します。

memo

◎アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。
◎通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

NFCデータをやりとりする

本製品背面のマークをリーダー／ライターにかざしたり、NFC機能を持つ機器同士でマークを近づけたりすることで、NFCデータのやりとりができます。

NFC／FeliCaに対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[おサイフケータイ]

サービス一覧画面が表示されます。
初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 利用するサービスを選択

サービスに対応したアプリをダウンロードするか、サービス紹介サイトを表示して、画面の指示に従って操作してください。

タップ&ペイを利用する

おサイフケータイ®対応サービスで利用する決済方法を設定できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[詳細]→[NFC/おサイフケータイ設定]→[タップ・アンド・ペイ]

2 利用するサービスを選択

memo

◎起動している決済アプリを利用するように設定するには、タップ・アンド・ペイ画面で[デフォルトを使う]→[別の決済アプリが開いているときを除く]と操作します。

My au

月々のご請求金額やデータ通信量(ギガ)などを簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申込・変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、My auアプリ起動中に[☰]→[本アプリについて]→[ヘルプ]と操作してMy auアプリのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[My au]

My auのトップ画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、画面の指示に従ってログインしてください。
- 「端末管理アプリ」を有効にする画面や利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

※「端末管理アプリ」を有効にすることで、本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターから遠隔操作でロックする機能をご利用いただけます。

2 確認する項目をタップ

直近のご利用状況、ご請求金額、ご契約内容の確認や、各種お手続きができます。

故障紛失サポート

「故障かな？」と思ったときのクイック診断、簡単操作で故障紛失サポートセンターへの電話相談、インターネットでの交換申し込み、データ移行をトータルにサポートする便利なアプリです。

1 ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[故障紛失サポート]

トップメニュー画面が表示されます。

- 初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 項目をタップ

クイック診断してみる		お客様ご自身で診断することができます。調子が悪いと思ったら診断してください。
詳細診断		気になる機能を細かく診断できます。
チャットで相談		トラブルや修理・交換のご質問にお答えいたします。
交換申し込み※1		オンライン交換受付のログイン画面をワンタッチで呼び出します。
データ移行		ご利用の機種に対応したデータ移行アプリを起動します。
便利な機能※2	トラブル診断を試す	調べたい項目を選択していくと、トラブルの対処方法が見つかります。
	各種設定	定期クリーニング通知で定期的に診断のお知らせをします。
	診断履歴	診断した履歴情報を確認できます。

※1 加入条件により表示される内容は異なります。
※2 主な機能のみ記載しております。

memo

◎各機能の利用中にトップメニュー画面に戻るときは、画面右上の[⌂]をタップしてください。なお、クイック診断ご利用中は、トップメニューへ戻れません。

あんしんフィルター for au

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブサイトへのアクセスやアプリの利用を制限するフィルタリングサービスです。
お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブサイトやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が夜間などスマートフォンの利用を制限したり、お子様の居場所を確認したりすることもできます。

フィルタリングを設定する

お子様のスマートフォンで設定してください。

1 ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[あんしんフィルター for au]

初めて起動したときは、アクセス権限画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する]をタップしてください。

2 [au電話番号でログイン]

画面の指示に従って操作してください。
※ご利用になるお子様のau電話番号でログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	スマホを初めて使うお子様や操作に少し慣れたお子様向け [制限対象] ゲーム／動画／音楽、懸賞、成人娯楽、SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
中学生	スマホの操作におおむね慣れたお子様向け [制限対象] 懸賞、成人娯楽、SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
高校生	スマホ利用のルールやマナー、危険性を理解したお子様向け [制限対象] SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
高校生プラス	SNS利用のルールやマナー、危険性を理解したお子様向け [制限対象] 出会い、アダルトなど

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]

利用規約を必ずご確認ください。

6 「位置情報、利用情報の取得・利用について」の内容を確認→[はい]

「いいえ」を選択するとエリア検索など一部の機能が利用できません。

7 「利用登録が完了しました」の表示を確認→[OK]

8 [この端末管理アプリを有効にする]

9 「よく使うアプリの設定」で利用したいアプリを選択→[設定する]

事前に利用したいアプリを許可してください。

10 設定完了

ウェブサイトが表示されます。
以降は「あんしんフィルターアプリ」をブラウザアプリとしてご利用ください。

管理者情報を登録する

お子様のスマートフォンで設定してください。

1 ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[あんしんフィルター for au]

2 「ここをタップして、あんしんフィルターfor auの管理者IDを登録してください。」をタップ

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

memo

◎管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

保護者の方のPCまたはスマートフォンからご利用ください。保護者が遠隔で、お子様のスマホの設定を行うことができます。

1 メールで受信した「管理者ページURLのご連絡」に記載している管理者ページのURLをタップ

https://anshin-access.netstar-inc.com/

2 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

3 管理者メニューを表示

＜主な機能＞

- フィルタリング強度の変更
- 個別のウェブサイトやアプリの制限／許可設定
- 利用時間帯の設定
- 利用状況の確認
- エリア検索

memo

◎詳しくはauホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/anshin-filter/

Androidアプリ

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから、便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリをダウンロード・インストールして利用できます。

- アプリのインストール／ご利用については、「アプリについて」(▶P.14)をご参照ください。
- Google Playの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

アプリを検索してインストールする

1 ホーム画面で[▦]→[Playストア]

Playストア画面が表示されます。
初回起動時は機能紹介をご確認のうえ、[利用する]をタップしてください。

2 アプリを検索→インストールするアプリをタップ

表示内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

■ 有料のアプリを購入するときは

- 有料のアプリを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後の再ダウンロードには料金がかかりません。

■ ヘルプを確認する

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、Playストア画面で[☰]→[ヘルプとフィードバック]と操作します。

提供元不明のアプリをインストールする

提供元不明のアプリをインストールするには、アプリごとにインストールを許可する必要があります。
本製品と個人データを保護するため、信頼できる提供元からのアプリのみインストールするようにしてください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[アプリ]

2 [⋮]→[アプリの構成]→[特別なアプリアクセス]→[不明なアプリのインストール]

3 アプリをタップ→[この提供元のアプリを許可]の[OFF]をタップして[ON]にする

アプリを管理する

アプリの情報確認やアンインストール、設定の変更などができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[アプリ]

[⋮]→[システムの表示]と操作すると、本製品にインストールされているすべてのアプリが表示されます。

2 アプリをタップ

アプリ情報画面が表示され、アプリの情報確認や設定ができます。

■ アプリを無効化する

アンインストールできない一部のアプリやサービスを無効化できます。無効化したアプリはアプリ一覧に表示されず、動作しなくなりますが、アンインストールはされません。

- アプリを無効化した場合、無効化したアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合は、再度有効化すると正しく動作するようになります。

1 アプリ情報画面で[無効にする]→[OK]

再度有効化する場合は、[有効にする]をタップします。

■ アプリを強制終了する

1 アプリ情報画面で[強制停止]→[OK]

■ アプリをアンインストールする

1 アプリ情報画面で[アンインストール]→[OK]

memo

◎アプリ内に保存されているデータを消去する場合は、アプリ情報画面で[ストレージ]→[ストレージを消去]→[OK]と操作します。
◎アプリのキャッシュを消去する場合は、アプリ情報画面で[ストレージ]→[キャッシュを消去]と操作します。
◎アプリによってはアンインストールできない場合があります。

Facebook

Facebookを利用して、友達と気軽にコミュニケーションをとれます。

- Facebookを利用するには、あらかじめFacebookのアカウントが必要です。アカウントの登録や利用方法などの詳細については、Facebookのサイトをご参照ください。
  https://www.facebook.com/

1 ホーム画面で[▦]→[SNS]→[Facebook]

Twitter

つぶやきを送信したり、他人のつぶやきを閲覧できます。

- Twitterを利用するには、あらかじめTwitterのアカウントが必要です。アカウントの登録や利用方法などの詳細については、Twitterのサイトをご参照ください。
  https://www.twitter.com/

1 ホーム画面で[▦]→[SNS]→[Twitter]

YouTube

YouTubeは、Googleが提供する動画共有サービスです。動画の視聴、検索、アップロードなどができます。

- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはYouTubeアカウントが必要です。

1 ホーム画面で[▦]→[YouTube]

YouTube画面が表示されます。

2 再生する動画を選択

動画再生中に画面をタップすると、一時停止／再生の切り替えができます。

memo

◎YouTubeアカウントを取得する場合は、YouTubeのサイトにアクセスしてください。
◎YouTubeの詳細については、YouTube画面でアカウントのアイコン→[ヘルプとフィードバック]と操作して確認してください。

カレンダー

カレンダーは、会議やイベントなどの予定を管理するためのツールです。また、WebサイトのGoogleカレンダーに登録したスケジュールが本製品のカレンダーに追加され同期することができます。

予定を登録する

1 ホーム画面で[▦]→[カレンダー]

初回起動時は機能紹介をご確認のうえ、[終了]をタップしてください。

2 [＋]→[予定]→予定のタイトルなど、必要な項目を入力

通知時間の初期値は「30分前」に設定されています。通知時間をタップすると、開始日時からどのくらい前に通知するかを変更できます。

3 [保存]

memo

◎WebサイトのGoogleカレンダーを使用すると、パーソナル、ビジネス、ファミリーなどの用途別に複数のカレンダーを作成することができます。
利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご覧ください。

通知を確認する

予定に通知を設定したときは、通知時間になるとステータスバーに[31]が表示されます。

1 ステータスバーを下にスライド→予定通知情報をタップ

[すべてを消去します]をタップすると、通知が消去されます。

表示する単位を切り替える

カレンダーを1ヶ月、1週間、3日、1日単位で表示することができます。

1 ホーム画面で[▦]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

2 画面左上の[☰]→[日]／[3日]／[週]／[月]

表示する単位が切り替わります。

memo

◎日／3日／週表示では現在の時刻が黒い線で、月表示では本日の日付が青い丸で表示されます。

予定を削除する

1 ホーム画面で[▦]→[カレンダー]

2 削除する予定をタップ→[⋮]→[削除]→[削除]

[繰り返し]を設定した予定の場合、以降の予定も削除するかどうかを選択できます。削除する場合は、[以降のすべての予定]→[削除]と操作してください。

天気

現在地に加えて世界都市の天気予報も確認できます。

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[天気]



確認したい都市をタップします。
さらに左右にフリックして、天気予報を表示する期間を切り替えられます。

■ 天気を表示する都市を追加する

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[天気]→[＋]

2 都市名を入力(例:札幌)→見つかった都市をタップ

・県庁所在地など主要な都市以外は検索結果に表示されません。そのような場合は、[その他の都市をオンラインで検索]をタップしてください。

■ 天気を表示する都市を並べ替える

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[天気]→[⋮]→[都市を編集]

2 並べ替える都市の[☰]をドラッグ

3 [完了]

■ 天気を表示する都市を削除する

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[天気]→[⋮]→[都市を編集]

2 削除する都市にチェックを付ける

3 [削除]

memo

◎画面に「天気情報を見るにはロケーションサービスモードを変更してください」と表示された場合は、[⋮]→[設定]→[ロケーションサービス]と操作して、ロケーションサービスを変更してください。

ボイスレコーダー

音声を録音できます。録音できる時間は、システムメモリやmicroSDメモリカードの空き容量によって異なります。

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[ボイスレコーダー]

ボイスレコーダー画面が表示されます。

2 [●]

録音が開始されます。

3 [■]

録音が終了します。

memo

◎音声を再生するには、ボイスレコーダー画面左上の[☰]→再生する音声ファイルをタップします。
◎音声を削除するには、ボイスレコーダー画面左上の[☰]→削除する音声ファイルをロングタッチ→[削除]→[OK]と操作します。
◎microSDメモリカードを取り付けて、音声の保存先を変更すると、音声をmicroSDメモリカードに保存できます。保存先を変更するには、ボイスレコーダー画面で[⋮]→[設定]→[ストレージ]→[本体メモリ](システムメモリ)／[リムーバブル メモリ 1](microSDメモリカード)と操作します。

ドライブ

オンライン上に写真や動画、ドキュメントなどのファイルを保存したり、共有することができます。ファイルは最大15GBの保存容量まで無料でアップロードできます。

・利用方法の詳細については、ドライブ起動中に[☰]→[ヘルプとフィードバック]と操作してドライブのヘルプをご参照ください。

フォルダまたはファイルを作成する

1 ホーム画面で[▦]→[Google]→[ドライブ]

マイドライブ画面が表示されます。
初回起動時は、ドライブの説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 [＋]→[フォルダ]／[Google ドキュメント]／[Google スプレッドシート]／[Google スライド]

3 フォルダ名を入力→[OK]

[Google ドキュメント]／[Google スプレッドシート]／[Google スライド]の場合は、ドキュメント／スプレッドシート／スライドを作成し、[✓]→[✕]と操作します。
マイドライブに、作成したフォルダ／ドキュメント／スプレッドシート／スライドが保存されます。

ファイルをアップロードする

1 マイドライブ画面で[＋]→[アップロード]

2 [☰]→カテゴリ／アプリ／フォルダをタップ→ファイルをタップ

フォルダまたはファイルを操作する

1 マイ ドライブ画面でフォルダまたはファイルの[⋮]をタップ

2 項目をタップ

共有	フォルダまたはドキュメントを共有する相手を追加します。
スターを追加	フォルダまたはドキュメントにスターを付けるかどうかを設定します。
オフラインで使用できるようにする※1	ファイルをオフラインで使用できるようにするかどうかを設定します。
リンクの共有:オフ／リンクの共有:オン	フォルダまたはファイルを共有する相手にリンクを送信し、リンクを受け取った相手がフォルダまたはファイルにアクセスできるようにします。
リンクをコピー	リンクをクリップボードにコピーします。
コピーを送信※1	ファイルをBluetooth®やNFC、メール添付などで送信します。
アプリで開く※1	ドキュメントの内容を表示します。
ダウンロード※1	ファイルをダウンロードします。ダウンロード完了は通知で確認できます。
名前を変更	フォルダ名またはファイル名を変更します。
色を変更※2	フォルダアイコンの色を変更します。
移動	フォルダまたはファイルを移動します。
詳細とアクティビティ	フォルダまたはドキュメントの詳細情報を確認できます。
印刷※1	ファイルをクラウド対応のプリンタで印刷します。
ホーム画面に追加	フォルダまたはドキュメントをホーム画面に追加します。
削除	フォルダまたはファイルを削除します。
不正行為を報告※1	不正行為の報告を送信します。

※1 ファイルのときのみ選択できます。
※2 フォルダのときのみ選択できます。

ファイル管理

ファイル管理 62
本製品の保存領域について 62
microSDメモリカードを利用する 62
USBケーブルでパソコンと接続する 62
ストレージを管理する 63
ファイルを利用する 63

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体ストレージ(内部共有ストレージ)と外部ストレージ(microSDメモリカード/USBドライブ)にデータを保存することができます。

内部共有ストレージ	アプリや各アプリが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
SDカード※1	メディアファイルなどを保存します。 SDカードを内部ストレージとしてフォーマットすると内部共有ストレージの容量を増やすことができ、一部のアプリも保存できるようになります。
USBドライブ※2	メディアファイルなどを保存します。

※1 microSDメモリカードを取り付けた場合に表示されます。
※2 USBホストケーブル(市販品)を使ってUSBメモリやUSBカードリーダーを接続した場合に表示されます。

memo

◎アプリによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体ストレージに保存される場合があります。

システムメモリについて

◎本書では連絡先やSMSの送受信履歴などが保存されるメモリを「システムメモリ」と記載しています。
◎データをシステムメモリに保存するかどうかは、アプリによって異なります。
◎システムメモリに保存されたデータは、Eメールに添付できません。

microSDメモリカードを利用する

本製品には、microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

■ 取扱上のご注意

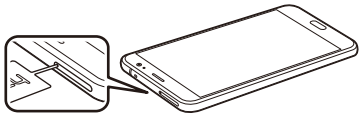
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、microSDメモリカードを取り外したり、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

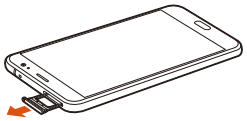
microSDメモリカードの取り付けは、本製品の電源を切ってから行います。

1 au Nano IC Card 04/microSDメモリカードトレイの穴に、SIM取り出しピン(試供品)をまっすぐ差し込む

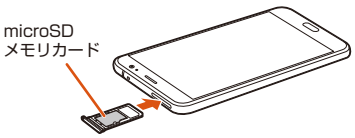
トレイが少し出ます。



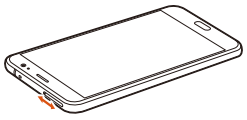
2 トレイを矢印の方向にまっすぐ引き出す



3 microSDメモリカードの金属端子面を下に向けてトレイに置き、トレイを矢印の方向にまっすぐ差し込む



4 矢印の方向になぞり、トレイが浮いていることのないように確実に押し込む



memo

◎microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す前に、microSDメモリカードの取り出しを実行してください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]→SDカードの[⚙]→[取り出し]

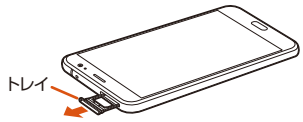
2 本製品の電源を切る

3 au Nano IC Card 04/microSDメモリカードトレイの穴に、SIM取り出しピン(試供品)をまっすぐ差し込む

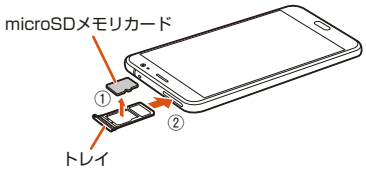
トレイが少し出ます。



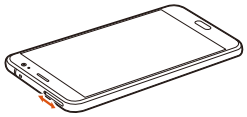
4 トレイを矢印の方向にまっすぐ引き出す



5 トレイからmicroSDメモリカードを取り出し(①)、トレイを矢印の方向にまっすぐ差し込む(②)



6 矢印の方向になぞり、トレイが浮いていることのないように確実に押し込む



memo

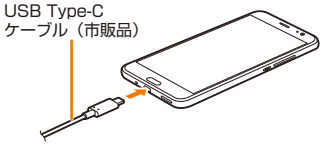
◎microSDメモリカードはトレイを完全に引き出してから取り外してください。故障・データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USBケーブルでパソコンと接続する

本製品をUSB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続し、音楽、画像、その他のファイルをパソコンから本製品の本体ストレージや、本製品に取り付けたmicroSDメモリカードにコピーすることができます。

1 本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続

本製品に接続する際は、USB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込みます。



- ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

2 ファイル転送の確認画面が表示されたら、[はい]をタップする

- 本製品のステータスバーを下にスライド→[USBを使用]→[ファイル転送]と操作しても接続できます。
- ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

3 パソコンにポータブルデバイスとして本製品が表示されていることを確認

・本製品の本体ストレージおよびmicroSDメモリカードを直接操作できるようになります。

memo

◎本体ストレージまたはmicroSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、USB Type-Cケーブル(市販品)を取り外さないでください。データが壊れるおそれがあります。
◎USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とパソコンを接続しているときは、本製品の本体ストレージや本製品に取り付けたmicroSDメモリカードは、本製品からは使用できません。カメラなど、本体ストレージやmicroSDメモリカードを使用するアプリは、正しく動作しない場合があります。
◎Windows® 7／Windows® 8／Windows® 10のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

ストレージを管理する

ストレージを確認する

本製品の本体ストレージ、microSDメモリカード、USBドライブの容量を確認できます。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]**
ストレージ画面が表示されます。
・microSDメモリカードやUSBドライブを本製品に取り付けていない場合は、「内部共有ストレージ」が表示されます。

メモリをフォーマットする

microSDメモリカード、USBドライブをフォーマットします。
・フォーマットを行うと、microSDメモリカードやUSBドライブに保存されているデータがすべて消去されますのでご注意ください。
・USBドライブをフォーマットするときは、あらかじめ、USBホストケーブル(市販品)を使ってUSBメモリやUSBカードリーダーを本製品に接続しておきます。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]**
2 **SDカード／USBドライブの[⚙]→[フォーマット]**
3 **[SDカードをフォーマット]**

microSDメモリカードを内部ストレージにする

microSDメモリカードを内部ストレージとしてフォーマットすると、本体ストレージの容量を増やすことができ、大容量のアプリやゲームなどを保存できるようになります。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]**
2 **SDカードの[⚙]→[本体メモリとしてフォーマット]→[SDカードをフォーマット]→[後で移動]→[完了]**
microSDメモリカード内のすべてのデータが消去され、内部ストレージとして使用できます。
・内部ストレージ化したmicroSDメモリカードは、本製品以外では使用できなくなります。

■ 外部ストレージとしてフォーマットする

内部ストレージ化したmicroSDメモリカードを外部ストレージとして再度使用する場合には、microSDメモリカードを外部ストレージとしてフォーマットする必要があります。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]**
2 **SDカードをタップ→[⋮]→[ポータブルメモリにフォーマット]→[フォーマット]→[完了]**
microSDメモリカード内のすべてのデータが消去され、外部ストレージとして使用できます。

memo

◎内部ストレージ／外部ストレージとしてフォーマットすると、microSDメモリカード内のデータがすべて消去されます。ほかの機器で使用したmicroSDメモリカードを内部ストレージ化する場合や、内部ストレージ化したmicroSDメモリカードを外部ストレージに戻す場合は、あらかじめよくご確認のうえ、操作してください。
◎フォーマットは、充電しながら行うか、十分に充電された状態で行ってください。

メモリのマウントを解除する

本製品からmicroSDメモリカードやUSBドライブを取り外す場合は、マウント解除が必要です。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]**
2 **SDカード／USBドライブの[⚙]→[取り出し]**

■ マウント解除したメモリを再度マウントする

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]**
2 **SDカード／USBドライブをタップ→[マウント]**

ファイルを利用する

データを表示する

本体ストレージやmicroSDメモリカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができます。

1 **ホーム画面で[▦]→[ツール]→[ファイル]**
2 **[▤]→カテゴリを選択**
3 **データを選択**
選択したデータが表示／再生されます。

本体ストレージからmicroSDメモリカードにコピー／移動する

1 **ホーム画面で[▦]→[ツール]→[ファイル]**
2 **[▤]→カテゴリを選択**
3 **データをロングタッチ→[⋮]→[コピー...]／[移動...]**
4 **[▤]→項目一覧からmicroSDメモリカードを選択**
5 **任意の場所で[コピー]／[移動]**

データ通信

Wi-Fi®接続 66
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する 66
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する 66
Wi-Fi®の詳細設定をする 66
au Wi-Fi接続ツールを利用する 66
テザリング機能 66
Wi-Fi®テザリング 66
USBテザリング 67
Bluetooth®テザリング 67
Bluetooth®機能 67
Bluetooth®対応機器と接続する 67
Bluetooth®機能でデータを送受信する 67

Wi-Fi®接続

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
本製品でWi-Fi®を使用するには、あらかじめアクセスポイントを登録する必要があります。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]

2 [Wi-Fi]の[OFF]をタップして[ON]にする→[Wi-Fi]
近くのWi-Fi®ネットワークが表示されます。

3 接続するアクセスポイントをタップ
セキュリティで保護されているネットワークを選択した場合、パスワード(すでに設定されたパスワード)を入力→[接続]をタップします。
接続が完了すると、ステータスバーに[📶]が表示されます。

memo

◎本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
- W52(5.2GHz帯/36,40,44,48ch)
- W53(5.3GHz帯/52,56,60,64ch)
- W56(5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[Wi-Fi]→[ネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワーク名を入力

3 [なし]→セキュリティタイプをタップ
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [高度なオプション]→オプションを設定
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのオプションを設定します。

5 [保存]

memo

◎手動で追加したWi-Fi®ネットワークを削除するには、ホーム画面で[▦]→[設定]→[Wi-Fi]→削除するWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークから切断]と操作します。

Wi-Fi®の詳細設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi設定]

2 必要な項目を設定

Wi-Fiを自動的にONにする	ホームネットワークなど高品質の保存済みネットワークが利用できるときに、自動的にWi-Fiを有効にするかどうかを設定します。
オープンネットワークの通知	Wi-Fi®オープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。
証明書をインストール※1	暗号化された証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダ※1	ネットワークの状態などを評価して、より良いWi-Fi®ネットワークに接続する機能を設定します。
Wi-Fi ダイレクト※1	Wi-Fiネットワークやインターネットを経由せずに、ほかのWi-Fi Direct規格対応機器とWi-Fi接続でデータのやりとりができます。
MACアドレス※1	MACアドレスを確認します。
IPアドレス※1	IPアドレスを確認します。
モバイルネットワークに自動切替※1	Wi-Fi®信号が弱いときはモバイルデータ接続を行うかどうかを設定します。
Hotspotサインイン※1	Wi-Fiホットスポットを経由してインターネットに接続するときに、自動的にサインインページを表示するかどうかを設定します。
自動ログイン※1	Wi-Fi®接続時に自動的にログインするかどうかを設定します。
WISPr アカウントの設定※1	無線インターネットサービスプロバイダのアカウントを設定し、サービスプロバイダ間でローミングできるように管理します。

※1「詳細設定」をタップすると表示されます。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。
- 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面で[ヘルプ]をタップしてヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[au Wi-Fi接続ツール]
au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。
初回起動時は、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 項目をタップ→画面の指示に従って操作

テザリング機能

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることができる機能です。

memo

◎テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング

本製品を無線LAN(Wi-Fi®)ホットスポットとして使用し、無線LAN(Wi-Fi®)機能対応のクライアント(パソコンなど)からインターネット接続を利用できます。
Wi-Fi®テザリング機能は以下の無線通信規格、暗号化方式に対応しています。
- 無線通信規格:IEEE802.11b/g/n準拠
- 暗号化方式:OPEN(なし)、WPA2(AES)

Wi-Fi®テザリングを設定する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[詳細]→[テザリング]→[ポータブルWi-Fi hotspot]
Wi-Fi®テザリングの設定画面が表示されます。
Wi-Fi®テザリングに関する説明が表示されたときは[OK]をタップします。

2 必要な項目を設定

設定	Hotspot名(SSID)	クライアントから見えるテザリング名(SSID)を設定します。
	パスワード	クライアントとの通信を暗号化するためのパスワード(WEPキー/WPAキー)を設定します。ここで設定したWEPキー/WPAキーをクライアント側でも入力する必要があります。 ・[パスワードを表示する]にチェックを付けると、入力したパスワードが表示されます。
ユーザー	ユーザーを管理	許可されたクライアント(ユーザー)のみ本製品に接続を許可したり、本製品への最大接続数を設定します。

Wi-Fi®テザリングをオンにする

無線LAN(Wi-Fi®)機能対応のクライアント(パソコンなど)から本製品に接続します。
この操作は「Wi-Fi®テザリングを設定する」(▶P.66)で[許可されたユーザーのみ]にチェックを付けたかどうかで操作が異なりますので、ご注意ください。

■[許可されたユーザーのみ]にチェックを付けなかったとき

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[詳細]→[テザリング]→[ポータブルWi-Fi hotspot]

2 [Wi-Fiテザリング]の[OFF]をタップして[ON]にする
ステータスバーに[📶]が表示されます。
Wi-Fi®テザリングに関する説明が表示されたときは[OK]をタップします。

3 画面の指示に従って、クライアントから本製品に接続する

■[許可されたユーザーのみ]にチェックを付けたとき

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[詳細]→[テザリング]→[ポータブルWi-Fi hotspot]

2 [Wi-Fiテザリング]の[OFF]をタップして[ON]にする
ステータスバーに[📶]が表示されます。
Wi-Fi®テザリングに関する説明が表示されたときは[OK]をタップします。

3 画面の指示に従って、クライアントから本製品に接続する

クライアントが初めて本製品に接続するときはステータスバーに[ ]が表示され、接続に失敗します。続けて、次の操作を行ってください。この操作はクライアントごとに一度だけ行います。

4 ステータスバーを下にスライド→[接続リクエストを受信しました]

5 [接続要求]に表示されたクライアント名が、接続を許可するクライアント名と一致していることを確認→[許可]

6 [完了]

memo

◎Wi-Fi®テザリングと無線LAN(Wi-Fi®)機能(▶P.66)は同時に使用できません。
◎クライアントの操作について詳しくは、クライアントの取扱説明書をご参照ください。

Wi-Fi®テザリングをオフにする

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[詳細]→[テザリング]

2 [ポータブルWi-Fi hotspot]の[ON]をタップして[OFF]にする

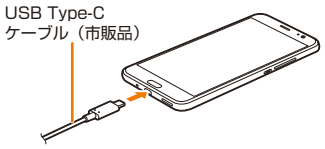
USBテザリング

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続すると、本製品のデータ通信(4G(LTE／WiMAX 2+))によるインターネット接続をパソコンから利用できます。

USBテザリング機能を使用する

1 本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続する

本製品に接続する際は、USB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込みます。



・ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

2 本製品のステータスバーを下にスライド→[USBを使用]→[USBテザリング]

USBテザリングに関する説明が表示されたときは[OK]をタップします。
・ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

USBテザリング機能を終了する

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[詳細]→[テザリング]

2 [USBテザリング]の[ON]をタップして[OFF]にする

Bluetooth®テザリング

本製品とBluetooth®接続したBluetooth®対応機器から、本製品のデータ通信(4G(LTE／WiMAX 2+))によるインターネット接続を利用できます。

Bluetooth®テザリングをオンにする

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[詳細]→[テザリング]

2 [Bluetoothテザリング]の[OFF]をタップして[ON]にする

Bluetooth®テザリングに関する説明が表示されたときは[OK]をタップします。
本製品とBluetooth®対応機器が接続されると、ステータスバーに[ ]が表示されます。

memo

◎Bluetooth®対応機器から本製品に接続するには、Bluetooth®機器で本製品との接続方法を設定する必要があります。Bluetooth®機器からの操作については、Bluetooth®機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth®テザリングをオフにする

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[詳細]→[テザリング]

2 [Bluetoothテザリング]の[ON]をタップして[OFF]にする

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®対応機器と接続する

本製品とBluetooth®機器を接続するには、ペア設定(登録)が必要です。
あらかじめハンズフリーヘッドセットや車内ハンズフリーキットの電源を入れ、ペアリングするモードに切り替えておきます。詳細は、ハンズフリーヘッドセットの取扱説明書をご参照ください。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[Bluetooth]

2 [OFF]をタップして[ON]にする

デバイスの検索が行われ、検出されたデバイスが一覧表示されます。
一覧に接続するデバイスが見つからない場合、[デバイス検索]をタップして再検索します。

3 接続するデバイスを選択→画面の指示に従って操作

Bluetooth®対応機器と接続中は、ステータスバーに[ ]が表示されます。

Bluetooth®機能でデータを送受信する

Bluetooth®機能でデータを送信する

各機能の共有メニューからデータを送信できます。
送信操作は機能によって異なります。ここでは連絡先を1件送信する操作と、フォトで画像を1件送信する操作を説明します。

■ 連絡先を1件送信する

1 ホーム画面で[ ]→[連絡先]

2 [ ]→[連絡先を送信]→送信する連絡先にチェックを付ける→[送信]→[Bluetoothで連絡先を送信]

3 Bluetooth®対応機器をタップ

memo

◎送信相手のBluetooth®対応機器によっては、あらかじめ受信待ち状態にする必要があります。

■ フォトで画像を1件送信する

1 ホーム画面で[ ]→[フォト]→送信する画像をタップ

2 [ ]→[Bluetooth]

3 Bluetooth®対応機器をタップ

Bluetooth®機能でデータを受信する

あらかじめ、Bluetooth®機能をオンにして、Bluetooth®対応機器と接続してください(▶P.67)。

1 相手のBluetooth®対応機器からデータを受信

本製品のステータスバーに[ ]が表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド→[着信ファイル]の[承諾]

データの受信が完了します。
受信したデータを確認するには、ステータスバーを下にスライド→[Bluetooth共有:受信したファイル]→受信したデータをタップします。

機能設定

機能設定 70
設定メニューを表示する 70
auサービスの設定をする 70
機内モードを設定する 70
モバイルネットワークの設定をする 70
ワイヤレスとネットワークの設定をする 71
個人設定をする 71
指紋スキャナの設定をする 71
アカウントと同期の設定をする 71
位置情報の設定をする 72
セキュリティの設定をする 72
ユーザー補助の設定をする 73
バックアップとリセットの設定をする 73
エッジセンスの設定をする 74
ディスプレイ／ジェスチャ／ボタンの設定をする 74
USB-Cハイレゾイヤホンの設定をする 74
サウンドと通知の設定をする 75
通話の設定をする 75
ストレージの設定をする 75
電池の設定をする 76
言語とキーボードの設定をする 76
日時の設定をする 76
印刷の設定をする 76
バージョン情報の設定をする 76

機能設定

設定メニューを表示する

本製品の各種機能を設定、管理します。無線LAN(Wi-Fi®)機能やセキュリティなどの設定も、ここから操作します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]

ステータスバーを下にスライド→[⚙]と操作しても設定メニューを表示できます。

項目	設定内容
au設定メニュー	▶P.70「auサービスの設定をする」
機内モード	通話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能などの通話・通信機能をすべてオフにします(▶P.70)。
Wi-Fi	▶P.66「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」
Bluetooth	▶P.67「Bluetooth®対応機器と接続する」
モバイル ネットワーク	▶P.70「モバイルネットワークの設定をする」
HTC Connect	3本の指で画面をフリックするだけで、本製品の音楽や動画をスピーカーやテレビにストリーミングできます。ストリーミング中の再生・停止や音量の調整などは、本製品で操作できます。さらに、お気に入りの音楽を複数のスピーカーで楽しむこともできます。
詳細	▶P.71「ワイヤレスとネットワークの設定をする」
個人設定	▶P.71「個人設定をする」
指紋スキャナ	▶P.71「指紋スキャナの設定をする」
アカウントと同期	▶P.71「アカウントと同期の設定をする」
位置情報	▶P.72「位置情報の設定をする」
セキュリティ	▶P.72「セキュリティの設定をする」
ユーザー補助	▶P.73「ユーザー補助の設定をする」
バックアップとリセット	▶P.73「バックアップとリセットの設定をする」
別の電話からコンテンツを取得	HTC転送ツールをインストールして各種コンテンツを転送したり、HTC社製以外の携帯電話のコンテンツを転送したりできます。 ※ HTC社製以外の携帯電話の場合は、転送できないことがあります。
Google	Googleのサービスに関する設定を行います。
エッジセンス	▶P.74「エッジセンスの設定をする」
ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン	▶P.74「ディスプレイ／ジェスチャ／ボタンの設定をする」
内蔵スピーカー用 HTC BoomSound	内蔵スピーカーの音楽モード／シアターモードを切り替えます。
USB-Cハイレゾイヤホン	▶P.74「USB-Cハイレゾイヤホンの設定をする」
サウンドと通知	▶P.75「サウンドと通知の設定をする」
通話設定	▶P.75「通話の設定をする」
auお客さまサポート	My auのサイトに接続したり、157(お客さまセンター)に発信したりします。
アプリ	アプリの管理を行います。
ストレージ	▶P.75「ストレージの設定をする」
電池	▶P.76「電池の設定をする」
メモリ	メモリの平均使用量を確認したり、アプリごとの平均メモリ使用量を確認できます。
言語とキーボード	▶P.76「言語とキーボードの設定をする」
日時設定	▶P.76「日時の設定をする」
印刷	▶P.76「印刷の設定をする」
バージョン情報	▶P.76「バージョン情報の設定をする」

auサービスの設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[au設定メニュー]

2 必要な項目を設定

au ID	▶P.19「au IDを設定する」
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
au位置情報サービス	auから位置情報に関わるサービスを提供する際に、他のアプリと連携して使用されるアプリです。
au Wi-Fi接続ツール	▶P.66「au Wi-Fi接続ツールを利用する」
データを移行する	スマートフォンで撮影した写真や連絡先など、さまざまなデータをauサーバーに預けたり、microSDメモリカードへのバックアップやスマートフォンへの復元ができます。また機種変更時のデータ移行にもご利用できます。
スマホとタブレットを連携する	スマホとタブレットを連携して、便利にお使いになれます。スマホへの電話着信やEメール(@au.com／@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、スマホをタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。
コミュニケーターが遠隔操作でサポート	「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などの操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。
au災害対策・緊急速報メール	緊急速報メール(緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報)の受信設定や受信音の音量など、受信に関する設定ができます。
データお預かり設定	自動で預けるデータの種類を設定したり、自動お預かり設定の詳細を確認したりできます。
歩きスマホ注意アプリ	歩きスマホは大変危険です。歩きスマホを検知してお知らせします。
au通信品質レポート機能	さらなる通信品質向上のため、音声通話やデータ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS位置情報)を検知・収集し、auに自動送信する機能です。
セルフケア設定	KDDIが提供する「セルフケア」サービス※の機能を提供するアプリです。 ※ Wi-Fi設定やBluetooth設定などお客様の端末設定を支援するサービス

機内モードを設定する

通話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能などの通話・通信機能をすべてオフにします。
航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[機内モード]の[ON]／[OFF]

機内モードがオンになると、ステータスバーに[✈]が表示されます。
(電源)を約2秒以上長押し→[機内モード]と操作しても機内モードのオン／オフを切り替えられます。

memo

◎ 医療機関や高精度な電子機器のある場所など、電源を切ったり持ち込みを禁止する指示のある場所ではその指示に従ってください。
◎ 機内モードをオンに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、機内モードが自動的にオフに設定されます。

モバイルネットワークの設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[モバイル ネットワーク]

2 必要な項目を設定

データローミング	▶P.84「データ通信を利用する」
国際ローミング設定	▶P.84「海外でVoLTEを利用する」
アクセスポイント名	▶P.48「データ通信を利用する」
通信事業者	▶P.84「通信事業者を設定する」

データ通信の利用を設定する

データ通信は、次の操作でオン／オフを切り替えることができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[モバイル ネットワーク]の[ON]／[OFF]

データ通信が利用できるときは、ステータスバーにデータ通信状態を表す[4G]([4G(LTE／WiMAX 2+)])が表示されます。

ワイヤレスとネットワークの設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[詳細]

2 必要な項目を設定

データ使用累計	データ通信のオン／オフを設定したり、データ通信量を確認したりします。 • データセーバーをオンにすると、アプリごとにデータの送受信をブロックし、データ使用量を節約できます。 • アプリのデータ使用量の確認画面で[⚙]をタップすると、モバイルデータの制限を設定できます。
NFC/おサイフケータイ設定	▶P.56「おサイフケータイ®を設定する」
テザリング	▶P.66「Wi-Fi®テザリング」 ▶P.67「USBテザリング」 ▶P.67「Bluetooth®テザリング」
USB接続	本製品をUSB接続した際の動作やカーオーディオとUSB接続した際のMirrorLinkのオン／オフを設定します。
VPN	VPN(Virtual Private Network:仮想プライベートネットワーク)は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本製品にVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。 • [+]→[ロックを設定]→画面ロックの解除方法を設定してから、ネットワーク管理者の指示に従ってVPN設定の各項目を設定します。
プライベートDNS※1	セキュリティとプライバシーの保護のため、プライベートDNSを登録して切り替えることができます。

※1「詳細設定」をタップすると表示されます。

個人設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[個人設定]

2 必要な項目を設定

ホーム画面のランチャーを変更	▶P.23「ホームランチャーを切り替える」
壁紙を変更	▶P.71「壁紙を変更する」
アプリとウィジェットを追加	▶P.23「ウィジェットやアイコンを追加する」
ホーム画面ページの管理	▶P.23「拡張ホーム画面をホーム画面に設定する」
テーマの変更	ホーム画面の壁紙やアイコンなど、画面全体のデザインを変更します。
現在のテーマを編集	ホーム画面の壁紙やロック画面の壁紙など、現在設定しているテーマの個々の設定を変更します。
着信音	着信音を設定します。
通知音	通知音を設定します。
アラーム	アラーム音を設定します。
フォントサイズ	画面の文字サイズを設定します。 [小][既定][大][最大]
キーボードの色	TouchPalキーボードのデザインを変更します。
ダイヤラーの色	ダイヤルボタンの色を設定します。

※条件により表示されない項目があります。

壁紙を変更する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[個人設定]→[壁紙を変更]

2 項目をタップ

HTC壁紙	本体に保存された壁紙を設定します。壁紙を選択→[適用]→壁紙を設定する画面を選択と操作します。
ライブ壁紙	アニメーション壁紙を設定します。壁紙を選択→[適用]→壁紙を設定する画面を選択と操作します。
テーマストア	HTC Sense.comに保存されている壁紙を設定します。HTC Sense.comにログイン→壁紙を選択と操作します。 • 画面左上の[☑]→カテゴリを選択→壁紙を選択→[ダウンロード]→[適用]と操作すると、壁紙をダウンロードして壁紙に設定することができます。
フォト	フォトアプリの画像を設定します。壁紙を選択→[壁紙を設定]と操作します。

指紋スキャナの設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[指紋スキャナ]

2 必要な項目を設定

画面復帰	指紋を登録している指をホームキー／指紋スキャナに当てたときに、画面ロックを解除するかどうかを設定します。
スキャン時にバイブレーションする	ホームキー／指紋スキャナをタップしたときにバイブレータが振動するかどうかを設定します。
指紋1～5	登録した指紋データの名前を変更したり、削除したりできます。
指紋の追加	▶P.71「指紋を登録する」
指紋スキャナをリセット	登録されているすべての指紋データを消去し、指紋スキャナで画面ロックを解除できないようにします。

指紋を登録する

画面ロックを解除するための指紋を登録します。最大5件まで登録できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[指紋スキャナ]→[指紋の追加]

2 指紋認証ができなかった場合の画面ロックの解除方法を選択→解除方法を設定

• 画面ロックの解除方法については「画面ロックの解除方法を設定する」(▶P.72)をご参照ください。

3 [開始]

4 ホームキー／指紋スキャナに指を当てる、離すを繰り返す

指紋がスキャンされるとバイブレータが振動し、スキャン率が表示されます。スキャン率が100%になり、「完了しました！」と表示されるまで繰り返してください。

5 [完了]

アカウントと同期の設定をする

アカウントを追加する

Facebook、Twitterなどのソーシャルネットワークのアカウントを本製品に設定できます。対応するソーシャルネットワークのアカウントを取得していない場合は、それぞれのサイトで取得してください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[アカウントと同期]

2 [アカウントを追加]→追加するアカウントをタップ→画面の指示に従って操作

アカウント設定を変更する

同期頻度や同期する情報の種類、通知方法、アカウント情報の表示形式などの設定を変更することができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[アカウントと同期]

アカウント一覧画面が表示されます。

2 設定を変更するアカウントをタップ→[アカウントの同期]→アカウント設定を変更

memo

◎設定できる情報はアカウントによって異なります。
◎アカウントの種類によっては、アカウント一覧画面で削除するアカウントをタップ→[アカウントを削除]と操作するとアカウントを削除できます。

アカウントの自動同期を許可する

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

• 同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[アカウントと同期]

2 [自動的にデータを同期]をタップ→[OK]

※初期状態ではONになっています。

位置情報の設定をする

位置情報(現在地)の測位には、Wi-Fi®ネットワークやモバイルネットワークを使用する方法と、GPSを使用する方法があります。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[位置情報]

2 [位置情報の使用]をタップして[ON]にする

※初期状態ではONになっています。

3 必要な項目を設定

最近の位置が必要です	位置情報データを使用したアプリの一部が表示されます。 • アプリをタップすると、アプリ情報画面が表示されます。 • [すべて表示]をタップすると、位置情報データを使用したすべてのアプリが表示されます。
アプリレベルの権限	位置情報を使用するアプリの権限を確認／変更します。
スキャン中※1	位置情報の精度向上のために、Wi-Fi®機能やBluetooth®機能がオフの場合でもWi-Fi®ネットワーク／Bluetooth®機器のスキャンを許可するかどうかを設定します。
位置情報サービス※1	Googleロケーション履歴などの設定を確認／変更したり、Wi-Fi®ネットワークやモバイルネットワークを使って位置情報の精度を改善したりします。

※1「詳細設定」をタップすると表示されます。

memo

◎建物の中など空が見えない状況では電波を受信できない場合があります。

セキュリティの設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]

2 必要な項目を設定

Google Play プロテクト		本製品を定期的にスキャンし、有害なアプリケーションやデータから保護するかどうかを設定します。
デバイスを探す		本製品の紛失時にリモートで端末の位置を特定したり、ロックやデータ消去をしたりするかどうかを設定します。
セキュリティ アップデート		▶P.88「ソフトウェアを更新する」
画面ロックの設定		▶P.72「画面ロックの解除方法を設定する」
ロック画面の設定	ロック画面上	ロック画面に通知を表示するかどうかを設定します。
	ロック画面メッセージ	ロック画面に表示するメッセージを入力します。
Smart Lock		▶P.72「Smart Lockを設定する」
着信電話		着信時にプライベートの連絡先の名前と写真をロック画面に表示するかどうかを設定します。
指紋スキャナ		▶P.71「指紋スキャナの設定をする」
パスワードの表示		パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理アプリ※1		本製品を管理するアプリを有効にするかどうかを設定します。
SIMカードロック※1		▶P.72「SIMカードロックを設定する」
暗号化と認証情報※1	端末の暗号化	本製品はお買い上げ時に暗号化されています。
	保存タイプ	認証情報ストレージのタイプを表示します。
	信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
	ユーザー認証情報	本製品に保存されている認証情報を表示、変更します。
	SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。
	認証ストレージの消去	認証情報ストレージの内容を消去します。
信頼できるエージェント※1		信頼できるエージェントを表示または無効にします。
画面固定※1		画面を固定して切り替えられないようにします。

※1「詳細設定」をタップすると表示されます。

画面ロックの解除方法を設定する

起動時やスリープモードを解除したときの画面ロックの解除方法を設定することで、データを保護できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[画面ロックの設定]

すでに画面ロックの解除方法を設定しているときは、画面ロックを解除してください。

2 [パターン]／[暗証番号]／[パスワード]

[なし]／[スワイプ]では画面ロックがかかりません。

3 セキュア スタートアップ画面で[いいえ]／[はい]

4 指示に従って設定

memo

◎画面ロックの解除方法を設定しているときに[⚙]をタップすると、スリープモードになってから画面ロックがかかるまでの時間を設定したり、(電源キー)を押してすぐに画面ロックをかけられるようにするかどうかなどを設定できます。
◎画面ロックの解除方法として設定した「パターン」／「暗証番号」／「パスワード」をお忘れになった場合は、auお客さまセンターにご連絡ください。なお、解除の際に設定やデータがすべて初期化されてしまう場合がありますので、ご了承ください。

Smart Lockを設定する

画面ロックの解除方法を設定している場合に、画面ロックを解除できる端末、場所、顔、音声を設定します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[Smart Lock]

2 画面ロックを解除

Smart Lockの説明画面が表示された場合は、内容を確認して[OK]をタップしてください。

3 必要な項目を設定

持ち運び検知機能	本製品を持ち運んでいる間は、画面ロックが解除されたままになります。 • [OFF]をタップして[ON]にする→[続行]と操作します。
信頼できる場所	画面ロックを解除する場所を登録します。 • 自宅以外の場所を登録したい場合は、[信頼できる場所の追加]→登録する場所をマップ上で指定して[この場所を選択]／場所名を検索して場所名をタップ→[選択]→場所の名前を入力→[OK]と操作します。
信頼できるデバイス	接続時に画面ロックを解除するデバイスを設定します。 • [信頼できるデバイスを追加]→デバイスタイプを選択→デバイスと接続
Voice Match	画面ロックを解除する音声を登録します。音声はGoogleアプリを使用して登録します。詳しくは、Googleアプリのヘルプをご確認ください。
認識済みの顔	顔認証で画面ロックを解除します。 • [設定]をタップし、画面の指示に従って、顔写真を撮影してください。

SIMカードロックを設定する

第三者によるau ICカードの無断使用を防止するために、au ICカードにPINコードを設定し、起動時にPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[詳細設定]→[SIMカードロック]→[SIMカードロック]

2 PINコードを入力→[OK]

■ PINコードを変更する

あらかじめ[SIMカードロック]をオンに設定してください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[詳細設定]→[SIMカードロック]→[au IC PIN を変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 再度新しいPINコードを入力→[OK]

ユーザー補助の設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[ユーザー補助]

2 必要な項目を設定

音量キーのショートカット	音量キーのショートカットでショートカットサービスを起動できるようにするかどうかを設定したり、起動するショートカットサービスを設定したりします。
TalkBack	▶P.73「TalkBackのタッチガイド機能について」
スイッチアクセス	本製品や外部機器のキーに、本製品の操作機能を割り当てます。
選択して読み上げ	選択して読み上げ機能を利用するかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	テキスト読み上げ機能を利用するための設定をします。
フォントサイズ	画面の文字サイズを設定します。 [小] [既定] [大] [最大]
表示サイズ	画面全体の表示サイズを設定します。 [小] [デフォルト] [大]
拡大	画面を3回タップして拡大／縮小するかどうかを設定します。
大きなマウスポインタ	マウスやトラックパッドの使用時、ポインタの表示を大きくするかどうかを設定します。
色反転	画面の色を反転するかどうかを設定します。
色補正	画面の色を補正するかどうかを設定します。
未読の通知	未読の通知がある場合に、通知音と本製品の振動でお知らせするかどうかを設定します。
アニメーションの削除	画面表示のアニメーション効果をオフにするかどうかを設定します。
停止時間	マウスやトラックパッドの使用時、ポインタが停止すると自動的にクリック操作を行うかどうかを設定します。
電源ボタンで通話を終了する	(▥)で通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えるかどうかを設定します。
タッチとホールドの遅延	ロングタッチを感知するまでの時間を設定します。
バイブレーション	着信や通知があったとき、キーアイコンをタップしたときなどに、本製品を振動させるかどうかを設定します。 • アプリや機能によっては、オフにしても本製品が振動する場合があります。
キャプション	動画を再生しているときに、字幕を利用するかどうかを設定します。
モノラル オーディオ	音声をモノラル再生するかどうかを設定します。
サウンド バランス	ヘッドフォンやイヤホンなどの左右の音量バランスを調節します。
高コントラスト テキスト	文字のコントラストを高めて、くっきりと表示するかどうかを設定します。

memo

TalkBackのタッチガイド機能について

◎初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能をオンにするかどうかのメッセージが表示されます。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。
タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。
項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップをし、スライドをする場合は、2本の指で画面上を目的の方向になぞります。
タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー画面→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[設定]と操作し、[タッチガイド]をオフにします。

バックアップとリセットの設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[バックアップとリセット]

2 必要な項目を設定

データのバックアップ	アプリデータやWi-Fi®パスワード、Googleサーバー上のその他の設定をバックアップします。
バックアップアカウント	バックアップするGoogle アカウントを設定します。
Google アカウント※	Google アカウントにバックアップする詳細を設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するかどうかを設定します。
HTCバックアップから復元	HTC復元アプリをインストールして、HTCサーバー上のバックアップデータを復元できます。
Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット	Wi-Fi®、Bluetoothなどのネットワーク設定をリセットします。
アプリの設定をリセット	アプリの権限や無効化など、アプリの設定をリセットします。
すべてのデータを消去(出荷時リセット)	▶P.73「本製品を初期化する」

※Googleアカウントを設定しているときのみ選択できます。

本製品を初期化する

本製品を初期状態に戻します(出荷時リセット)。
この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客様がインストールしたアプリや登録したデータはすべて削除されます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[バックアップとリセット]→[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]→[携帯端末をリセット]

• microSDメモリカードに保存した音楽、画像を含め、すべてのデータも削除する場合は、[SDカード内データを消去]にチェックを付けてください。

2 [すべて消去]

本製品は自動的に再起動します。

memo

◎出荷時リセットを実行する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
◎電池残量が少ないときは出荷時リセットできません。
◎SIMカード ロック設定は、出荷時リセットを実行してもリセットされません。
◎出荷時リセットを実行する前に、本製品に設定したGoogleアカウントを削除してください。Googleアカウントを削除しないで本製品をリセットした場合、以前に同期したGoogleアカウントへのログイン情報の入力が必要になる場合があります。

エッジセンスの設定をする

エッジセンス部を握ってカメラの撮影やGoogleアプリの起動などができるように設定します。

エッジセンスの初期設定を行う

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[エッジセンス]**
   エッジセンスのセットアップ画面が表示されます。
2. **[今すぐセットアップ]**
3. **画面の指示に従って、握る圧力レベルを設定→[次へ]**
4. **画面の指示に従って、握る強さのテストを実施→[次へ]**
5. **エッジセンスの機能を確認→[完了]**

エッジセンスの詳細を設定する

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[エッジセンス]**
2. **項目をタップ**

握る操作をカスタマイズする	スリープモード時にエッジセンス部の握りを検知するかどうか、およびエッジセンス部を握ったときの動作を設定します。
握る圧力レベルの調整	[−]／[+]で圧力レベルを調整できます。調整結果は[握る強さを試す]をタップすると確認できます。
詳細モードを有効にする	チェックを付けると、詳細モードを設定できます。 • 詳細モードを設定するには、再度エッジセンスの初期設定を行う必要があります。
短く握る操作をカスタマイズする	スリープモード時にエッジセンス部の短い握りを検知するかどうか、およびエッジセンス部を短く握ったときの動作を設定します。
長く握る操作をカスタマイズする	スリープモード時にエッジセンス部の長い握りを検知するかどうか、およびエッジセンス部を長く握ったときの動作を設定します。
握る圧力レベルの調整	[−]／[+]で圧力レベルを調整できます。調整結果は[握る強さを試す]をタップすると確認できます。 • 詳細モードでは、短く握ったときと長く握ったときの握る強さのテストを行います。
キーボード	キーボード表示中に、握る動作で音声認識を有効にするかどうかを設定します。
カメラ	カメラ起動中に、握る動作で写真を撮るかどうかを設定します。
時計	アラーム鳴動時に、握る動作でスヌーズを利用するかどうかを設定します。
電話	電話着信時に、握る動作で電話を受けるかどうかを設定します。
アプリ内オプションを追加	エッジセンス部を握ったときのアプリごとの機能を設定します。

ディスプレイ／ジェスチャ／ボタンの設定をする

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]**
2. **必要な項目を設定**

グローブ モード	手袋をしたままタッチパネルを操作できるようにするかどうかを設定します。
輝度レベル	▶P.74「画面の明るさを変更する」
適用可能な輝度	周囲に合わせて明るさを調節するかどうかを設定します。ONにすると、ユーザーの好みを学習して手動での調節を減らせるようになります。
カラープロファイル	画面の色を暖色または寒色に調節します。
夜モード	暗い場所でも画面が見やすくなるように設定します。
壁紙	▶P.71「壁紙を変更する」
画面消灯	▶P.74「画面消灯までの時間を変更する」
画面の自動回転	▶P.24「縦／横画面表示を切り替える」
フォントサイズ	画面の文字サイズを設定します。 [小] [既定] [大] [最大]
表示サイズ	画面全体の表示サイズを設定します。 [小] [デフォルト] [大]
スクリーン セーバー	▶P.74「スクリーンセーバーを設定する」
端末のテーマ	端末のテーマを設定します。クイック設定パネルなどの背景色が変更されます。
ナビゲーション ボタンのバックライト	◁および○のバックライトを常に点灯するか、操作していないときは消灯するかを設定します。
メニュー ボタン	アプリの画面にメニューボタンを表示するかどうかを設定します。 • メニューボタンが表示されないアプリもあります。
メディア ジェスチャ	アプリに3本の指での操作を識別させるかどうかを設定します。
Motion Launchのジェスチャ	▶P.22「スリープモードでジェスチャを使う」
カメラのクイック起動	音量キーをすばやく2回押すとカメラが起動するように設定します。
着信音を停止	着信中に音量キーと＋を同時に押して着信音を消音するときの動作を設定できます。

画面消灯までの時間を変更する

何も操作しない時間が続いた場合、自動的にスリープモード(画面の表示が消えた状態)になるように設定できます。

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→[画面消灯]→スリープモードへ移行するまでの時間をタップ**

スクリーンセーバーを設定する

充電時などにスクリーンセーバーが動作するように設定できます。手動でスリープモードにした場合は動作しません。

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→[スクリーンセーバー]**
2. **[現在のスクリーンセーバー]→[フォト]**
   • 「フォト」を選択した場合は、[⚙]→設定する項目にチェックを付ける→◁と操作します。
3. **[開始時間]→[充電時]／[ドック時]／[充電中またはホルダー装着中]**
   • [今すぐ開始]をタップすると、スクリーンセーバーをすぐに設定できます。

画面の明るさを変更する

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→[輝度レベル]**
2. **スライダをドラッグして明るさを調節**
   • [自動]にチェックを付けると、周囲に合わせて明るさを調節するかどうかを設定できます。

USB-Cハイレゾイヤホンの設定をする

USB-Cハイレゾイヤホン(試供品)の最適化データは、「オーディオプロフィール」として保存されます。耳の構造を再度スキャンして新しいオーディオプロフィールを登録したり、適用するオーディオプロフィールを選択したりできます。
USB-Cハイレゾイヤホン(試供品)の設定をするには、あらかじめ本製品にUSB-Cハイレゾイヤホン(試供品)を接続してください。

オーディオプロフィールを登録する

イヤホンのカスタマイズは必ずイヤホンを耳に差し込んでから実行してください。

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[USB-Cハイレゾイヤホン]**
2. **[＋]→[今すぐスキャンを開始します]→[完了]**

オーディオプロフィールを適用する

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[USB-Cハイレゾイヤホン]**
2. **適用するオーディオプロフィールを選択→[適用]**

memo

◎オーディオプロフィール名を変更するには、[⋮]→[名前の変更]→変更するオーディオプロフィールをタップ→名前を変更→[名前の変更]→[✓]と操作します。
◎オーディオプロフィールを削除するには、[⋮]→[削除]→削除するオーディオプロフィールにチェックを付ける→[🗑]と操作します。

サウンドと通知の設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンドと通知]

2 必要な項目を設定

メディアの音量	▶P.75「音量を調節する」
通話音量	
リング ボリューム	
アラームの音量	
モード設定	▶P.25「マナーモードを設定する」
通話にもバイブをプラス	通常モード時、着信中に本製品を振動させるかどうか設定します。
サイレントモード	▶P.25「サイレントモードを設定する」
着信音ミュート用のショートカット	着信中に(▥)と(＋)を同時に押して着信音を消音するときの動作を設定できます。
着信音	▶P.75「着信音を設定する」
デフォルトの通知音	▶P.75「通知音を設定する」
デフォルトのアラーム音※1	アラーム音を設定します。
電話を動かして着信音量を下げる※1	本製品を動かして着信音量を下げるかどうかを設定します。
ポケットモード※1	本製品がポケットやバッグに入っているときに、着信音量を上げるかどうかを設定します。
フリップしてミュート※1	本製品を裏返して着信音を一時的に消した後、裏返したままの状態で次の着信を受けたときの動作を設定します。 ・[1回ミュート]に設定すると、次の着信があると着信音が鳴ります。 ・[常にミュート]に設定すると、次の着信があっても着信音は鳴りません。
ダイヤルパッドのトーン※1	ダイヤルボタンをタップしたときに、操作音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音※1	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
充電音※1	充電開始を音でお知らせするかどうかを設定します。
タッチ操作音※1	メニューやアイコンなどをタップしたときに、操作音を鳴らすかどうかを設定します。
タップ操作時のバイブ※1	(▥)や(▭)の操作時に、本製品を振動させるかどうかを設定します。
画面を下げた時の更新音※1	BlinkFeed画面で画面中央から下にスライドして表示を更新したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。
通知用点滅LED※1	通知ランプを常に点滅させるか、スリープモード中のみ点滅させるかを設定します。
通知※1	アプリごとに通知を表示するかどうか、優先して通知するかどうかなどを設定します。

※1 「詳細設定」をタップすると表示されます。

音量を調節する

着信音量と通知音量、音楽＆ビデオ音量、アラーム音量は、個別に調節できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンドと通知]

2 [メディアの音量]／[通話音量]／[リング ボリューム]／[アラームの音量]のスライダを左右にドラッグ

memo

◎(＋)／(－)を押すと、メディアの音量を調整できます。
また、音楽や動画の再生中に押すと、音楽＆ビデオ音量を調節できます。

着信音を設定する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンドと通知]→[着信音]→着信音をタップ→[適用]

通知音を設定する

新着通知の通知音を設定できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンドと通知]→[デフォルトの通知音]→通知音をタップ→[適用]

通話の設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]

2 必要な項目を設定

自動応答	本製品を持ち上げると、自動的に着信に応答するかどうかを設定します。
通話拒否設定	着信を拒否したときに、SMS送信のオプションを表示するかどうかを設定します。
連絡先に保存	連絡先に登録していない電話番号との通話が終了したときに、連絡先登録の確認画面を表示するかどうかを設定します。
着信のポップアップ表示	画面点灯中の着信画面をポップアップ表示にするかどうかを設定します。
留守番電話	▶P.80「伝言･ボイスメールを聞く」
	▶P.80「応答メッセージの録音／確認／変更をする」
着信転送／お留守番サービス	かかってきた電話を転送するときの条件を設定します。
ローミング中の留守電／転送	海外利用中にお留守番サービスおよび着信転送サービスを利用するかどうかを設定します。
ガイドの言語を変更する	お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージの言語を設定します。
オプションサービス申込	My auのオプションサービス申し込みページを表示します。
その他の設定	電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知するかどうかや、通話中にかかってきた電話を通知するかどうかを設定します。
着信拒否	着信拒否や番号通知リクエストサービスなどを設定します。
通話アカウント	インターネット通話のアカウントや使用方法、着信を受けるかどうかを設定します。

ストレージの設定をする

本製品の保存領域について詳しくは、「本製品の保存領域について」(▶P.62)をご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]

2 必要な項目を設定

内部共有ストレージ	ストレージマネージャ	ストレージマネージャで本体ストレージを管理するかどうかを設定します。
	空き容量	本体ストレージの空き容量を確認します。
	写真と動画／音楽と音声／ゲーム／ムービーとTVアプリ／その他のアプリ／ファイル／システム／ダウンロード	本体ストレージの使用量を確認します。
	キャッシュのデータ	すべてのアプリのキャッシュデータを削除して、保存領域を確保します。
SDカード／USBドライブ※1	使用量	microSDメモリカード／USBドライブの使用量を確認します。
	空き容量	microSDメモリカード／USBドライブの空き容量を確認します。
	フォーマット	microSDメモリカード／USBドライブの音楽、画像、すべてのデータを消去します。
	本体メモリとしてフォーマット	microSDメモリカードを本体ストレージとしてフォーマットします。microSDメモリカードの音楽、画像、すべてのデータが消去されます。
	SDカードのコンテンツを暗号化	microSDメモリカードのコンテンツをパスワードで保護するかどうかを設定します。
	取り出し	▶P.63「メモリのマウントを解除する」

※1 設定項目は[⚙]をタップすると表示されます。

電池の設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[電池]

2 必要な項目を設定

前回のフル充電	前回充電完了から現在までの経過時間が表示されます。
フル充電以降の画面の電池使用状況	前回充電完了から画面による電池の使用時間が表示されます。
省電力	電池残量を節約するため、CPUや画面の明るさ、バイブレーション、データ接続の使用を制限します。電池残量が設定値を下回ったときに、自動的に省電力に切り替えることもできます。
自動調整バッテリー	使用頻度の低いアプリの電池使用を制限するかどうかを設定します。ONにすると、使用頻度の低いアプリの動作を制限しながら、AIがアプリの使用状況を学習して、電池を節約できるようになります。
EX省電力モード	EX省電力モードをオンにすると、CPUや画面の明るさ、バイブレーション、データ接続の使用を制限するほか、使用可能なアプリの数を制限します。電池残量が設定値を下回ったときに、自動的にEX省電力モードに切り替えることもできます。
電池残量	▶P.24「主なステータスアイコン」
明るさの自動調整	周囲に合わせて明るさを調節するかどうかを設定します。
スリープ	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
フル充電以降のアプリの電池使用状況	前回充電完了から電池を使用したアプリや機能が表示されます。

言語とキーボードの設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[言語とキーボード]

2 必要な項目を設定

言語	表示言語を切り替えます。
仮想キーボード	本製品で使用する仮想キーボードを設定します。
物理キーボード	物理キーボードが有効になっていても仮想キーボードを表示するかどうかを設定します。また、使用できるキーボードショートカットを確認できます。
スペルチェック※1	入力時にスペルチェックするかどうかを設定します。
自動入力サービス※1	ログインするときに使うパスワードなどのログイン情報を管理し、次回ログインの際には自動で入力されるようにするかどうかを設定します。
ユーザー辞書※1	スペルチェッカーアプリなどで使われる単語を追加できます。
ポインタの速度※1	マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。
テキスト読み上げの出力※1	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。

※1「詳細設定」をタップすると表示されます。

日時の設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[日時設定]

2 必要な項目を設定

日付と時刻の自動設定	ネットワークから提供される時刻・時差に関する情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
日付の設定	日付を手動で設定します。
時間の設定	時間を手動で設定します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワークから提供されるタイムゾーン情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示を自動設定	言語や地域の設定に従って自動的に24時間表示にするかどうかを設定します。
24時間表示を使用	時刻の表示方法を24時間表示にするか、12時間表示にするかを設定します。
日付形式の選択	日付の表示形式を選択します。
トラベルモード	設定されているタイムゾーンとは異なるタイムゾーンに移動したときに、移動先のタイムゾーンの時刻に自動的に補正するかどうかを設定します。

印刷の設定をする

本製品からインターネットに接続しているクラウド対応のプリンタで、画像やドキュメントなどを印刷できるように設定します。
クラウドプリントに接続されているどのプリンタからも印刷できますが、クラウド対応のプリンタを接続すれば、パソコンを使わずにクラウドプリントから直接印刷することができます。

- クラウドプリントを利用するには、あらかじめ対応するアプリをダウンロードしてください。

バージョン情報の設定をする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[バージョン情報]

2 必要な項目を設定

ソフトウェアアップデート	▶P.88「ソフトウェアを更新する」
使用とエラーレポート	エラーレポートの送信設定をします。
クイックヒント	本製品に関するヘルプを利用できます。
ネットワーク	信号強度やモバイルネットワークの種類、サービスの状態などを確認できます。
電話ID	▶P.31「自分の電話番号を確認する」
ソフトウェア情報	バージョンや各番号を確認できます。
法規情報	オープンソースライセンスやGoogle法規などを確認できます。また、ACCESS法規などを確認できます。
認証	技術基準適合証明に関する情報を確認できます。

auのネットワークサービス

auのネットワークサービス 78
auのネットワークサービスについて 78
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス) 78
着信転送サービスを利用する(標準サービス) 78
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス) 79
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス) 79
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス) 79
三者通話サービスを利用する(オプションサービス) 81
割込通話サービスを利用する(オプションサービス) 81
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス) 82
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス) 82

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.45
	着信お知らせサービス	P.78
	着信転送サービス	P.78
	発信番号表示サービス	P.79
	番号通知リクエストサービス	P.79
有料オプションサービス	お留守番サービスEX	P.79
	三者通話サービス	P.81
	割込通話サービス	P.81
	迷惑電話撃退サービス	P.82
	通話明細分計サービス	P.82

memo

◎有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
◎各サービスのご利用料金などについては、auホームページ(https://www.au.com/)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEX(▶P.79)の圏外転送を設定してください。
※有料オプションサービスにご契約されていない場合にも設定を行ってください。
◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.79)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

memo

◎緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.79)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信転送／お留守番サービス]→[無応答転送]

2 転送先番号を設定→呼び出し時間を設定→[有効にする]

- 呼び出し時間は5～55秒の間で設定できます。
- [👤]をタップすると、連絡先から電話番号を選択できます。
- 「無効にする」をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信転送／お留守番サービス]→[話中転送]

2 転送先番号を設定→[有効にする]

[👤]をタップすると、連絡先から電話番号を選択できます。
「無効にする」をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

◎話中転送と割込通話サービス(▶P.81)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送するとき(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに電話を転送します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信転送／お留守番サービス]→[圏外転送]

2 転送先番号を設定→[有効にする]

[👤]をタップすると、連絡先から電話番号を選択できます。
「無効にする」をタップすると転送サービスを停止できます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信転送／お留守番サービス]→[フル転送]

2 転送先番号を設定→[有効にする]

[👤]をタップすると、連絡先から電話番号を選択できます。
「無効にする」をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

◎フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、ご利用のau電話の着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.13)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の本製品のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号が、本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Pay Phone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

■ 電話番号を通知する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[その他の設定]

2 [発信者番号通知]→[番号を通知]

memo

◎電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を[番号を通知]にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎「発信者番号通知」を[番号を非通知]に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービス(▶P.79)、着信転送サービス(▶P.78)、割込通話サービス(▶P.81)、三者通話サービス(▶P.81)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.82)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信拒否]→[番号通知リクエストサービス]

チェックが付くと番号通知リクエストサービスが開始されます。

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信拒否]→[番号通知リクエストサービス]

チェックが外れると番号通知リクエストサービスが停止されます。

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」をオンにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメールの合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 ホーム画面で[(電話)]→「141」を入力→[ダイヤル]

2 ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信転送/お留守番サービス]→[無応答転送]

2 呼び出し時間を設定→[留守番電話]

- 呼び出し時間は5～55秒の間で設定できます。
- 「無効にする」をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信転送/お留守番サービス]→[話中転送]

2 [留守番電話]

「無効にする」をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

◎話中転送と割込通話サービス(▶P.81)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送するとき(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに、電話を留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信転送／お留守番サービス]→[圏外転送]

ホーム画面で[📞]→「1414」を入力→[ダイヤル]と操作しても設定できます。

2 [留守番電話]

「無効にする」をタップすると転送サービスを停止できます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[着信転送／お留守番サービス]→[フル転送]

2 [留守番電話]

「無効にする」をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.80「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」:録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」:録音した伝言を消去して、取り消す
「＊」:録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面で[📞(電話)]→「1612」+相手の方のau電話番号を入力→[ダイヤル]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

memo

◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で[📞(電話)]→[1]をロングタッチ

ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[詳細設定]→[伝言再生]と操作しても利用できます。
また、ホーム画面で[📞(電話)]→「1417」を入力→[ダイヤル]と操作しても利用できます。

2 ガイダンスに従ってボタン操作

画面にキーパッドが表示されていない場合は、[⌨]をタップして表示します。
[1]:同じ伝言をもう一度聞く
[4]:5秒間巻き戻して聞き直す
[5]:伝言を一時停止(20秒間)※
[6]:5秒間早送りして聞く
[7]:再生済みの伝言をすべて消去
[9]:伝言を消去
[0]:伝言再生中の操作方法を聞く
[#]:次の伝言を聞く
[＊]:前の伝言を聞く
※ [通話を終了]以外のボタンをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [通話を終了]

memo

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.80)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容の確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[詳細設定]→[応答メッセージを編集]

ホーム画面で[📞(電話)]→「1414」を入力→[ダイヤル]と操作しても設定できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

2 [⌨]→[1]→[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話を終了]

■ 電話番号の代わりにお客さまのお名前を読み上げるタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

2 [⌨]→[1]→[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[通話を終了]

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 [⌨]→[3]→応答メッセージを確認→[通話を終了]

■ 蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音する場合

2 [⌨]→[1]→[3]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話を終了]

memo

◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[2]→[1]をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って[1]→[4]をタップすると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
(▶P.80「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

1 ホーム画面で[📞(電話)]→「1610」を入力→[ダイヤル]

2 ガイダンスを確認→[通話を終了]

memo

◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面で[(電話)]→「1611」を入力→[ダイヤル]

2 ガイダンスを確認→[通話を終了]

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様が本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守電転送設定(無条件)開始	1418
留守電転送設定(無条件)停止	1419
留守電再生	1415
留守電総合案内	1416

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.13)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[ガイドの言語を変更する]→[英語ガイダンス]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
ホーム画面で[(電話)]→「14191」を入力→[ダイヤル]と操作しても設定できます。

2 [通話を終了]

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[ガイドの言語を変更する]→[日本語ガイダンス]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
ホーム画面で[(電話)]→「14190」を入力→[ダイヤル]と操作しても設定できます。

2 [通話を終了]

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[追加]→Bさんの電話番号を入力

- 電話画面が表示されていない場合は、ステータスバーを下にスライドし、通話中の相手の名前または電話番号をタップしてください。
- 通話追加の画面で、通話履歴や連絡先から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [ダイヤル]

通話中のAさんとの通話が保留となり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、[通話を終了]をタップするとAさんとの通話に戻ります。
Bさんとの通話を保留にしてAさんとの通話に戻るには、Aさんをタップします。

4 [マージ]

3人で通話できます。

- [通話を終了]をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始／停止)に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[その他の設定]→[割込通話]にチェックを付ける

ホーム画面で[(電話)]→「1451」を入力→[ダイヤル]と操作しても設定できます。

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.79)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.82)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[その他の設定]→[割込通話]のチェックを外す

ホーム画面で[(電話)]→「1450」を入力→[ダイヤル]と操作しても設定できます。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [応答]

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。



通話中の相手です。

保留中の通話です。
タップすると、通話相手を切り替えられます。

タップすると、通話中の相手との通話が終了し、保留中の相手との通話になります。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後に、次の操作を行います。

1 ホーム画面で[(電話)]→「1442」を入力→[ダイヤル]

ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[着信拒否]→[迷惑電話撃退サービス]→[]→[最後の電話番号を追加]と操作しても登録できます。

2 [通話を終了]

■指定の電話番号を登録する場合

1 ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[着信拒否]→[迷惑電話撃退サービス]

2 []→[手動で追加]→撃退する電話番号を入力→[追加]

memo

◎登録できる電話番号は30件までです。
◎電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
◎登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
・SMS

登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面で[(電話)]→「1449」を入力→[ダイヤル]

2 [通話を終了]

■指定の電話番号を削除する場合

1 ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[着信拒否]→[迷惑電話撃退サービス]

2 削除する電話番号をタップ→[削除]

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

1 ホーム画面で[(電話)]→「131」＋相手先電話番号を入力→[ダイヤル]

2 [通話を終了]

memo

◎分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初に入力してください。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料

海外利用

海外利用 84
au世界サービスについて.....84
海外利用に関する設定を行う 84
渡航先で電話をかける.....84
渡航先で電話を受ける.....84
お問い合わせ方法.....84
海外でのご利用上のご注意 85

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてLTEネットワーク、UMTSネットワーク、GSMネットワークのいずれでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- 特別な申し込み手続きや月額の定額料は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
  ※新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。
  ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話(発信)した翌々日よりご利用が可能です。
- ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る

https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について

https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/

■ 海外でご利用のお客さま

渡航前に必ずご確認ください。
https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

memo

◎日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- 海外で電源を入れると、渡航先の通信事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます。
- データ通信を行う場合は「データローミング」(▶P.84)を有効に設定します。

データ通信を利用する

海外利用中にデータ通信を利用できるように設定します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[モバイル ネットワーク]→[データローミング]にチェックを付ける

memo

◎LTE NET またはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
◎サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
世界データ定額
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/
海外ダブル定額
https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/

通信事業者を設定する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[モバイル ネットワーク]→[通信事業者]

2 必要な項目を設定

ネットワークの検索	利用可能なすべてのネットワークを検索します。
ネットワークを自動的に選択	最適なネットワークを自動的に選択します。

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[モバイル ネットワーク]→[国際ローミング設定]

2 [4Gを有効にする]の[OFF]をタップして[ON]にする
※初期状態ではONになっています。

memo

◎LTE NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
◎VoLTEが利用できる国・地域については、auホームページをご参照ください。
◎海外で通話やデータ通信の品質がよくない場合は、[4Gを有効にする]をOFFにすると改善されることがあります。ただし、日本国内では[4Gを有効にする]を常時ONで利用してください。
◎サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/volte/

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1 ホーム画面で[(電話)]

2 [0]をロングタッチ
「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 相手先の国番号を入力

4 地域番号(市外局番)を入力
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の電話番号を入力→[ダイヤル]

例:渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合
+81(国番号) 3(市外局番) 1234XXXX(相手の電話番号)

例:渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合
+ 1(国番号) 123(市外局番) 456XXXX(相手の電話番号)

memo

◎電話をかける相手が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
◎渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。
◎国番号についてはKDDI国際電話ホームページをご参照ください。
http://www.001.kddi.com/countrycode/

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

◎渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信通話料がかかります。
◎日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
◎日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、現地からの国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間:24時間

1 ホーム画面で[(電話)]

2 [0]をロングタッチ
「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[ダイヤル]

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報は、auホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/

memo

◎渡航先でご利用いただけない場合、本製品を再起動することでご利用可能となる場合があります。

海外でのご利用上のご注意

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.84)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され不正利用される可能性がありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。(▶P.72「SIMカードロックを設定する」)

■ auネットワークサービス(P.78)に関するご注意

- 以下のサービスは、au世界サービス「VoLTE」利用中以外はご利用いただけません。
  - 着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送・圏外転送
  - お留守番サービスEX(オプションサービス)
  - 三者通話サービス(オプションサービス)※
  - 割込通話サービス(オプションサービス)
  - 通話明細分計サービス(オプションサービス)
- 発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- 迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、au世界サービス「VoLTE」利用中以外は受信拒否リストへの登録ができません。また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。

※au世界サービス「VoLTE」利用中であっても、グアム、サイパンではご利用いただけません。

付録／索引

付録 **88**
ソフトウェアを更新する 88
故障とお考えになる前に 88
アフターサービス 89
auスマートサポート 89
遠隔操作サポート 89
位置検索サポート 89
SIMロック解除 90
周辺機器 90
主な仕様 90
携帯電話機の比吸収率（SAR）について 90
FCC Notice 91
FCC RF exposure information 91
Body-worn operation 91
DECLARATION OF CONFORMITY 91
輸出管理規制 91
知的財産権について 92
索引 **94**

付録

ソフトウェアを更新する

本製品本体で最新のソフトウェアをダウンロードして更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上のご注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。無線LAN(Wi-Fi®)でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店(一部ショップを除く)にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードする

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[バージョン情報]

2 [ソフトウェア アップデート]

アップデートが必要ない場合は、[OK]をタップします。

3 アップデートバージョンをご確認のうえ、[ダウンロード]をタップ

- 更新方法にチェックを付けます。

4 [今すぐインストール]にチェックを付ける→[OK]

後でインストールする場合は、[後でインストール]にチェックを付ける→再通知を行う時間をタップします。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに、「故障紛失サポート」アプリ(▶P.58)の「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

■ クイック診断

ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[故障紛失サポート]→[クイック診断してみる]

■ トラブル診断

ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[故障紛失サポート]→[便利な機能]→[トラブル診断を試す]

以下のauホームページからもご確認いただけます。

https://www.au.com/trouble-check/

症状	チェックする箇所	参照先
電源が入らない	• 内蔵電池は充電されていますか？ • (電源キー)を約2秒以上長押ししていますか？	P.17 P.17
電源が勝手に切れる	• 電池が切れていませんか？	P.17
充電ができない	• 指定の充電用機器(別売)は正しく取り付けられていますか？	P.17
電池を利用できる時間が短い	• 十分に充電されていますか？ • [圏外]が表示される場所での使用が多くありませんか？ • 内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.9 P.17
タッチパネルで意図した通りに操作できない	• 手袋などをしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • 電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.17 P.22 P.74
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	• 本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	−
ディスプレイの照明がすぐに消える	• 一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約するために自動的に画面の表示が消えます(スリープモード)。 • [画面消灯]が短く設定されていませんか？	P.18 P.74
画面照明が暗い	• [輝度レベル](画面の明るさ)が暗く設定されていませんか？	P.74
[サービスがありません]や[×]が表示される	• au ICカードが挿入されていますか？	P.16
電話がかけられない	• au ICカードが挿入されていますか？ • 電話番号が間違っていませんか？(市外局番から入力していますか？) • 電話番号入力後、[ダイヤル]をタップしていますか？ • [機内モード]が設定されていませんか？	P.16 P.30 P.70
電話をかけたときに受話口から「ブーッ、ブーッ、ブーッ…」と音がしてつながらない	• サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？ • 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	P.24
電話がかかってこない	• au ICカードが挿入されていますか？ • 電源は入っていますか？ • 電波は十分に届いていますか？ • サービスエリア外にいませんか？ • [機内モード]が設定されていませんか？ • 着信転送サービスが設定されていませんか？	P.16 P.17 P.24 P.70 P.78
連絡先の個別の設定が動作しない	• 相手の方から電話番号の通知はありますか？非通知で電話を受けた場合、連絡先の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。	−
相手の方の声が聞こえない	• 受話音量が最小に設定されていませんか？ • 受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.16
microSDメモリカードを認識しない	• microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？ • microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.62
圏外アイコン[×]が表示される	• サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？ • 内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.16 P.24
Wi-Fi®がつながらない	• Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？ • Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.66
LTEがつながらない	• サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？ • モバイルネットワークをオンにしていますか？	P.24 P.70
GPS情報が取得できない	• 地下やトンネル内など見晴らしの悪い場所にいませんか？	P.72
カメラが動作しない	• 電池残量が少なくなっていませんか？ • 本体の温度が高くなっていませんか？	P.17 P.53
PCメールを作成できない	• PCメールのアカウントは追加しましたか？	P.47

アフターサービス

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
◎本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
◎本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
◎本製品本体以外の付属品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
   ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
   ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
   ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
   ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
   ⑤ 地震、風水害などの天災および火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。
月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認ください。
https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/

memo

◎ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
◎auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

auスマートサポート

auスマートサポートでできること

24時間365日体制※1のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「遠隔操作サポート（リモートサポート）」のアプリを利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。
その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅※2に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート（別途有料）」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本※3」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

- ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページ（https://www.au.com/）でご確認ください。

※1 22時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。
※2 訪問先はお客様のご契約住所に限ります。
※3 本のプレゼントは一回限りとなります。

memo

◎「遠隔操作サポート」のご利用にあたっては、「遠隔操作サポート」（▶P.89）をあわせてご参照ください。

遠隔操作サポート

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

- ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポートのいずれかへの加入が必要です。

遠隔操作サポートを利用する

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は、局番なしの157番（au電話から/通話料無料）、0077-7-111（一般電話から/通話料無料）までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面で[▦]→[設定]→[au設定メニュー]→[コミュニケーターが遠隔操作でサポート]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

位置検索サポート

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。

※本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、auスマートサポートまたはauスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポートのいずれかへの加入が必要です。

memo

◎ご利用の際には「端末管理アプリ」（▶P.72）で「My au」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。
◎My auのアプリ上で位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した基地局から推測される位置情報およびGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上の注意

- My auに本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、GPS情報による位置検索をご利用いただけません。
- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の操作は、ホーム画面で[▦]→[設定]→[バージョン情報]→[電話ID]→[SIMカードの状態]から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
  https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/

周辺機器

■ TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA)(別売)
■ HTC急速充電ACアダプタ(79H00147)(別売)
■ 共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)※
■ MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA)(別売)
■ auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)

※ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。

memo

◎周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
https://onlineshop.au.com/

主な仕様

ディスプレイ		約5.5インチ Super LCD 5 WQHD 1,440×2,560ドット (最大約1,677万色)
質量		約170g
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約76mm×154mm×8.3mm (最厚部約9.7mm)
メモリ(内蔵)		ROM:約64GB RAM:約4GB
連続通話時間	国内	約1220分
	海外(GSM)	約640分
連続待受時間	国内	約320時間
	海外(GSM)	約310時間
充電時間		約100分: TypeC共通ACアダプタ01(別売)使用時
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11a/ac/b/g/n準拠※1
連続テザリング時間※2		約610分
テザリング最大接続数		Wi-Fiテザリング:8台 Bluetoothテザリング:8台 USBテザリング:1台

※1 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。
※2 連続テザリング時間は、無線LAN(Wi-Fi®)機能対応のクライアント(パソコンなど)を1台接続している場合の時間です。

memo

◎連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用時間です。充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ Bluetooth®機能

通信方式	Bluetooth® ver BT 5.0※1
出力	Bluetooth®標準規格Power Class1
通信距離※2	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 対応Bluetooth®プロファイルは次の通りです。
対応Bluetooth®プロファイルは、Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
SAP(SIM Access Profile)
GAP(Generic Access Profile)
GOEP(Generic Object Exchange Profile)
DUN(Dial-up Networking Profile)※3
SPP(Serial Port Profile)
HFP(Hands Free Profile)
GATT(Generic Attribute Profile)
A2DP(Apt-x)(Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
HID(Human Interface Device Profile)
HSP(Headset Profile)
OPP(Object Push Profile)
PAN(Personal Area Networking Profile)
PBAP(Phone Book Access Profile)
HOGP(HID Over GATT Profile)
MAP(Message Access Profile)
HDP(Health Device Profile)
LDAC™
※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※3 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

■ カメラ

撮像素子	CMOS
有効画素数	メインカメラ:約1,200万画素 正面カメラ:約1,600万画素

■ 利用できるデータの種類

本製品は、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	aac, amr, ogg, m4a, mid, mp3, wav, flac, mkv
静止画	jpg, png, bmp, gif, webp, heif
動画	3gp, mp4, avi, mkv

memo

◎サイズによっては再生できない場合があります。
◎著作権保護が設定されているデータは、再生できない場合があります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種HTC U11 HTV33の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.499W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.464W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

https://www.who.int/emf

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ:
  https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
- 一般社団法人電波産業会のホームページ:
  https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
- HTC Corporationのホームページ:
  https://www.htc.com/jp/
- auのホームページ:
  https://www.au.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Check FCC ID in the following steps.
Settings(設定) ⇒ About(バージョン情報) ⇒ Certification(認証)

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 1.0 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.5 W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body–worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of **https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid** after searching on FCC ID NM8HTV33.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at **https://www.ctia.org/**.

DECLARATION OF CONFORMITY

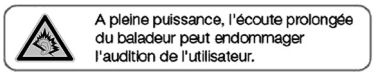
(1)
If your device belongs to Class II device, please put below countries you are intended to sold.

This equipment may be operated in:							
AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR

(2)
Products with 2.4–GHz Wireless LAN Devices
For 2.4–GHz wireless LAN operation of this product, certain restrictions apply. This equipment may use the entire–2400–MHz to 2483.5–MHz frequency band (channels 1 through 13) for indoor applications. For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band may be used. For the latest requirements, see **http://www.art-telecom.fr/**.

(3)
For the device which tests accordance to EN60950-1:2006, it is mandatory to perform audio tests for EN50332.

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.
Note: For France, headphones/earphones for this device are compliant with the sound pressure level requirement laid down in the applicable EN 50332-1: 2000 and/or EN50332-2: 2003 standard as required by French Article L.5232-1.



(4) CE SAR Information
This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For body worn operation, this device has been tested and meets the ICNIRP exposure guidelines and the European Standard EN 62311 and EN 62209-2, for use with dedicated accessories. Use of other accessories which contain metals may not ensure compliance with ICNIRP exposure guidelines.

SAR is measured with the device at a separation of 5 cm to the body, while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

Head: 0.55 W/kg@10g
Body: 0.42 W/kg@10g

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- microSD™はSD Card Associationの商標です。
- BluetoothはBluetooth SIG, Inc. USAの登録商標です。
- Bluetooth® smart readyワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG. Inc.が所有する登録商標であり、HTC Corporationは、これら商標を使用する許可を受けています。



- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- 「Wi-Fi」および「Wi-Fi」ロゴは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。



- Microsoft®、Windows®、ActiveSync®およびOutlook®のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の登録商標です。
- Apple、Mac およびMac OS は米国その他の国で登録されたApple Computer, INC.の商標です。
- Copyright 2017 Google Inc.使用許可取得済
「Google」、「Google」ロゴ、「Googleマップ」、「Chromecast」、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Google Play Music」、「Google Play Music」ロゴ、「Googleアシスタント」、「Android」、「Android」ロゴ、「YouTube」、「YouTube」ロゴ、「Gmail」は、Google LLCの商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- CorningおよびGorillaは、Corning Incorporatedの登録商標です。
- 「HTC BoomSound」「HTC BlinkFeed」はHTC Corporationの登録商標です。
- HTCは日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品に、このロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。



- LDACおよびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- 「おサイフケータイ」および「おサイフケータイ」ロゴは、株式会社NTT ドコモの商標または登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- ⍾はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnn IMEを使用しています。
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2018 All Rights Reserved.
- InstagramおよびInstagramロゴはInstagram, LLCの商標または登録商標です。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2012 The OpenSSL Project. All rights reserved.
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (**https://www.openssl.org/**)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (**eay@cryptsoft.com**) All rights reserved.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (**eay@cryptsoft.com**)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows® 10は、Microsoft® Windows® 10 Home、Microsoft® Windows® 10 Mobile、Microsoft® Windows® 10 Pro、Microsoft® Windows® 10 Enterprise、Microsoft® Windows® 10 Education、Microsoft® Windows® 10 Mobile Enterprise、Microsoft® Windows® 10 IoT Coreの略です。
- Windows® 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows® 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.

米国輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
This device is controlled under the export restrictions of the United States of America. A US government export permit is required to export to Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria.

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。**https://www.mpegla.com**をご参照ください。

索引

数字／アルファベット

50音キーボード ... 27
Androidアプリ ... 59
au ICカード ... 16
　取り付け ... 16
　取り外し ... 17
au ID ... 19
auかんたん設定 ... 18
au国際電話サービス ... 31
auスマートサポート ... 89
auベーシックホーム ... 23
BlinkFeed ... 23
Bluetooth® ... 67
　受信 ... 67
　接続 ... 67
　送信 ... 67
Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp) ... 34
　D絵文字 ... 37
　Eメールアドレスの変更 ... 44
　確認 ... 39, 42
　切替 ... 34
　検索 ... 39
　自動転送先 ... 44
　受信 ... 38
　新着問合せ ... 39
　設定 ... 42
　装飾 ... 38
　送信 ... 36
　送信予約 ... 37
　デコレーションメール ... 38
　添付 ... 37
　フォルダ作成 ... 41
　フォルダロック ... 41
　復元 ... 44
　振分け条件 ... 41
　迷惑メールフィルター ... 44
Facebook ... 59
Gmail ... 34, 48
　受信 ... 48
　送信 ... 48
　返信／転送 ... 48
Google Play ... 59
Googleアカウント ... 18
microSDメモリカード ... 62
　取り付け ... 62
　取り外し ... 62
My au ... 57
NFC ... 57
　Android Beam ... 57
PCメール ... 34, 47
　削除 ... 48
　受信 ... 47
　受信設定 ... 48
　送信 ... 47
　返信／転送 ... 48
PINコード ... 13
PINロック解除コード ... 13
Play Music ... 55
Playストア ... 59
QWERTYキーボード ... 27
SIMカードロック ... 72
SIMロック解除 ... 90
Smart Lock ... 72
SMS ... 34, 45
　検索 ... 46
　削除 ... 46
　受信 ... 46
　設定 ... 47
　送信 ... 45
　返信／転送 ... 46
Twitter ... 59
USB-Cハイレゾイヤホン ... 19
　設定 ... 74
Wi-Fi® ... 66
YouTube ... 59

あ

アイコン ... 24
アカウント設定 ... 71
　Googleアカウント ... 18
　PCメール ... 47
アフターサービス ... 89
アプリ ... 52, 59
　アンインストール ... 59
　インストール ... 59
　管理 ... 59
　起動 ... 24
　強制終了 ... 59
　提供元不明のアプリ ... 59
　無効化 ... 59
暗証番号 ... 13
あんしんフィルター ... 58
　管理者登録 ... 58
　フィルタリング設定 ... 58
安全上のご注意 ... 6
位置検索サポート ... 89
位置情報 ... 72
印刷 ... 76
インターネット ... 48
ウィジェット ... 23
エッジセンス ... 19, 74
遠隔操作サポート ... 89
おサイフケータイ ... 56
　NFC／おサイフケータイ設定 ... 56
　タップ&ペイ ... 57
お留守番サービスEX ... 79
音量キー ... 16
音量調節 ... 75

か

海外利用 ... 84
　お問い合わせ ... 84
　注意 ... 85
　電話を受ける ... 84
　電話をかける ... 84
顔文字入力 ... 26
カスタマイズエリア ... 22
壁紙 ... 71
カメラ ... 53
　再生 ... 55
　静止画 ... 54
　設定 ... 55
　動画 ... 54
　編集 ... 55
画面分割 ... 24
画面ロック ... 18
　解除設定 ... 72
　画面ロック解除 ... 18
カレンダー ... 59
キーボード ... 26
記号入力 ... 26
機内モード ... 70
緊急通報位置通知 ... 30
クラウドプリント ... 76
言語とキーボード ... 76
国際電話 ... 31
故障とお考えになる前に ... 88
故障紛失サポート ... 58
個人設定 ... 71

さ

最近使用したアプリ ... 24
サイレントモード ... 25
サウンド ... 75
三者通話サービス ... 81
自分の電話番号 ... 31
指紋スキャナ ... 71
充電 ... 17
周辺機器 ... 90
受話音量 ... 16
仕様 ... 90
省電力設定 ... 76
初期設定 ... 18
　au ID ... 19
　auかんたん設定 ... 18
　Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp) ... 19
　Googleアカウント ... 18
　エッジセンス ... 74
スクリーンショット撮影 ... 26
スクリーンレコード ... 26
ステータスアイコン ... 24
ステータスバー ... 22, 24
ストレージ ... 75
スライド ... 22
スリープモード ... 18, 22
セキュリティ ... 72
　SIMカードロック ... 72
設定メニュー ... 70
ソフトウェア更新 ... 88

た

タッチパネル ... 22
タップ ... 22
ダブルタップ ... 22
着信お知らせサービス ... 78
着信音 ... 75
　Eメール(@au.com／@ezweb.ne.jp) ... 41, 43
　一時的に消す ... 31
　個人設定 ... 71
着信音量 ... 75
着信転送サービス ... 78
通知アイコン ... 24
通知音 ... 75
通知パネル ... 25
通知ランプ ... 16, 24
通話設定 ... 75
通話明細分計サービス ... 82
通話履歴 ... 30
データ通信 ... 48
　海外利用中 ... 84
　設定 ... 70
データローミング ... 84
ディスプレイ ... 22
　明るさ ... 74
　画面消灯 ... 74
　スクリーンセーバー ... 74
　設定 ... 74
テザリング ... 66
　Bluetooth®テザリング ... 67
　USBテザリング ... 67
　Wi-Fi®テザリング ... 66
天気 ... 60
テンキーキーボード ... 27
電源キー ... 16
電源を入れる ... 17
電源を切る ... 17
電話 ... 30
　受ける ... 31
　かける ... 30
　国際電話 ... 31
　スピードダイヤル ... 30
　着信拒否 ... 31
同梱品一覧 ... 1
ドック ... 22
トピックタイトルエリア ... 22
ドライブ ... 60
ドラッグ ... 22
取り扱い上のお願い ... 9
取扱説明書アプリ ... 1

な

日時設定 ... 76
ネットワークサービス ... 78

は

バージョン情報 ... 76
バックアップとリセット ... 73
発信番号表示サービス ... 79
番号通知リクエストサービス ... 79
ピンチ ... 22
ファイル管理 ... 62
フォト ... 55
ブックマーク ... 49
ブラウザ ... 48
フリック ... 22
ホーム画面 ... 22
　BlinkFeed画面 ... 23
　拡張ホーム画面 ... 22
　カスタマイズ ... 23
ボイスメール ... 79
ボイスレコーダー ... 60
防水／防塵性能 ... 11
本体ストレージ ... 62

ま

マナーモード ... 25
無線LAN(Wi-Fi®)機能 ... 66
メール ... 34
迷惑電話撃退サービス ... 82

メニュー……26
文字入力……26
モバイルネットワーク……70

や

ユーザー辞書……27
ユーザー補助……73
予定……59

ら

らくらくモード……23
連絡先……31
　確認……32
　グループ……32
　登録……32
　編集……32
ロックNo.……13
ロック解除用暗証番号……13
ロングタッチ……22

わ

ワイヤレスとネットワーク……71
割込通話サービス……81

auのお客さまサポート

Webサイトやアプリなら、その場で解決。

auホームページ　https://www.au.com/

My au（Web版）

- **パソコン・スマートフォン・タブレット・4GLTE ケータイから**
  https://my.au.com
- **3G ケータイから**
  EZ ボタン▶トップメニューまたは au ポータルトップ▶My au

My au（アプリ版）

- **au Market もしくは App Store から**
  「My au」で検索

詳細はコチラ

よくあるご質問

「よくあるご質問」を集めた総合 Q&A サイト。au よくあるご質問 で検索

au動画ガイド

スマホの操作やアプリの使い方などは動画で。au動画ガイド で検索

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話（スマホ/ケータイ）	au携帯電話以外/一般電話	左記番号がつながらない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし 157	フリーコール 0077-7-111	フリーコール 0120-977-033
盗難・紛失（24 時間受付）	局番なし 113	フリーコール 0077-7-113	［沖縄の方は］ フリーコール 0120-977-699

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話（スマートフォン/ケータイ）/ au携帯電話以外 / 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	フリーコール 0120-925-919

※ 上記の電話番号がつながらない場合があります。

やめましょう、歩きスマホ。

有害サイトから子供を守る！

キケン！水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、異常な発熱・焼損などの原因となり大変危険です。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHS のリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

あぶない！電池への衝撃

衝撃や過度な外圧を加えると、電池の破損・変形等により発煙・発火等の原因となり大変危険です。

2019年8月第1版　発売元：KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社　輸入元：HTC NIPPON 株式会社　製造元：株式会社HTC Corporation